

第 2 章

木造建築物の品質管理

2 木造建築物の品質管理

2.1 はじめに

2.1.1 分科会の目的・背景

木質構造、主に木造住宅の品質管理体系の構築を検討する「木造分科会」を設置した。木造分科会の目的は、木造住宅の所定の性能を担保するための品質管理体系について、その流れ、留意点を示し、さらに性能と各部構法と関係を明示することにより、管理・検査シート（チェックリスト）を作成する際の基礎資料を提示することである。

これまでの木造住宅は設計施工一貫体制のもとに、経験に裏打ちされた設計の不備を補う詳細な設計あるいは施工法が存在し、所定の性能が担保されていた。言い換えれば、設計者でかつ施工者が頭の中にある多くの情報をもとに、最低限の図面（多くは間取り）によって建物が所要のとおりできあがっていた。しかし、近年、欠陥住宅、違法建築を背景にした中間検査の充実、住宅の性能表示制度によって、情報伝達と性能の把握が可能な管理・検査シート（チェックリスト）の必要性が叫ばれている。本分科会では、個別性が高く、注文住宅と呼ばれる木造住宅であっても共通に適用可能な情報伝達を目的とした品質管理体系の概念と、性能と各部構法の関係を提示することを目的とした。これをもって、容易に性能担保を目的とした管理・検査項目リストの作成を助けるツールとするものである。

また、木造については管理レベルと構造性能の関係についての基礎データが不足していることを鑑み、管理レベルと構造性能を結びつける感度解析を可能とする実験的な研究を並行して行った。

2.1.2 検討の範囲

木造分科会では、以下の項目について検討をおこなった。

平成11年度

- ・ 木造住宅の品質管理体系の概念構築
- ・ 既存のチェックシート、関連資料の収集
- ・ 具体的管理方法例示シートの例作成
- ・ 筋かい端部の加工精度と構造性能の関連性について実験的な研究

平成12年度

- ・ 木造住宅の品質管理体系の概念構築（平成11年度の継続）
- ・ 管理項目の必要性、不備による障害、復旧方法
- ・ 具体的管理方法例示シート（最終版）の作成
- ・ 筋かいの品質と構造性能の関連性についての実験的研究
- ・ 集成材構造の接合クリアランスと構造性能の関連性についての実験的研究

2.1.3 検討体制

検討体制は表 2 - 1 - 1 の通りである。

表 - 2.1.1 分科会委員構成

(区分)	(氏名)	(所属)
委員長	有馬孝礼	東京大学農学生命科学研究科
委員	鈴木秀三	職業能力開発総合大学校
委員	折笠定勝	(社)日本木造住宅産業協会生産技術部
委員	坂部芳平	(社)日本ツーパイフォー建築協会技術部
委員	門田豊和	(財)住宅保証機構検査部検査課
幹事	五十田博	建設省建築研究所第三研究部
幹事	槌本敬大	建設省建築研究所第二研究部
事務局	平澤正男	(社)建築研究振興協会事務課

2.2 木造住宅の品質管理の考え方

木造住宅における品質管理体系に対する考え方を示す。戸建て木造住宅の品質管理が他構造のそれと異なる点は、施主と居住者が同一である点である。このため、施主が要求する品質、仕様は多岐にわたり、相対的にきめ細かである。また、ほとんどの施主は建築行為に対して素人であり、その要求事項は多岐にわたり、且つ漠然としたイメージであり、これが結果的に居住時に想像していたイメージと異なることから、クレームにつながる。加えて、住宅建設は今日の住宅事情を反映してほぼ一生に一度の行為であるために、そのクレームは強い要求となっているのが現状である。

以上の点を踏まえ、戸建て木造住宅の品質管理は「顧客管理」「設計管理」「施工管理」「アフターケア」という4つの段階に整理して検討することが可能であり、住宅メーカーにおいてはとくに力点がかけられているようである。

以下、各段階についてそれぞれの考え方、留意点を示していく。

2.2.1 顧客管理

戸建て木造住宅において顧客は施主であり、建築行為に関して素人であるためその要求事項は多岐にわたり且つ漠然としたイメージにすぎない。顧客管理とは漠然とした施主の要望を聞き、その要望がどのように実現されるか説明することである。基本的な平面図、立面図、パース等により建物の概略を伝えることに始まり、色見本やサンプルさらにショールーム等の活用などによって物理的な出来上がりを伝える他に、安全性や居住性などの各種性能についての説明を含む。さらに、工事期間、工事の工程、工事中の近隣への配慮など、工事に関する事項を説明することをも含む。

施主の漠とした要望を供給者(施工者)側がうまく吸い上げるか否かが以降の段階の管理を実施す

る上で、また、顧客の満足度を高めるために重要である。さらに、所詮無理なことを要求する顧客（施主）も珍しくなく、素人の顧客に対して木造住宅の必要性能、実現可能な性能範囲や居住条件等に関する教育もここでは重要である。

2.2.2 設計管理

木造の品質管理における設計行為とは、施工のための必要項目、各部構法、仕上げなどの建築図書として表現することを差し、ここには、建築基準法に関連する事項も含む。設計管理とは記載事項により施主が期待する最終成果物の性能（品質）が得られるか、建築基準法に適合しているかの確認することである。現在の木造住宅においては、後者が設計管理と考えがちであるが、性能（品質）を確保するために本来前者を含み設計管理とすべきであると考ええる。

2.2.3 施工管理

施工管理とは、施工段階における設計図書との照合の他に、材料の品質、あたりまえ施工がなされているかの確認、施工の精度の確認などを指す。施工管理については、施工の松竹梅は性能と関連があるものの、設計ほどの影響力を持たないという結論に達する。

2.2.4 アフターケア

アフターケアとは、施工後の不都合に対する対処、並びに施主に対してより性能を今後維持するための方法などを伝えることである。アフターケアにおいては戸建て木造住宅においては施主であり、居住者である顧客に対して行うので、顧客管理の精度が大きく影響してくる。顧客管理において、施主側に想起されたイメージとの差異がクレームとなって施主側に寄せられ、これへの対応が主体である。

以上の考え方に基づいて、次節以降に例示する具体的な設計管理事項、施工管理事項を抽出していくことにより、各施工者自身において、その物件の特性・特徴を反映した品質管理シートが作成できる。なお、本資料では、建築行為に対して専門知識を有しない施主自身により品質管理シートを作成することを想定してはいない。また、本資料に基づいて施工管理された住宅であっても、「欠陥」の可能性が完全に除去されたものとはならないことに注意する必要がある。

2.3 管理の意味と各部構法、管理項目について

2.3.1 性能に関連する設計項目、各部構法との関連

ここでは建築物で担保されるべき性能と各部構法をまず関連づけ、その各部構法が設計段階でどのように管理されるか、そして管理の必要性を整理する。具体的には、建築基準法施行令第三章三節で規定される構造安全性、使用性に対して関連する各部構法、必要性、設計段階での留意事項、設計が十分でない場合の障害、施工時の管理項目との関連について整理し、ついで、三章三節とは直接関連しない構造性能については、関連する各部構法や設計項目を整理する。

2.3.1.1 構造安全性・使用性に関連する項目

水平力に対する構造性能を確保に関連する主たる各部構法は下記の通りである。

A 耐力壁の絶対量(1) 配置(2) 接合(3)、B 継ぎ手、仕口、C 水平構面、D 上記の耐久性確保、E その他

以上の各部構法と関連する法規の項目は下記の通りである。なお、記号は各部構法の記号と対応している。

A - (1) 建築基準法施行令第46条4項(壁量の充足)

A - (2) 建築基準法施行令第46条1項 告示：釣り合いのよい配置

A - (3) 建築基準法施行令第47条 告示：構造耐力上主要な継ぎ手及び仕口

B - (1) 建築基準法施行令第47条 告示：構造耐力上主要な継ぎ手及び仕口

C 建築基準法施行令第46条3項

D 建築基準法施行令第41条、建築基準法施行令第45条、建築基準法施行令第49条、

E 建築基準法施行令第42条

また、その他に管理が必要な項目としては、かぶり厚さの確認、地耐力に対する基礎設計の確認、フーチング寸法の確認、配筋の確認、などがあげられる。これからの各部構法の必要性や目的は下記のとおりである。

A 耐力壁 地震あるいは風などによって生じる水平力に対して抵抗する要素。

(1) 絶対量 各耐力壁が保持する耐力の合計が建物の水平力抵抗性能となるため、想定する地震力あるいは風圧力に対して相応の耐力壁の絶対量を確保する必要がある。

(2) 配置 (1)で述べた耐力壁の絶対量の確保が効力をもつためには各耐力壁のせん断抵抗力に応じて均等に水平力が伝達されることが前提となる。つまり、耐力壁の絶対量を確保しても、各部位の質量分布に応じた耐力壁の配置がなされなければ、質量集中箇所などにおいて必要以上の変形、又は破壊が発生し、構造安全性を損ねてしまう。よって耐力壁配置に対する配慮が必要である。

(3) 接合 耐力壁に予め想定した耐力を発揮させるためには、耐力壁を構成する材料間の応力の伝達を確保する強度、剛性、靱性を持った接合が必要である。

B 継ぎ手、仕口 水平構面内に継ぎ手が存在する場合については、水平せん断力の耐力壁への伝達を確実にを行うために継ぎ手は存在応力をスムーズに伝達する機能が確保されている必要がある。耐力壁線内に横架材などに継ぎ手がある場合については、耐力壁が水平力に抵抗する際に、曲げ、せん断応力などが作用し、継ぎ手はこれらをスムーズに伝達する機能が確保されている必要がある。

C 水平構面 (2)で求められるような配置への配慮が不全の場合については、(2)と同じ目的で水平構面の剛性を確保する必要がある。

D 上記の耐久性確保 建物の構造安全性が経時変化(低下)しないよう各部位・部材の耐久性は建物の想定寿命に応じた耐久措置が施されている必要がある。

E その他、水平力を健全に地盤に伝え、柱脚と土台の移動防止として十分な土台や基礎が必要である。

設計段階の管理が満足されない場合に生じる障害の具体例としては、中地震での建物全体の損傷、大地震での建物倒壊、季節風での建物の揺れ、中風での建物損傷、大風での建物倒壊、基礎の亀裂などがあげられる。具体に関連する施工時の管理項目は、木材（柱、横架材、筋かい、束、火打ち、構造用合板など）の品質・寸法・取り付け位置（方向を含む）、金物（継ぎ手、仕口、筋かい端部、など）の品質・寸法・取り付け位置、数量、ボルト締め付け、釘打ち、地業の確認、基礎のうち上がり品質の確認などである。

鉛直力に対する構造性能としては、次の項目があげられる。

A 柱断面、B はり断面、C 継ぎ手、仕口

上記について法規上下記のチェックをおこなうことになる。

A 建築基準法施行令第 43 条 1 項（柱の小径）

B 建築基準法施行令第 44 条

C 建築基準法施行令第 47 条 告示：構造耐力上主要な継ぎ手及び仕口

D 建築基準法施行令第 41 条（木材）、建築基準法施行令第 49 条（防腐措置）

柱やはりの断面は鉛直荷重を適切に支える、また有害なたわみを生じさせないために必要となる。また、接合においても同様に応力を伝達するため、さらに有害な変形を生じさせないために配慮が必要である。従って必要な配慮がなされない場合には、床の傾斜、過度のたわみ、床の崩壊、振動による不快感、建具の開閉の不具合などが生じることとなる。これらの各部構法に対応する具体の施工項目は、地業の確認、木材（柱、横架材、筋かい、束、火打ち、構造用合板など）の品質・寸法・取り付け位置の確認、金物（継ぎ手、仕口など）の品質・寸法・形状・取り付け位置・数量・ボルト締め付け、釘打ちなどである。

2.3.1.2 その他の性能と関連する各部構法

本分科会で上記以外に対象とする性能は火災安全性、耐久性、温熱環境性、遮音性、採光性、空気環境性、維持管理容易性、高齢者配慮といった住宅品質確保促進法、性能表示制度と関連したものである。以下に主な設計項目、各部構法の関連項目を表 - 2.3.1 に記す。

表 - 2.3.1 設計項目と各部構法の関連項目

性能項目	関連する設計項目、各部構法等
火災安全性	使用材料（仕上げ特に屋根・外壁、構造、開口）、設備計画（配置、配線）
耐久性	使用材料（仕上げ、構造）屋根（仕上げ、棟換気）、外壁、基礎（立ち上がり、かぶり、換気口）、接合金物、設備計画（配置、配管）
温熱環境性	使用材料（断熱材、開口）、平面計画（窓位置など）、設備計画（配置）
遮音性	使用材料（仕上げ、構造、遮音材、開口）、平面計画
採光性	平面計画（窓位置など）
空気環境性	使用材料（仕上げ）、平面計画
維持管理容易性	使用材料（仕上げ、開口）、設備計画（配置、配管）
高齢者配慮	使用材料（仕上げ）、平面計画

2.3.2 部位の施工管理とその目的等

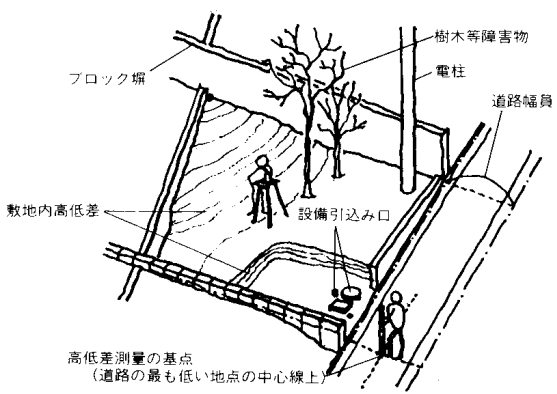
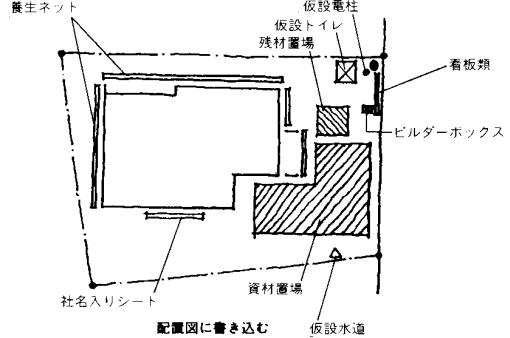
軸組構法については住宅性能表示制度において(財)住宅保証機構が実施する現場検査項目(表 - 2.3.2)について、枠組壁工法についてはツーバイフォー建築協会の検査項目(表 - 2.3.4)について、管理の必要性をより具体的に示すため、管理の目的、必要性、重要度、設計への依存性、作業技術への依存性、管理方法、管理の精度と目的の関連性、不適切の場合の対処、不適切であっても良い条件、不適切な場合に起こる現象、不適切を生じさせないための具体的な方法等をそれぞれ表 - 2.3.3(軸組構法)、表 - 2.3.5(枠組壁工法)整理した。

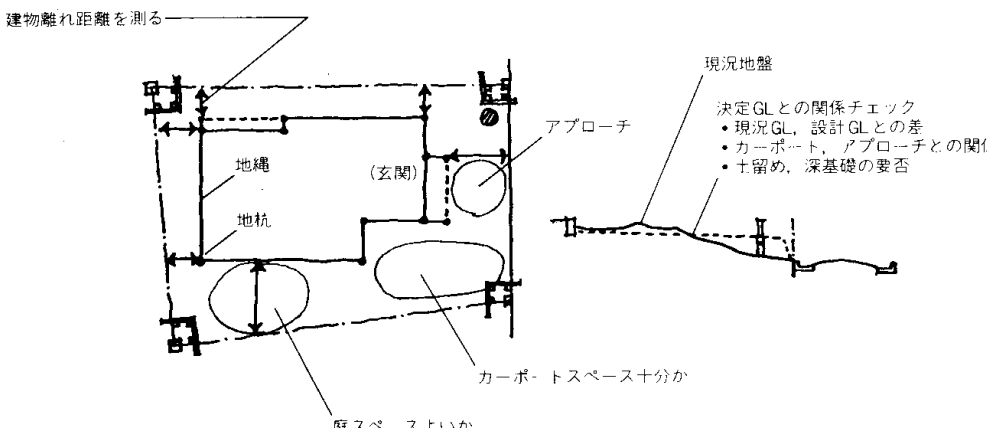
なお、可能な限り網羅的に施工管理項目を抽出し、管理の目的、重要度、作業者の技術依存性、管理の時期、管理結果の評価方法を整理して、参考資料として表 - 2.3.6(軸組構法)、表 - 2.3.7(枠組壁工法)に例示した。

表 - 2.3.2 住宅保証機構の検査項目（軸組構法）

検査時期	検査内容	
基礎配筋完了	1. 敷地の状況	敷地の状態
		建物の位置とレベル
	2. 地盤	地盤の性状（造成状況、地盤の種類、地盤調査）
		地層等の状況（地層の一様性、埋設物、湧水等の有無）
		地盤改良（地盤改良の方法、施工状況）
	3. 地業	（地業の状態、締め固め、捨てコンクリート）
	4. 基礎	基礎の形式・位置
		基礎の形状
		配筋の状態
		アンカーボルト
5. 地盤の防蟻処理		
6. 基礎高さ		
7. 床下換気・防湿	床下防湿の措置（防湿コンクリート又は防湿フィルムの状態）	
上棟・屋根工事完了時	1. 軸組	土台（位置、断面寸法、継手・仕口、アンカーボルトの状態）
		柱（位置、断面寸法）
		胴差し・けた（位置、断面寸法、継手）
	2. 耐力壁	筋かいによる場合（位置、入れ方、断面寸法）
		構造用面材による場合（材種、材厚、位置、釘の種類と間隔、下地の構成、面材の張り方）
	3. 床構法	面材による場合（材種、材厚、下地の構成）
		線材による場合（材種、断面寸法、材の構成・組合せ方）
	4. 屋根構法	面材による場合（屋根勾配、材種、材厚、留付け方法）
		線材による場合（材種、断面寸法、材の構成・組合せ方）
	5. 仕口・接合金物	土台（基礎）と柱の接合部
		柱と胴差し・けた・はりの接合部
		柱と柱の接合部
		はりとはり・胴差し・けたの接合部
		筋かいの上下端
		火打ちとはり・胴差し・けたの接合部
		小屋束ともや、垂木ともやの接合部
	6. 基礎コンクリート	打設・養生（打設・養生の状況、打上り状態）
	7. 構造部材の樹種・断面寸法と防腐防蟻処理	土台
		外壁の軸組及び下地
		浴室の天井及び壁の軸組・床組
		台所・洗面所等の壁の軸組・床組
		通し柱である隅柱
	8. 床下換気・防湿	床下防湿の措置（防湿コンクリート又は防湿フィルムの状態）
		床下換気の措置（換気孔の位置と大きさ）
9. 屋根	屋根下地（下地材料、部材の取合い、水切金物）	
	屋根葺きの状況（屋根材料、葺き上がり状況）	

表 - 2.3.3 具体的な管理方法の例（軸組構法）

管理項目	1. 敷地の状況 敷地の状態	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>敷地の境界、寸法の確認 敷地の現況の確認 設備引き込み位置の確認 資材搬入車両、工事車両、資材置き場の位置確認 仮設トイレ、仮設電気、仮設水道の位置確認</p> <p>出典：「木造住宅施工の実務手順図解チェックシート 166」 編著：(株)木下工務店技術本部 発行者：山本泰四郎 発行：(株)彰国社</p>	
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）	
必要性	基本設計を行うための前提条件、施工のための環境を調査。 既存建物がある場合、解体計画のために環境を調査。	
重要度	高 中 低	
設計に依存	あり なし	
作業者の技術依存性	あり なし	
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）	
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）	
精度と目的との関連性	高 中 低	
不適切の場合の対処	再測量、再調査、現場再確認を行う。	
不適切の場合に起こる現象	基本設計が違反建築になる場合がある。施工時に必要なスペースが確保できない。	
不適切であっても良い条件	なし	
関連する基準など	建築基準法、同施工令等	

管理項目	1. 敷地の状況 建物の位置とレベル	
	 <p data-bbox="821 817 1372 940">出典：「木造住宅施工の実務手順図解チェックシート166」 編著：(株)木下工務店技術本部 発行者：山本泰四郎 発行：(株)彰国社</p> <p data-bbox="231 884 654 929">道路、近隣敷地との高低差の確認</p> <p data-bbox="231 936 430 974">建物配置の確認</p> <p data-bbox="231 981 486 1019">境界からの寸法確認</p> <p data-bbox="231 1025 1013 1064">BM（ベンチマーク）、基準線の設定、GL（地盤面）の決定</p>	
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）	
必要性	建物の基準高さなど、設計を行うための基本条件を調査する。	
重要度	高 中 低	
設計に依存	あり なし	
作業者の技術依存性	あり なし	
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）	
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）	
精度と目的との関連性	高 中 低	
不適切の場合の対処	再測量を行う。	
不適切の場合に起こる現象	基本設計が違反建築となる場合がある。	
不適切であっても良い条件	なし	
関連する基準など	建築基準法、同施工令等、敷地調査報告書、既存建物配置図、公図等	

管理項目	2. 地盤 地盤の特性（造成状況、地盤の種類、地盤調査）
------	------------------------------

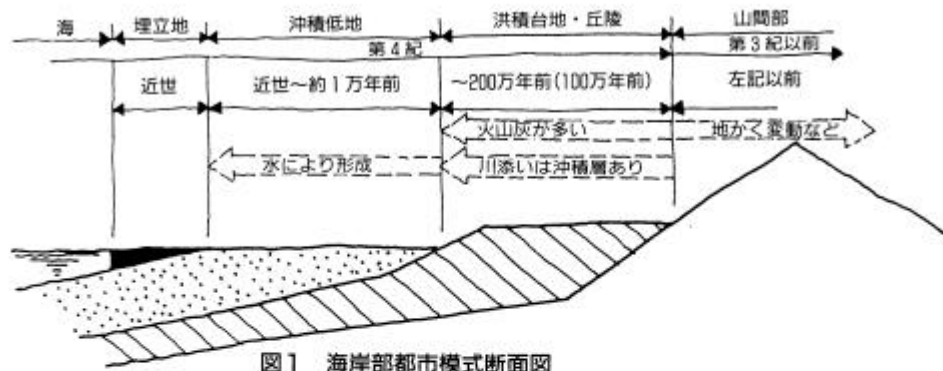


図1 海岸部都市模式断面図

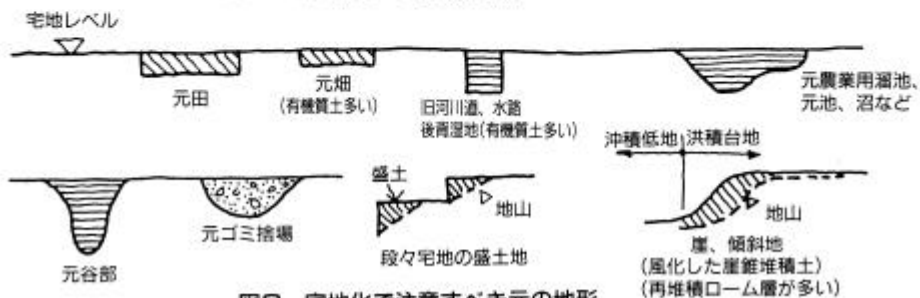


図2 宅地化で注意すべき元の地形

地盤性状図等の閲覧

柱状図の確認

不安な場合は土の採取のうえ確認

出典：「地震に強い〔木造住宅〕の設計マニュアル」

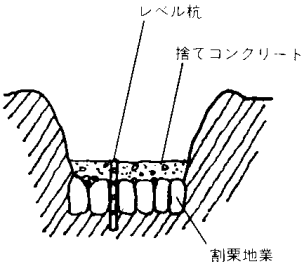
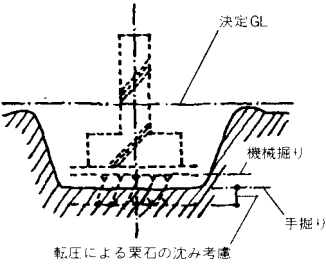
発行人：井松志郎

発行所：㈱建築知識

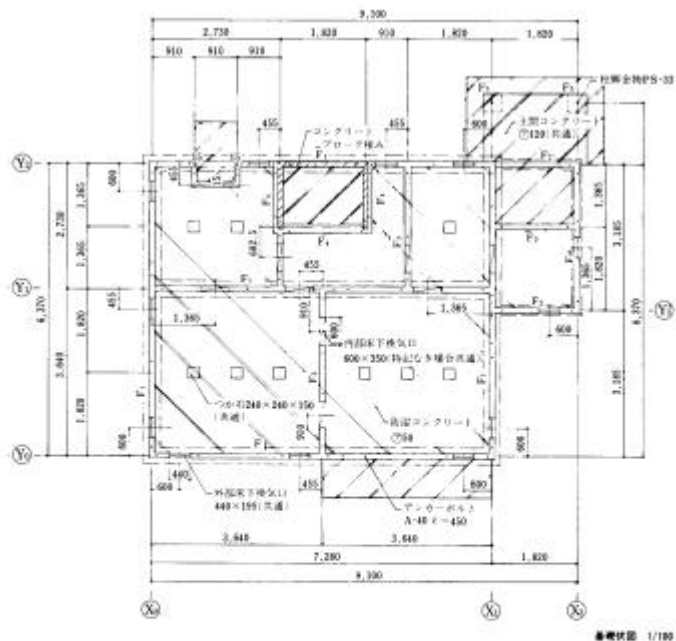
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）
必要性	基礎の設計を行うための前提条件を調査する。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（地盤調査）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	再調査を行う。
不適切の場合に起こる現象	竣工後建物の沈下、不同沈下、基礎の亀裂等が起こる危険性がある。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	建築基準法、同施工令等、地盤調査報告書等

管理項目	2. 地盤 地層等の状況（地層の一様性、埋設物、湧水等の有無）					
<p>地耐力の確認 地中埋設物の確認 地中埋設物の処理</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	基礎の設計を行うための前提条件を調査する。地下の状況によっては、処理が必要。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再調査を行う。					
不適切の場合に起こる現象	竣工後建物の沈下、不同沈下、基礎の亀裂等が起こる危険性がある。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など						

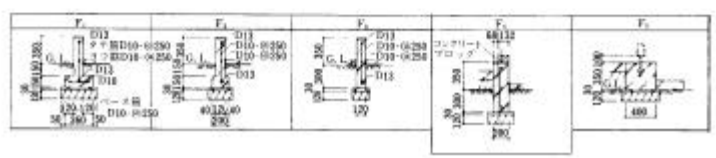
管理項目	2. 地盤 地盤改良（地盤改良の方法、施工状況）					
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>□締固め</p> <ul style="list-style-type: none"> — 転圧 — 衝撃 — 材料（砂・砂利）の圧入 — 振動 <ul style="list-style-type: none"> — 棒状振動体 — 起振装置+鋼材 <p>□固化</p> <ul style="list-style-type: none"> — 固化材混合 <ul style="list-style-type: none"> — (浅層) <ul style="list-style-type: none"> — 現位置 — 搬出 — (深層) <ul style="list-style-type: none"> — 機械攪拌*1 — 機械攪拌*2 — 機械・噴射の併用 — 薬液注入 — 熱的处理 </div> <div style="width: 50%;"> <p>*1 スラリー系 粉体系</p> <p>*2 グラウト噴射系 エア・グラウト噴射系 水・エア・グラウト噴射系</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">改良原理による分類と具体的方法</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>①液状化対策</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>②有害な沈下防止</p> </div> </div> <p>改良方法の選定 優良業者の選定</p>						
目的	構造安全性	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境
必要性	地耐力が小さい場合は、地盤改良が必要となる。					
重要度	高	中	低			
設計に依存	あり	なし				
作業者の技術依存性			あり	なし		
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()					
精度と目的との関連性			高	中	低	
不適切の場合の対処	再施工する。					
不適切の場合に起こる現象	竣工後建物の沈下、不同沈下、基礎の亀裂等が起こる危険性がある。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連基準等	地盤調査報告書					

管理項目	3. 地業（地業の状態、締め固め、捨てコンクリート）					
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>捨てコンクリート打設</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>根切り</p>  </div> </div> <p style="margin-top: 20px;"> 根伐り寸法確認 根伐り底の確認 地業の確認 </p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;"> 出典：「木造住宅施工の実務手順図解チェックシート166」 編著：(株)木下工務店技術本部 発行者：山本泰四郎 発行：(株)彰国社 </p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気 環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	基礎のフーチング幅を決める。基礎の底盤を強固に固める。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工する。					
不適切の場合に起こる現象	基礎の底盤幅が少なくなる。基礎の底盤が弱く基礎が不同沈下する。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など						

管理項目	4. 基礎 基礎の形式・位置
------	----------------



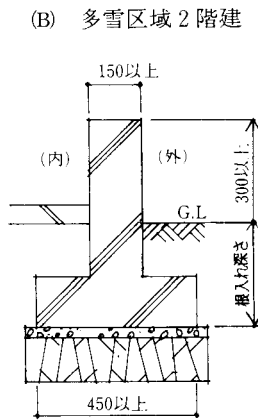
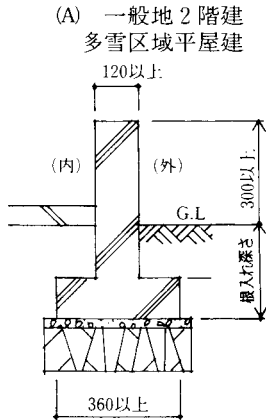
地耐力に対する基礎設計の確認
型枠組み位置の確認



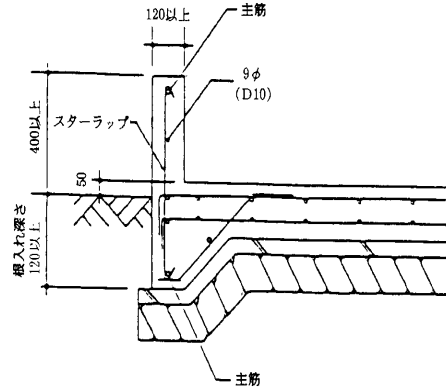
出典：「初めて学ぶ図解ツーバイフォー工法」
編集：枠組壁工法教材研究所
発行：井上書院

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()
必要性	基礎の位置により、建物の位置が決定される。基礎の形式は強度を決定する。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	再施工する。
不適切の場合に起こる現象	違反建築となる場合がある。基礎の強度不足となる。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等

布基礎詳細図



べた基礎詳細図 (mm)

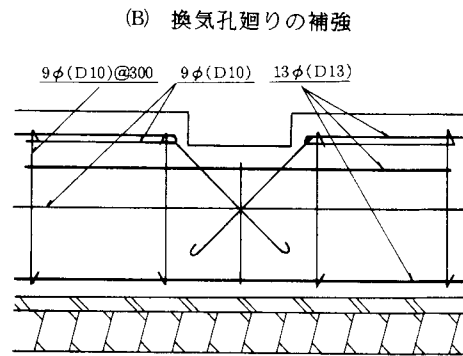
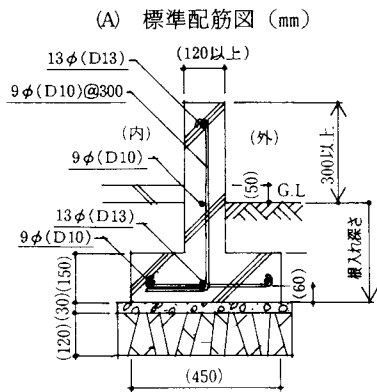


フーチングの寸法の確認
立上り寸法の確認
コンクリート強度の確認

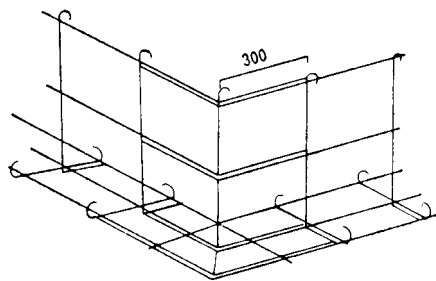
出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
監修：住宅金融公庫
発行：（財）住宅金融普及協会

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	基礎の形式によって強度が決定される。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（強度試験 ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	基礎の強度不足により、建物の沈下、基礎の亀裂等が起こる危険性がある。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

管理項目	4. 基礎 配筋の状態
------	-------------



(C) 隅角部補強

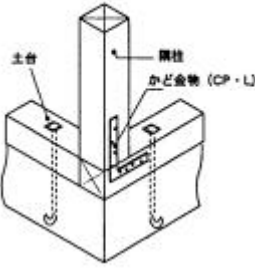
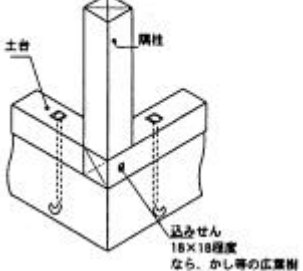
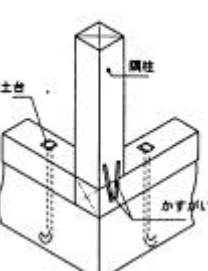
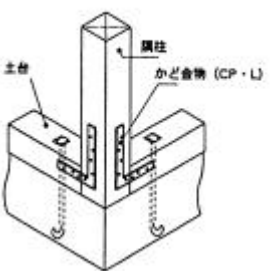
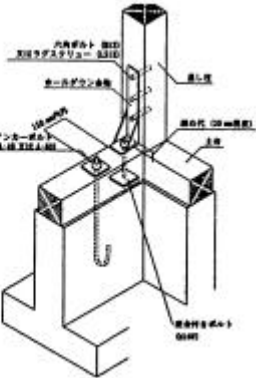


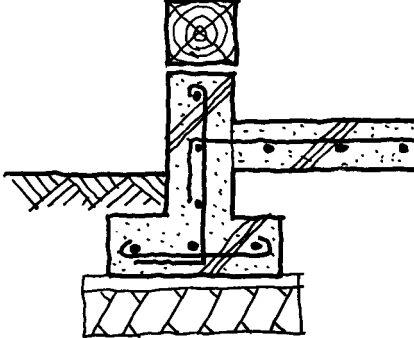
(注) 隅角部では各横筋を折り曲げた上直交する他方向の横筋に300mm以上重ね合わせる。

- ベース筋の確認
- 基礎立上りの配筋確認
- 補強筋の配筋確認
- かぶり厚さの確認

出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
 監修：住宅金融公庫
 発行：（財）住宅金融普及協会

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）
必要性	基礎の曲げ強度を決定する。基礎開口、コーナー部の補強。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ） 管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	再施工
不適切の場合に起こる現象	基礎に亀裂、割れが起こる危険性がある。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	建築基準法施工令、日本建築学会（JASS 5）

管理項目	4. 基礎 アンカーボルト					
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>イ. 照ぼ差し・延ぼ差し、かど金物当て釘打ち</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ロ. 長ぼ差し、込み栓打ち</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ハ. 照ぼ差し・延ぼ差し、かすがい打ち</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ホ. 土台木口と隅柱の取り合い (落しあり) かど金物を両面に当て釘打ち</p>  </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>ニ. ホールドダウン金物による緊結</p>  </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p>アンカーボルトの品質、取り付け位置、埋込、高さ等の確認</p> </div>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()					
必要性	建物を地盤に緊結する。位置、間隔が決められている。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	耐力壁の強度の低下 建物が動ずる危険性が大きい					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

管理項目	5. 地盤の防蟻処理					
a. べた基礎又はコンクリート		b. 防蟻に有効な土壌処理				
						
<p>図 布基礎と鉄筋で一体となって基礎の内周部の地盤上に一様に打設されたコンクリート</p>				<p>防湿コンクリートの厚み配筋等の確認</p>		
<p>出典：「木造住宅のための住宅性能表示制度マニュアル」 監修：建設省住宅局住宅生産課 発行：(財)日本住宅・木材技術センター</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他()					
必要性	建物の耐久性を高める処理。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性			あり なし			
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他()					
精度と目的との関連性			高 中 低			
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	床下の蟻害					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書等					

管理項目	6. 基礎高さ
------	---------

基礎各部寸法の確認
 コンクリート強度の確認
 鉄筋の品質
 打法の確認

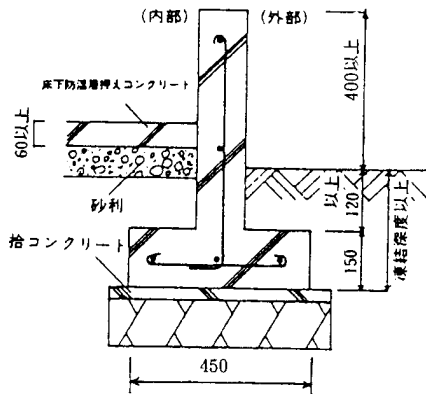
標準配筋図

出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
 監修：住宅金融公庫
 発行：（財）住宅金融普及協会

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）
必要性	床下換気を良くし、耐久性を高める。床下点検のための通路の確保。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ） 管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の 対処	補修、再施工
不適切の場合に 起こる現象	耐久性の低下。床下通路が確保できない。
不適切であって も良い条件	なし
関連する基準な ど	金融公庫仕様書等

管理項目	7. 床下換気・防湿 床下防湿の措置（防湿コンクリート又は防湿フィルムの状態）
------	---

床下防湿層押さえコンクリート

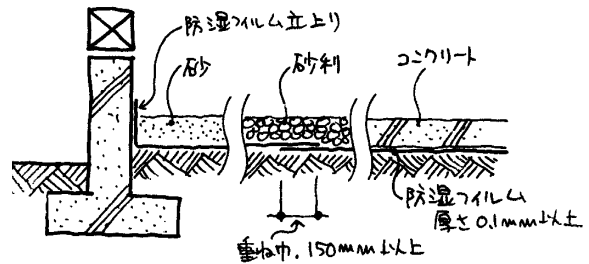


出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
 監修：住宅金融公庫
 発行：（財）住宅金融普及協会

防湿コンクリート厚みの確認

防湿フィルムの厚み

重ね寸法の確認



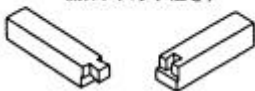
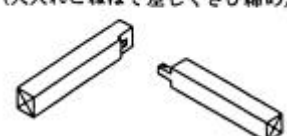
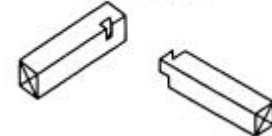
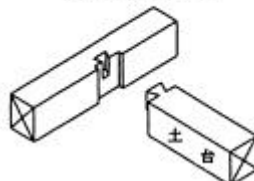
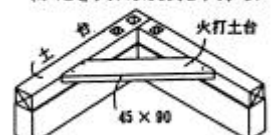
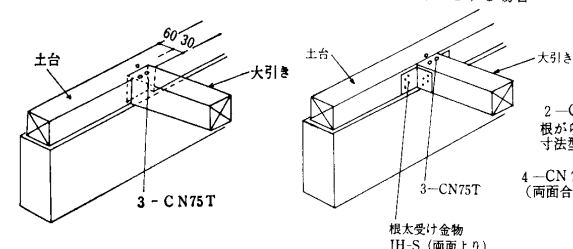
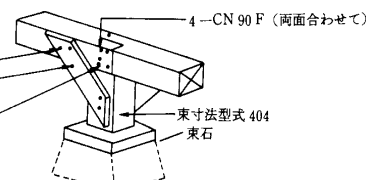
防湿フィルム

出典：「木造住宅のための住宅性能表示制度マニュアル」
 監修：建設省住宅局住宅生産課
 発行：（財）日本住宅・木材技術センター

床下防湿（防湿フィルム、防湿コンクリート）施工の確認

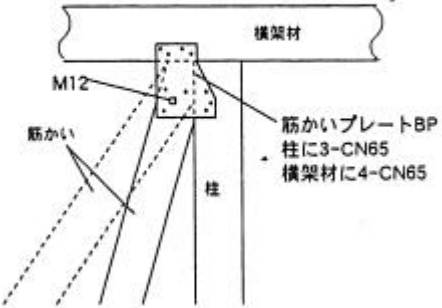
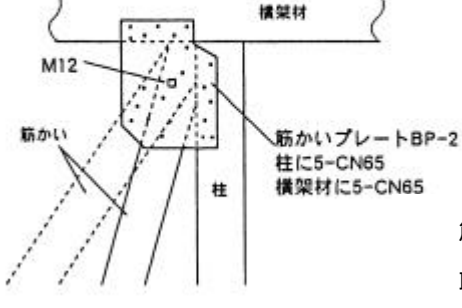
床下換気口的位置確認

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）
必要性	床下の防湿性を高めることで、耐久性を高める。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補修、再施工
不適切の場合に起こる現象	耐久性の低下。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書等

管理項目	1. 床組 土台・大引き (位置、樹種、等級、断面寸法、接合方法、アカボルトの状態)				
	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;"> <p>参考図5.1.1 土台の継手 (腰掛けあり継ぎ)</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>参考図5.1.1 土台すみ仕口 (大入れこねほぞ差しくさび締め)</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>参考図5.1.1 土台すみ仕口 (片あり掛け)</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>参考図5.1.1 土台T字取合仕口 (大入れあり掛け)</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>参考図5.1.2 火打土台仕口 (かたぎ入れN90釘2本打ち)</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>土台と大引きの取合</p> <p>(A) 仕口を大入れとする場合 (B) 仕口を突き付けとする場合</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>大引きの継ぎ手</p>  </div> </div> <p>土台の位置、寸法、防水紙施工、緊結の確認 大引・束の位置、寸法、緊結の確認</p>				
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他()				
必要性	1 階床の強度を決定する。				
重要度	高 中 低				
設計に依存	あり なし				
作業者の技術依存性	あり なし				
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他()				
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他()				
精度と目的との関連性	高 中 低				
不適切の場合の対処	補修、再施工				
不適切の場合に起こる現象	床のたわみ、床の強度不足、外壁の亀裂等				
不適切であっても良い条件	なし				
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等				

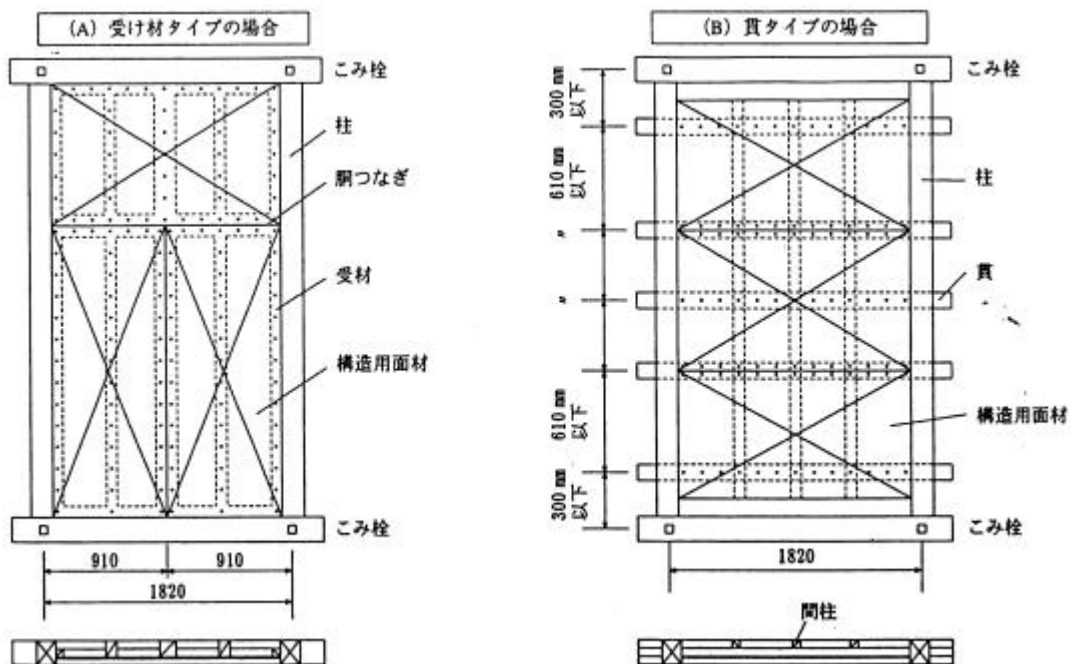
管理項目	1、軸組 柱（位置、断面寸法）				
<p style="text-align: center;">柱の上・下ほぞ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="223 336 526 649"> <p>一般柱 〔上・下〕</p> <p>面取 5mm程度 (以下同)</p> <p>(長穴短ほぞ差し)</p> </div> <div data-bbox="542 336 782 649"> <p>隅柱 〔上・下〕</p> <p>(半穴短ほぞ差し)</p> </div> <div data-bbox="798 313 1197 649"> <p>柱</p> <p>又は(横ほぞ差し)</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>外部廻りの柱及びすじかいの取付柱は三角プレート(Ⅹ)で補強する。但し、出隅柱は2面打ち筋かいプレート使用箇所は除く。</p> </div> <p style="text-align: center;">在来木造の軸組（大壁）</p> <div style="display: flex;"> <div data-bbox="223 761 606 1254"> </div> <div data-bbox="622 739 1021 1254"> </div> <div data-bbox="1085 761 1276 918" style="margin-left: 20px;"> <p>寸法の確認 樹種の確認 加工精度の確認</p> </div> </div>					
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他()				
必要性	垂直荷重を土台、基礎に伝達する。内外壁等の下地の骨組みとなる。 化粧柱として造作の取り付け部分となる。				
重要度	高 中 低				
設計に依存	あり なし				
作業者の技術依存性	あり なし				
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他()				
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他()				
精度と目的との関連性	高 中 低				
不適切の場合の対処	補修、補強、再施工				
不適切の場合に起こる現象	内外壁の亀裂、はらみ、床きしみ、傾斜等				
不適切であっても良い条件	なし				
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法、告示第56号等				

管理項目	1. 軸組 胴差し、けた (位置、断面寸法、継ぎ手)					
<p data-bbox="1082 544 1251 674">材種の確認 寸法の確認 金物取付の確認</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()					
必要性	載積荷重、固定荷重の支持及び柱、土台、基礎への伝達					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	補強、補修、再施工					
不適切の場合に起こる現象	内外壁の亀裂、床の不陸、床なり等					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法、告示第 56 号					

管理項目	2. 耐力壁 筋かいによる場合（位置、入れ方、断面寸法）	
	<p>厚さ30mm以上で幅90mm以上の木製筋かい</p>  <p>筋かいプレートBP 柱に3-CN65 横架材に4-CN65</p>	<p>厚さ45mm以上で幅90mm以上の木製筋かい</p>  <p>筋かいプレートBP-2 柱に5-CN65 横架材に5-CN65</p>
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）	
必要性	水平荷重を負担（地震、風圧等）	
重要度	高 中 低	
設計に依存	あり なし	
作業者の技術依存性	あり なし	
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ） 管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）	
精度と目的との関連性	高 中 低	
不適切の場合の対処	地震時の倒壊、傾斜、外壁等のひび割れ、剥離等	
不適切の場合に起こる現象	なし	
不適切であっても良い条件	正確な位置の確認、正確な加工、取り付け、補強金物の取り付け等	
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法、	

筋かい寸法の確認
 取付金物の確認
 アンカーボルトとの関係の確認

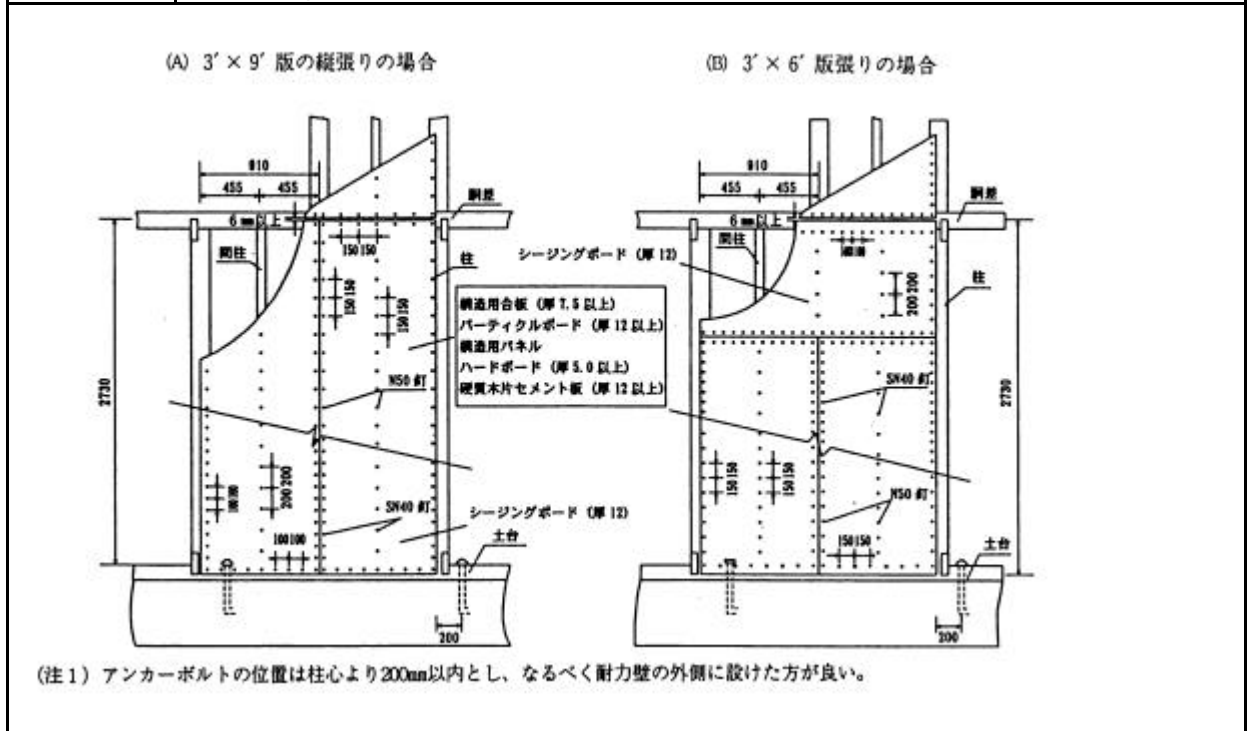
管理項目	2. 耐力壁 構造用面材による場合（材種、材厚、位置、釘の種類と間隔、下地の構成、面材の張り方）その1
------	---



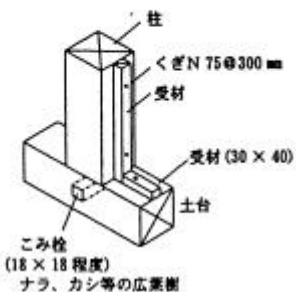
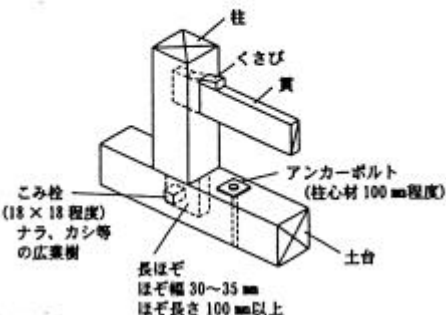
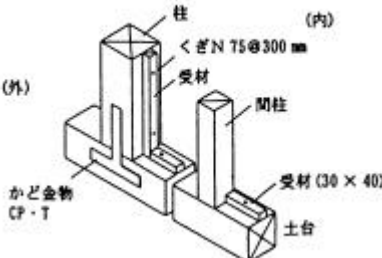
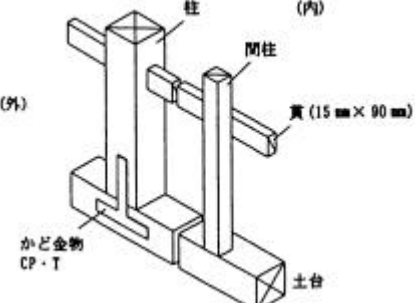
面材の確認
釘の寸法
間隔の確認

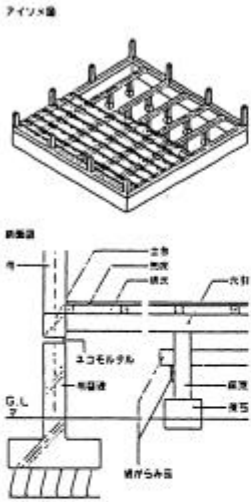
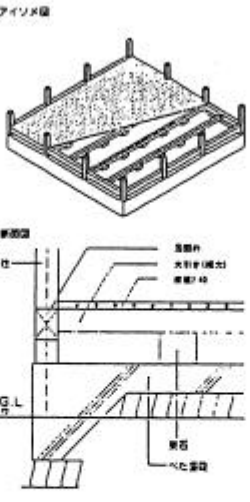
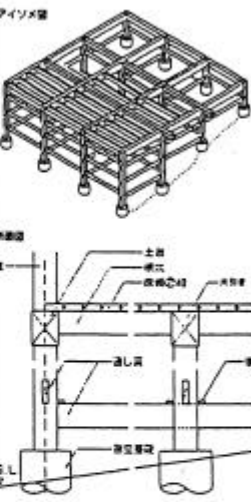
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 高齢者への配慮 あと工程 その他
必要性	水平荷重を負担（地震、風圧等）
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	地震時の倒壊、傾斜外壁等のひび割れ、剥離等
不適切の場合に起こる現象	なし
不適切であっても良い条件	正確な位置の確認、正確な加工、取り付け、補強金物の取り付け等
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法

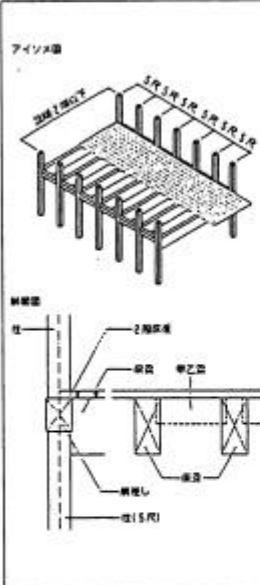

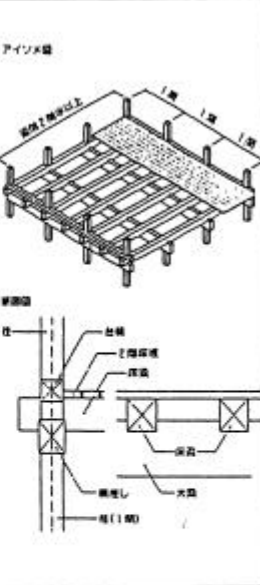
管理項目	2. 耐力壁 構造用面材による場合（材種、材厚、位置、釘の種類と間隔、下地の構成、面材の張り方）その2
------	---

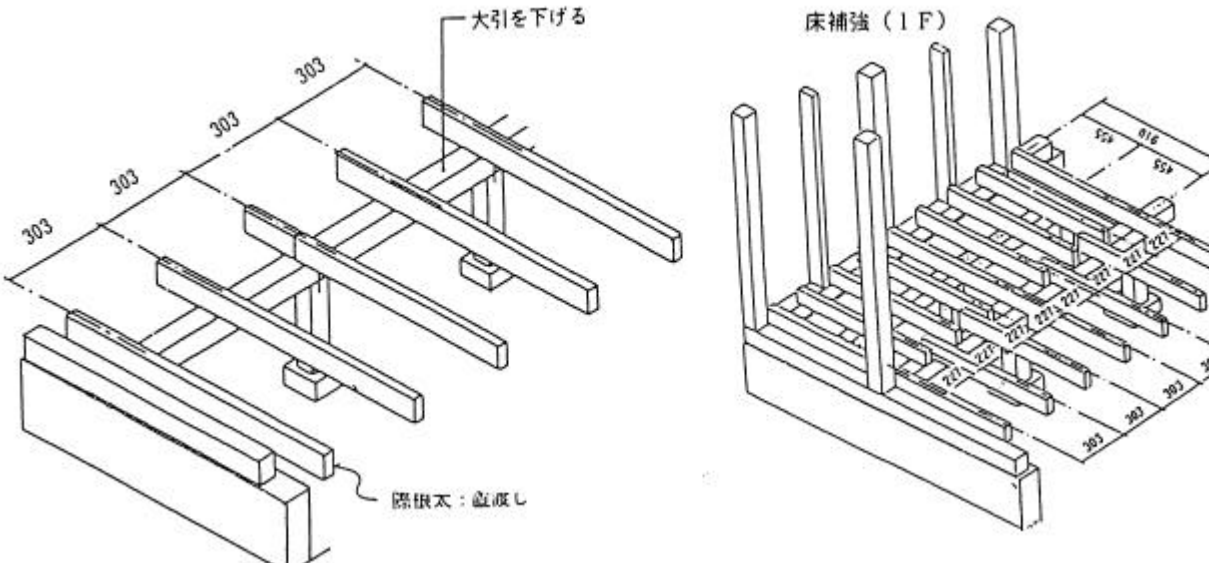


目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）
必要性	水平荷重を負担（地震、風圧等）
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	地震時の倒壊、傾斜外壁等のひび割れ、剥離等
不適切の場合に起こる現象	なし
不適切であっても良い条件	正確な位置の確認、正確な加工、取り付け、補強金物の取り付け等
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法

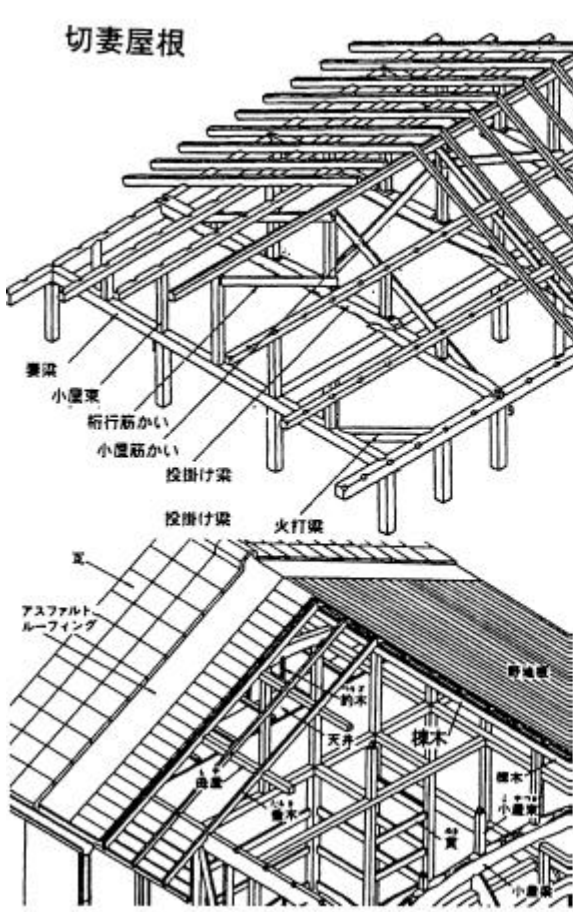
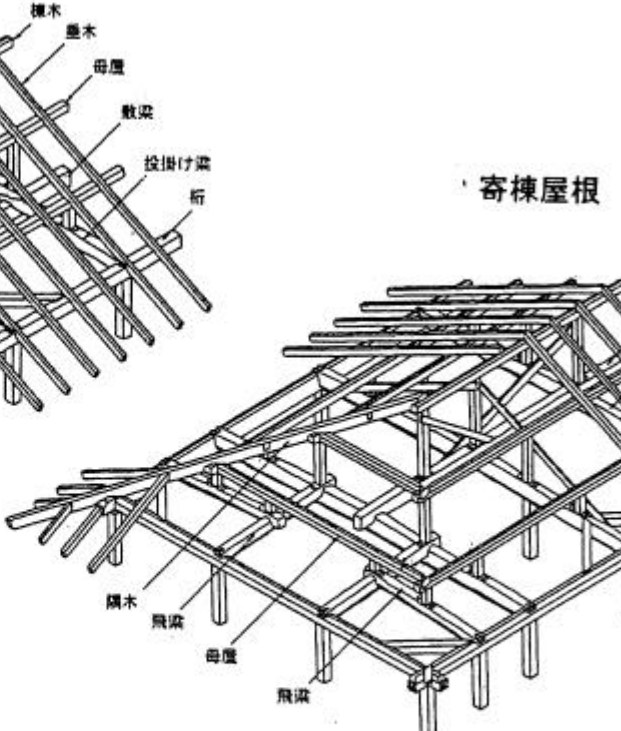
管理項目	2. 耐力壁 構造用面材による場合 (材種、材厚、位置、釘の種類と間隔、下地の構成、面材の張り方) その3					
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(A) 受け材タイプの場合</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(B) 貫タイプの場合</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>(内)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(外)</p>  </div> </div>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()					
必要性	水平荷重を負担 (地震、風圧等)					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	地震時の倒壊、傾斜外壁等のひび割れ、剥離等					
不適切の場合に起こる現象	なし					
不適切であっても良い条件	正確な位置の確認、正確な加工、取り付け、補強金物の取り付け等					
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法					

管理項目	3. 床構法 面材による場合(材種、材厚、下地構成)その1		
	 <p data-bbox="406 862 657 1070">コンクリート布基礎の上部にネコモルタルを施し、土台・大引・根太・床板で構成する一般的な床組である</p> <p data-bbox="470 1093 593 1122">布基礎の床</p>	 <p data-bbox="686 862 936 1070">コンクリートべた基礎の上に立体構造の架構体を置く床組。固定方法次第で地震時の入力を減じる免震的な考え方によるもの</p> <p data-bbox="734 1093 888 1122">べた基礎の床</p>	 <p data-bbox="965 862 1216 1070">斜面に構築する場合には支持点を分散し、同時に通し貫で床組を一体化する「懸崖造り」が合理的かつ経済的である</p> <p data-bbox="1013 1093 1168 1122">独立基礎の床</p>
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他()		
必要性	床荷重、載積荷重等の分布支持、家具等の安定、生活動線の円滑性等		
重要度	高 中 低		
設計に依存	あり なし		
作業者の技術依存性	あり なし		
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他()		
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他()		
精度と目的との関連性	高 中 低		
不適切の場合の対処	補強、再施工		
不適切の場合に起こる現象	地震時の倒壊、傾斜へこみ等		
不適切であっても良い条件	なし		
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法		

管理項目	3. 床構法 面材による場合(材種、材厚、下地構成)その2		
	 <p data-bbox="411 869 651 1070">床組を支える柱を3～4尺5寸間に配置し、梁の上に直接厚板を張る形式。床梁の間に甲乙梁を入れるとより床面が固まる</p>	 <p data-bbox="694 869 927 1070">梁間が2～2間半程度の場合、1間ごとに床梁を架け、その上に根太・床板を張る最も一般的な形式である</p>	 <p data-bbox="965 869 1198 1070">梁間が大きい場合は、大梁と小梁を組んで床組の剛性を高める。小梁の間隔が1間のときは根太掛けし、3尺のときは厚板張りも可能</p>
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他()		
必要性	床荷重、載積荷重等の分布支持、家具等の安定、生活動線の円滑性等		
重要度	高 中 低		
設計に依存	あり なし		
作業者の技術依存性	あり なし		
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他()		
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他()		
精度と目的との関連性	高 中 低		
不適切の場合の対処	補強、再施工		
不適切の場合に起こる現象	地震時の倒壊、傾斜、へこみ等		
不適切であっても良い条件	なし		
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法		

管理項目	3. 床構法 線材による場合（材種、断面寸法、材の構成、材の構成、組合せ方）					
 <p data-bbox="223 907 399 985">断面寸法の確認 材種の確認</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	床荷重、載積荷重等の分布支持、家具等の安定、生活動線の円滑性等					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	補強、再施工					
不適切の場合に起こる現象	地震時の倒壊、傾斜、へこみ等					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法					

管理項目	3. 床構法 線材による場合（材種、断面寸法、材の構成、材の構成、組合せ方）					
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	防水性の向上、断熱効果、積雪荷重の分布支持率					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	補強、補修、再施工					
不適切の場合に起こる現象	雨漏り等					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法、					

管理項目	4. 屋根構法 線材による場合（材種、断面寸法、材の構成、留め付け方）					
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>切妻屋根</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>寄棟屋根</p>  </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">材種の確認 断面打法の確認 留め付方法の確認</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	防水性の向上、断熱効果、積雪荷重の分布支持等					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	補強、補修、再施工					
不適切の場合に起こる現象	雨漏り等					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法、					

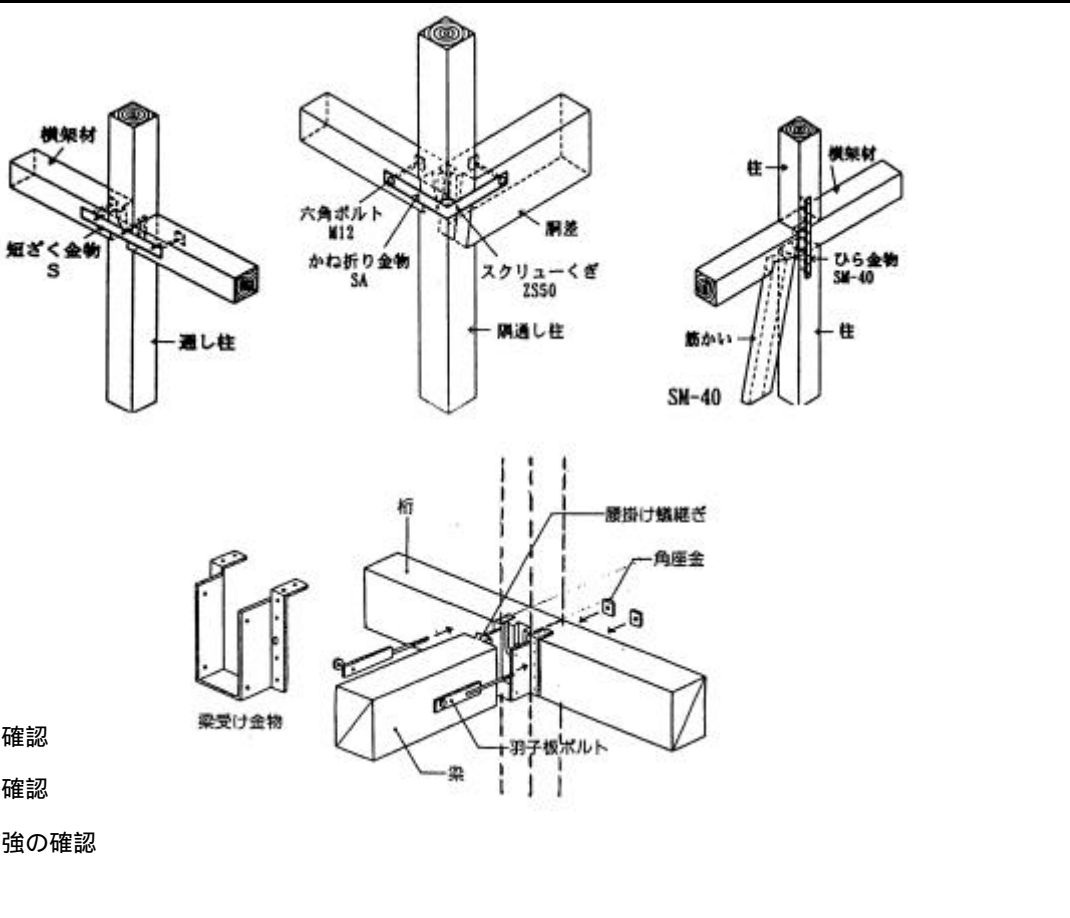
管理項目	5. 仕口・接合金物 土台（基礎）と柱の接合部
------	-------------------------

ホールダウン金物による
柱と基礎の緊結
(土台を介して基礎と柱を直接緊結
する場合)

ホールダウン金物による
柱と基礎の緊結
(土台専用座金付ボルトの場合)

金物の確認
ボルト等の留め付確認

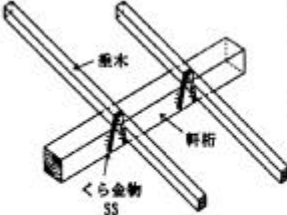
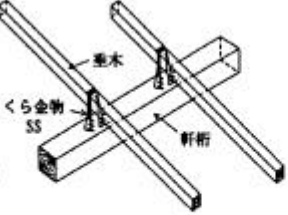
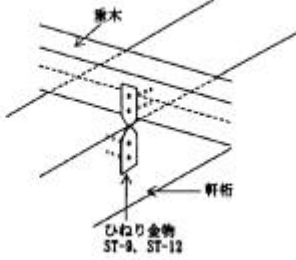
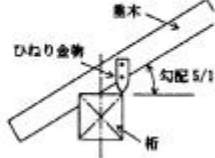
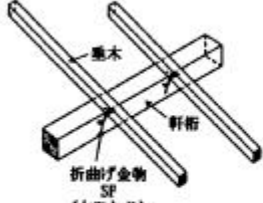
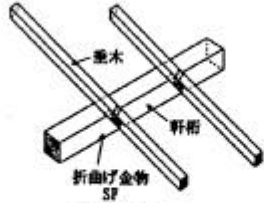
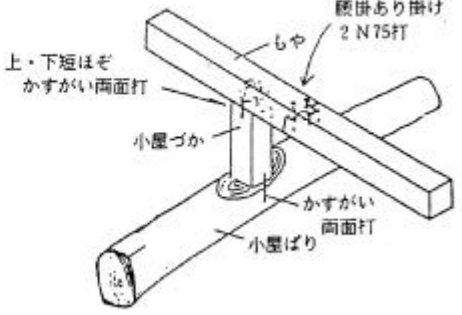
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()
必要性	土台と基礎と柱を一体とする。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補強、補修、再施工
不適切の場合に起こる現象	地震力による引き抜け、倒壊
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法

管理項目	5. 仕口・接合金物 柱と胴差し・けた・けたの接合部	
<p>材種の確認</p> <p>寸法の確認</p> <p>金物補強の確認</p>		
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()	
必要性	柱と胴差し又はけた・はり等と一体とする。	
重要度	高 中 低	
設計に依存	あり なし	
作業者の技術依存性	あり なし	
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()	
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()	
精度と目的との関連性	高 中 低	
不適切の場合の対処	追加取り付け、ボルト等の締め直し、補強等	
不適切の場合に起こる現象	地震力による引き抜け、倒壊、建物のゆがみの発生等	
不適切であっても良い条件	なし	
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法	

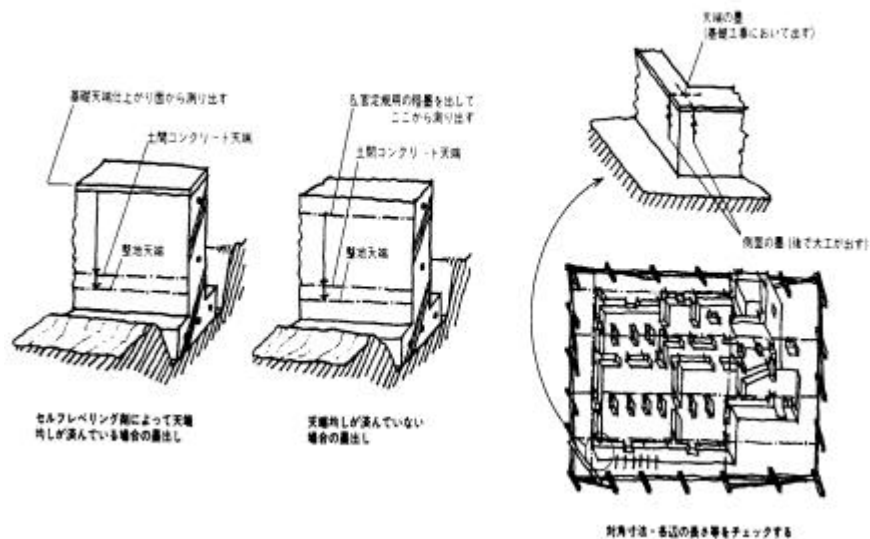
管理項目	5. 仕口・接合金物 柱と柱の接合部 はりとはり・胴差し・けたの接合部	
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他()	
必要性	柱と柱の接合部、はりとはり・胴差し・けたの接合部の遊離を防止	
重要度	高 中 低	
設計に依存	あり なし	
作業者の技術依存性	あり なし	
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他()	
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他()	
精度と目的との関連性	高 中 低	
不適切の場合の対処	追加取り付け、ボルト等の締め直し	
不適切の場合に起こる現象	地震力による引き抜け、倒壊、建物のゆがみの発生等	
不適切であっても良い条件	なし	
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法	

管理項目	5. 仕口・接合金物 筋かいの上下端					
寸法の確認 金物の確認 取付方法の確認						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()					
必要性	柱と柱の接合部、はりとはり・胴差し・けたの接合部の遊離を防止					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	追加取り付け、ボルト等の締め直し					
不適切の場合に起こる現象	地震時の倒壊、傾斜。外壁等のひび割れ、剥離等					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法					

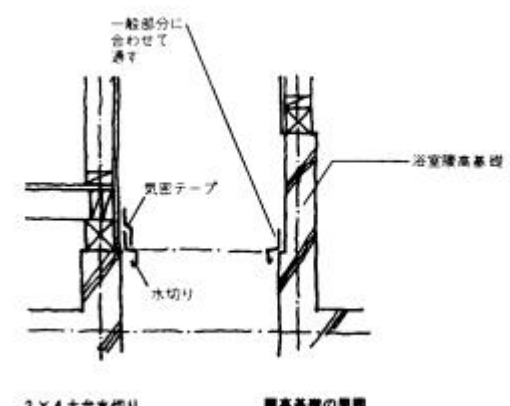
管理項目	5. 仕口・接合金物 火打ちはり・胴差し・けたの接合部					
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()					
必要性	水平構面の剛性を保持					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	追加取り付け、ボルト等の締め直し					
不適切の場合に起こる現象	床及び建物のねじれ					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	住宅金融公庫仕様書、建築基準法					

管理項目	5. 仕口・接合部 小屋束ともや、垂木ともやの接合部					
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>SS 軒先側の取付け例</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>SS 棟側の取付け例</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ひねり金物 ST-9, ST-12</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ひねり金物 勾配 5/1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>折曲げ金物 SP (右ひねり) SP (右ひねり)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>折曲げ金物 SP (左ひねり) SP (左ひねり)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>上・下短ほぞ かすかいい両面打 小屋づか 小屋ばり 腰掛あり掛 2 N75打 かすかいい 両面打</p> </div> </div> <p>材種の確認 寸法の確認 取付方法の確認</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()					
必要性	耐久性を高める。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性			あり なし			
管理方法		管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()				
		管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()				
精度と目的との関連性			高 中 低			
不適切の場合の対処		追加施工、補強等				
不適切の場合に起こる現象		屋根構面の飛散、ねじれ、雨漏り				
不適切であっても良い条件		なし				
関連する基準など		住宅金融公庫仕様書、建築基準法				

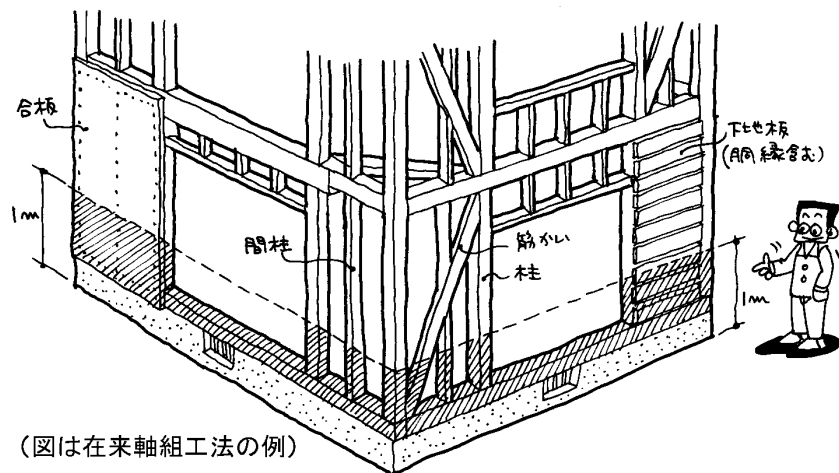
管理項目 6. 基礎コンクリート 打設・養生（打設・養生の状況、立ち上がり状態）



目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）
必要性	建物の強度を決める。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補修、再施工
不適切の場合に起こる現象	基礎の亀裂、割れ等
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等

管理項目	5. 構造部材の樹種、断面寸法と防腐防蟻処理 土台					
 <p>2×4土台水切り 壁高基礎の周囲</p> <p>構造材の品質、寸法の確認 土台の防水紙施工の確認</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	耐久性を高める。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	土台の腐食、蟻害による耐久性の低下。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第56号等					

管理項目	5. 構造部材の防腐防蟻処理 外壁枠組材及び下張材
------	---------------------------



(図は在来軸組工法の例)



図 外壁の軸組等

外壁部の柱、間柱、筋かい又は合板、下地材（胴縁を含む）等
 （薬剤処理を行う場合は柱・間柱の木口、ほぞまで行い、柱の室内側の見えがかりは行わない）

防腐、防蟻工事の確認

出典：「木造住宅のための住宅性能表示制度マニュアル」
 監修：建設省住宅局住宅生産課
 発行：(財)日本住宅・木材技術センター

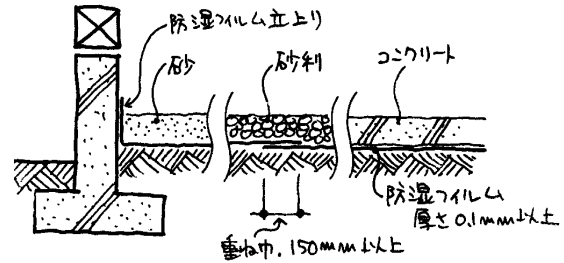
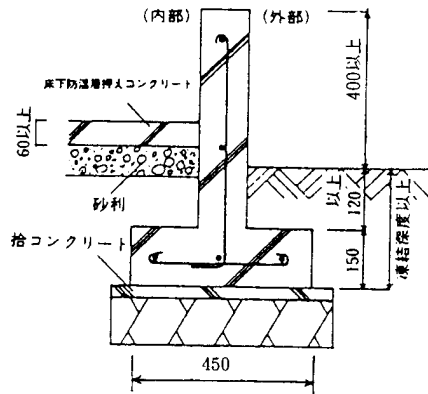
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）
必要性	耐久性を高める。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	再施工
不適切の場合に起こる現象	外壁面の腐食、蟻害による耐久性の低下。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等

管理項目	5. 構造部材の樹種、断面寸法と防腐防蟻処理					浴室・脱衣室の防水
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>図 布基礎の上にコンクリートブロックを積み上げて腰壁とした部分</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図 コンクリート造の腰高布基礎とした部分</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">出典：「木造住宅のための住宅性能表示制度マニュアル」 監修：建設省住宅局住宅生産課 発行：(財)日本住宅・木材技術センター</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他()					
必要性	耐久性を高める。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他()					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	浴室、脱衣室回りの腐食、蟻害による耐久性の低下。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書等					

管理項目	5 . 構造部材の樹種、断面寸法と防腐防蟻処理	台所、洗面所等の壁軸組・床組 通し柱である隅柱
浴室および隅柱については 同処理		
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気 環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()	
必要性	耐久性を高める。	
重要度	高 中 低	
設計に依存	あり なし	
作業者の技術依存性	あり なし	
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()	
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()	
精度と目的との関連性	高 中 低	
不適切の場合の対処	再施工	
不適切の場合に起こる現象	浴室、脱衣室回りの腐食、蟻害による耐久性の低下。	
不適切であっても良い条件	なし	
関連する基準など		

管理項目	6. 床下換気・防湿 床下防湿の措置（防湿コンクリート又は防湿フィルムの状態）
------	---

床下防湿層押さえコンクリート



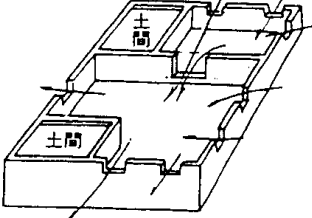
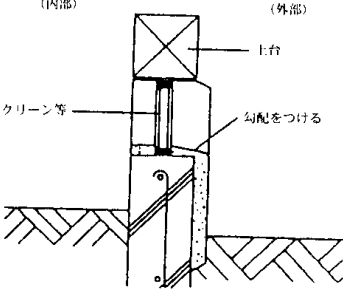
防湿フィルム

出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
 監修：住宅金融公庫
 発行：（財）住宅金融普及協会

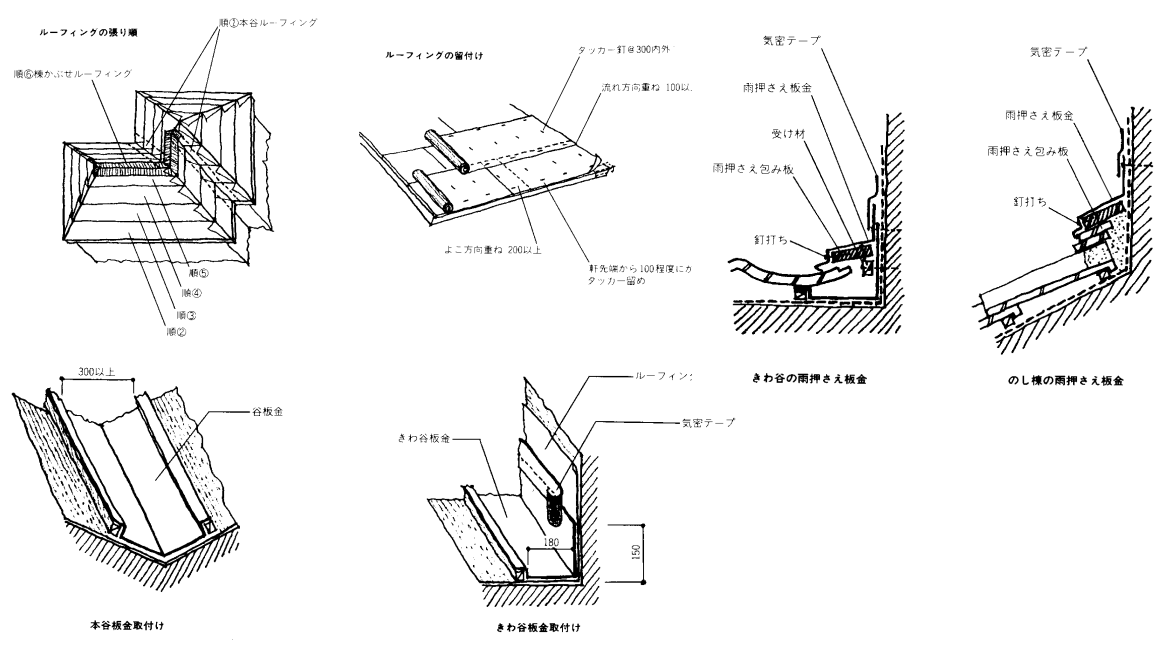
出典：「木造住宅のための住宅性能表示制度マニュアル」
 監修：建設省住宅局住宅生産課
 発行：（財）日本住宅・木材技術センター

床下防湿（防湿フィルム、防湿コンクリート）施工の確認

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）
必要性	床下防湿をすることで、耐久性を高める。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ） 管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補修、再施工
不適切の場合に起こる現象	床下の腐食、蟻害。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第56号等

管理項目	6. 床下換気・防湿 床下換気の措置（換気口の位置と大きさ）					
<p style="text-align: center;">イ. 床下の換気計画</p>  <p style="text-align: center;">ロ. 床下換気孔断面図</p>  <p style="text-align: center;">(良い・例)</p> <p>床下換気口の位置の確認（型枠） 床下換気口の確認</p> <p style="text-align: right;">出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」 監修：住宅金融公庫 発行：（財）住宅金融普及協会</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	床下換気により耐久性を高める。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	床の腐食、蟻害。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

管理項目 7. 屋根 屋根下地（下地材料、部材の取り合い、水切金物）



屋根下葺き材の確認
 板金工事の確認
 屋根防水ルーフィングの確認
 防水テープの確認

出典：「木造住宅施工の実務手順図解チェックシート166」
 編著：(株)木下工務店技術本部
 発行者：山本泰四郎
 発行：(株)彰国社

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()
必要性	屋根からの漏水を防ぐ。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補修、再施工
不適切の場合に起こる現象	屋根からの漏水。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書等

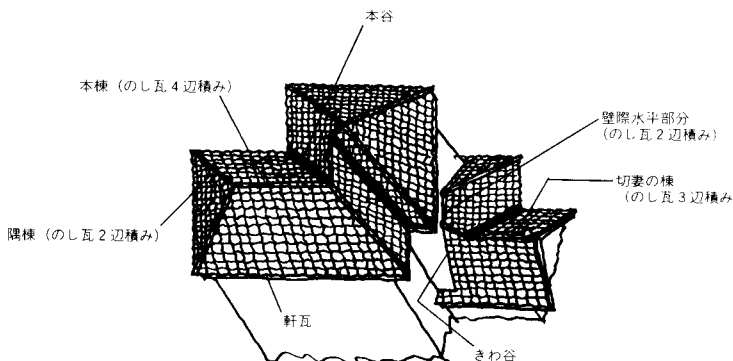
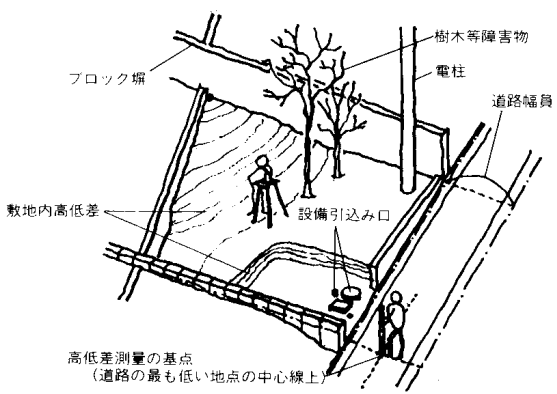
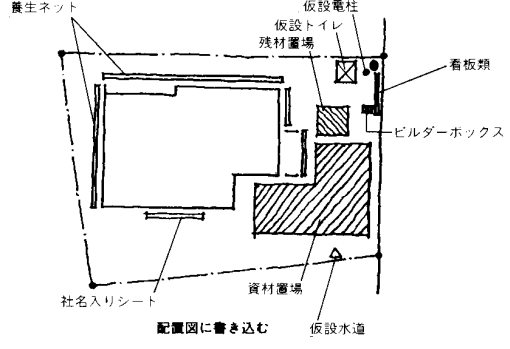
管理項目	7. 屋根 屋根葺きの状況 (屋根材料、葺き上がり状況)					
<div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: right;">出典：「木造住宅施工の実務手順図解チェックシート166」 編著：(株)木下工務店技術本部 発行者：山本泰四郎 発行：(株)彰国社</p> <p style="text-align: center;">屋根仕上材の確認</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()					
必要性	屋根からの漏水などを防ぐ。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	屋根からの漏水					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書等					

表 - 2.3.4 ツーバイフォー建築協会の検査項目

検査時期	検査内容	
基礎配筋完了	1.敷地の状況	敷地の状態
		建物の位置とレベル
	2.地盤	地盤の特性(造成状況、地盤の種類、地盤調査)
		地層等の状況(地層の一様性、埋置物、湧水等の有無)
		地盤改良(地盤改良の方法、施工状況)
	3.地業	(地業の状態、締め固め、捨てコンクリート)
	4.基礎	基礎の形式・位置
		基礎の形状
		配筋の状態
		アンカーボルト
5.地盤の防蟻処理		
6.基礎高さ		
7.床下換気・防湿	床下防湿の措置(防湿コンクリート又は防湿フィルムの状態)	
上棟・屋根工事完了時	1.床組	土台・大引き(位置、樹種、等級、断面寸法、接合方法、アンカーボルトの状態)
		床根太(位置、樹種、等級、間隔、断面寸法、接合方法の状態)
		床下張材(厚さ、寸法、等級、張り方、釘打ちの状態)
		接合金物(品質、サイズ、釘打ちの状態)
	2.壁組	たて枠(位置、樹種、等級、間隔、断面寸法、接合方法の状態)
		上・下枠・頭つなぎ(位置、樹種、等級、間隔、断面寸法、接合方法の状態)
		まぐさ(位置、樹種、等級、断面寸法、接合方法の状態)
		壁下張材(厚さ、寸法、等級、張り方、釘打ちの状態)
		接合金物(品質、サイズ、釘打ちの状態)
	3.小屋組	たるき(位置、樹種、等級、間隔、断面寸法、接合方法の状態)
		屋根梁(位置、樹種、等級、間隔、断面寸法、接合方法の状態)
		トラス(形状、樹種、等級、間隔、断面寸法、接合方法の状態)
		天井根太(位置、樹種、等級、間隔、断面寸法、接合方法の状態)
		屋根下張材(厚さ、寸法、等級、張り方、釘打ちの状態)
		接合金物(品質、サイズ、釘打ちの状態)
	4.基礎コンクリート	打設・養生(打設・養生の状況、打ち上がり状態)
	5.構造部材の防腐防蟻処理	土台
		外壁枠組材及び下張材
		浴室・脱衣室の防水
		小屋裏の換気
	6.床下換気・防湿	床下防湿の措置(防湿コンクリート又は防湿フィルムの状態)
		床下換気の措置(換気口の位置と大きさ)
	7.屋根	屋根下地(下地材料、部材の取り合い、水切金物)
		屋根葺きの状況(屋根材料、葺き上がり状況)

表 - 2.3.5 具体的な管理方法の例（枠組壁工法）

管理項目	1. 敷地の状況 敷地の状態	
		 <p data-bbox="821 873 1372 996"> 出典：「木造住宅施工の実務手順図解チェックシート166」 編著：(株)木下工務店技術本部 発行者：山本泰四郎 発行：(株)彰国社 </p>
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）	
必要性	基本設計を行うための前提条件、施工のための環境を調査する。	
重要度	高 中 低	
設計に依存	あり なし	
作業者の技術依存性	あり なし	
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）	
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）	
精度と目的との関連性	高 中 低	
不適切の場合の対処	再測量、再調査、現場再確認を行う。	
不適切の場合に起こる現象	基本設計が違反建築になる場合がある。施工時に必要なスペースが確保できない。	
不適切であっても良い条件	なし	
関連する基準など	建築基準法、同施工令等	

管理項目	1. 敷地の状況 建物の位置とレベル					
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;"> </div> <div style="width: 45%;"> <p>決定GLとの関係チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況GL、設計GLとの差 ・カーポート、アプローチとの関係 ・土留め、深基礎の要否 </div> </div> <p>出典：「木造住宅施工の実務手順図解チェックシート166」 編著：(株)木下工務店技術本部 発行：山本泰四郎 発行：(株)彰国社</p> <p>道路、近隣敷地との高低差の確認 建物配置の確認 境界からの寸法確認 BM（ベンチマーク）、基準線の設定、GL（地盤面）の決定</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	建物の基準高さなど、設計を行うための基本条件を調査する。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再測量を行う。					
不適切の場合に起こる現象	基本設計が違反建築となる場合がある。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	建築基準法、同施工令等					

管理項目	2. 地盤 地盤の特性 (造成状況、地盤の種類、地盤調査)
------	-------------------------------

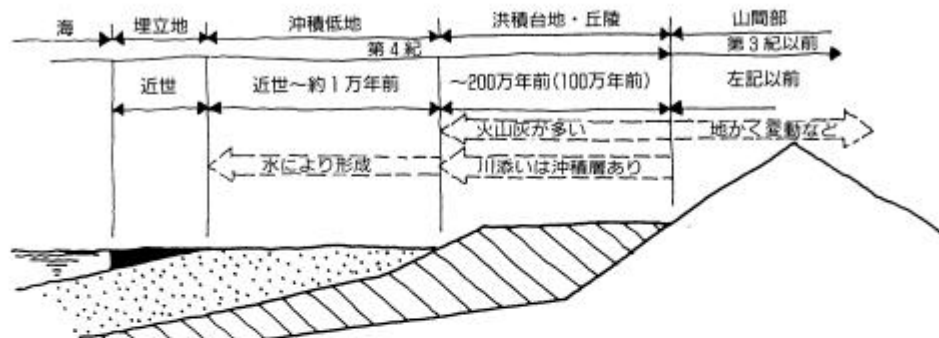


図1 海岸部都市模式断面図

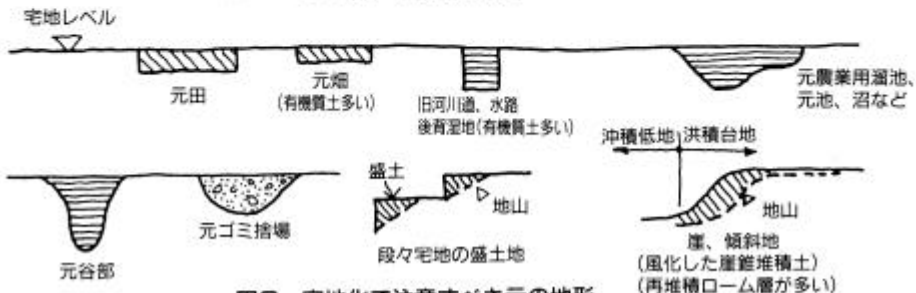


図2 宅地化で注意すべき元の地形

出典：「地震に強い〔木造住宅〕の設計マニュアル」
 発行人：井松志郎
 発行所：(株)建築知識

地耐力の確認

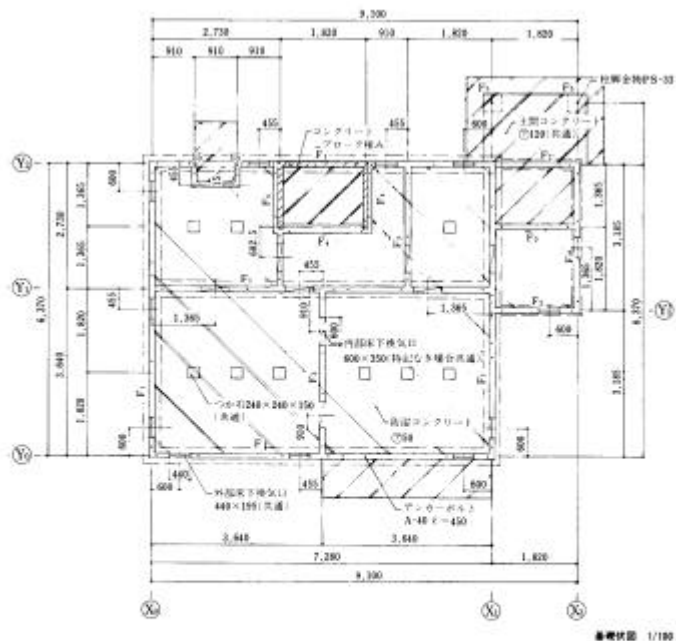
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()
必要性	基礎の設計を行うための前提条件を調査する。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 (地盤調査)
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	再調査を行う。
不適切の場合に起こる現象	竣工後建物の沈下、不同沈下、基礎の亀裂等が起こる危険性がある。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	建築基準法、同施工令等

管理項目		
<p>地中埋設物の確認 地中埋設物の処理</p>		
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気 環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他()	
必要性	基礎の設計を行うための前提条件を調査する。地下の状況によっては、処理が必要。	
重要度	高 中 低	
設計に依存	あり なし	
作業者の技術依存性	あり なし	
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他()	
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他()	
精度と目的との関連性	高 中 低	
不適切の場合の対処	再調査を行う。	
不適切の場合に起こる現象	竣工後建物の沈下、不同沈下、基礎の亀裂等が起こる危険性がある。	
不適切であっても良い条件	なし	
関連する基準など		

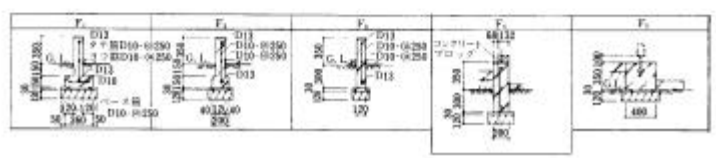
管理項目	2. 地盤 地盤改良（地盤改良の方法、施工状況）					
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	地耐力が小さい場合は、地盤改良が必要となる。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（地盤改良工事）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工する。					
不適切の場合に起こる現象	竣工後建物の沈下、不同沈下、基礎の亀裂等が起こる危険性がある。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など						

管理項目	3. 地業（地業の状態、締め固め、捨てコンクリート）					
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>捨てコンクリート打設</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>根切り</p> </div> </div> <p>根伐り寸法確認 根伐り底の確認 地業の確認</p> <p>出典：「木造住宅施工の実務手順図解チェックシート166」 編著：(株)木下工務店技術本部 発行者：山本泰四郎 発行：(株)彰国社</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	基礎のフーチング幅を決める。基礎の底盤を強固に固める。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工する。					
不適切の場合に起こる現象	基礎の底盤幅が少なくなる。基礎の底盤が弱く基礎が不同沈下する。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など						

管理項目	4. 基礎 基礎の形式・位置
------	----------------



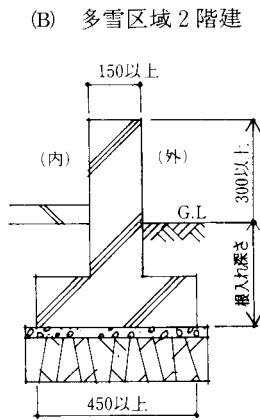
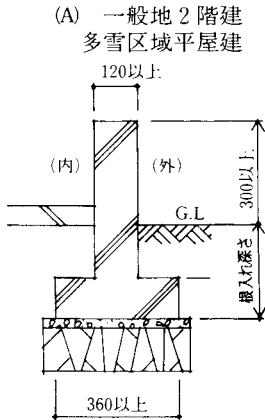
地耐力に対する基礎設計の確認
型枠組み位置の確認



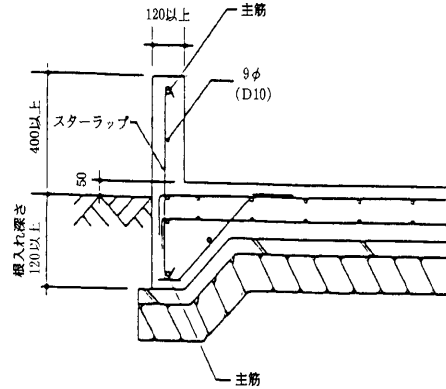
出典：「初めて学ぶ図解ツーバイフォー工法」
編集：枠組壁工法教材研究所
発行：井上書院

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()
必要性	基礎の位置により、建物の位置が決定される。基礎の形式は強度を決定する。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	再施工する。
不適切の場合に起こる現象	違反建築となる場合がある。基礎の強度不足となる。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等

布基礎詳細図



べた基礎詳細図 (mm)

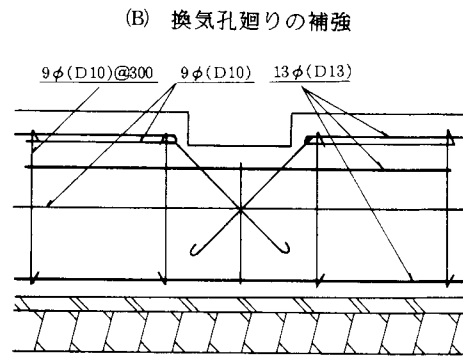
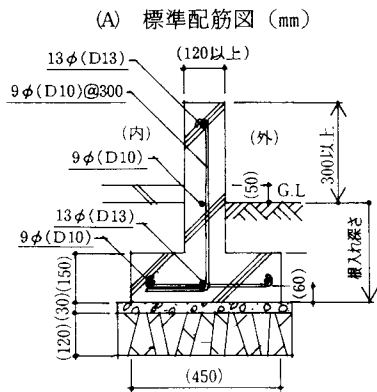


フーチングの寸法の確認
立上り寸法の確認
コンクリート強度の確認

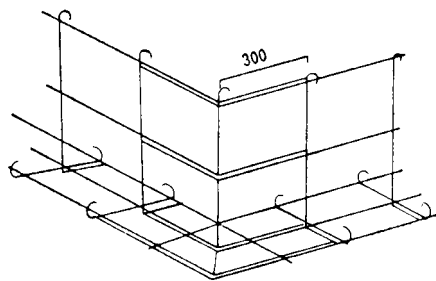
出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
監修：住宅金融公庫
発行：(財)住宅金融普及協会

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()					
必要性	基礎の形式によって強度が決定される。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 (強度試験)					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	基礎の強度不足により、建物の沈下、基礎の亀裂等が起こる危険性がある。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

管理項目	4. 基礎 配筋の状態
------	-------------



(C) 隅角部補強



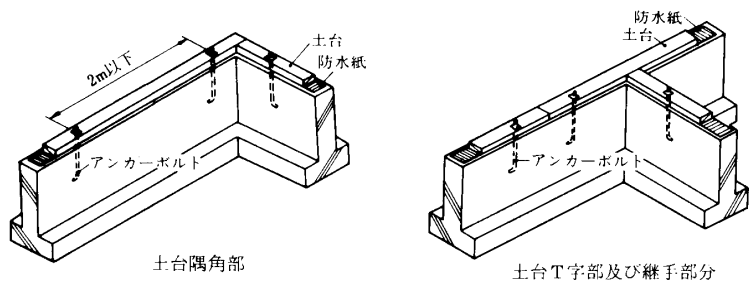
(注) 隅角部では各横筋を折り曲げた上直交する他方向の横筋に300mm以上重ね合わせる。

- ベース筋の確認
- 基礎立上りの配筋確認
- 補強筋の配筋確認
- かぶり厚さの確認

出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
 監修：住宅金融公庫
 発行：（財）住宅金融普及協会

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）
必要性	基礎の曲げ強度を決定する。基礎開口、コーナー部の補強。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ） 管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	再施工
不適切の場合に起こる現象	基礎に亀裂、割れが起こる危険性がある。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	建築基準法施工令、日本建築学会（JASS 5）

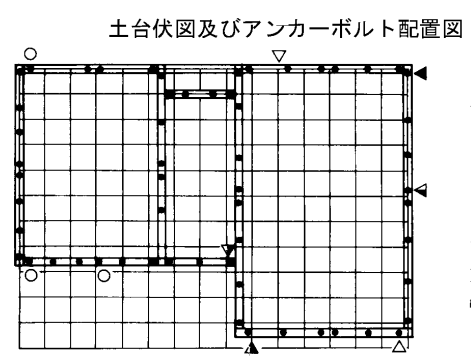
管理項目	4. 基礎 アンカーボルト
------	---------------



土台隅角部

土台T字部及び継手部分

出典：「1998年枠組壁工法建築物設計の手引き」
 監修：建設省住宅局建築指導課・木造住宅振興室
 日本ツーバイフォー建築協会

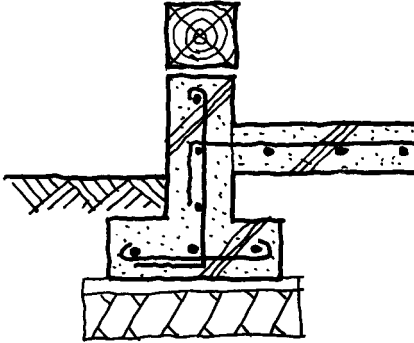


アンカーボルトの品質、取り付け位置、埋込、高さ等の確認

アンカーボルトは、土台継手部分、土台交差部分、耐力壁に引張を生ずる部分かつ2m間隔以内ごとに配置する。

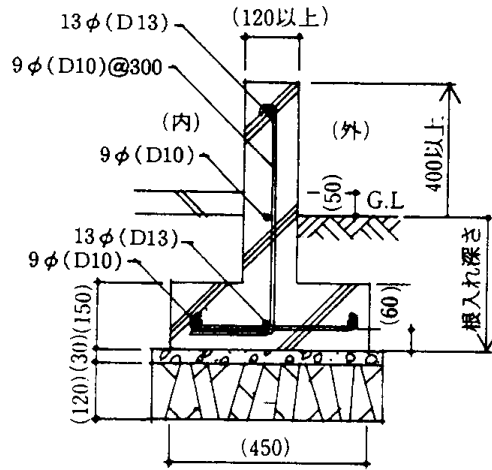
出典：「1998年枠組壁工法建築物構造計算指針」
 監修：建設省住宅局建築指導課・木造住宅振興室
 発行：(社)日本ツーバイフォー建築協会

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()
必要性	建物を地盤に緊結する。位置、間隔が決められている。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	再施工
不適切の場合に起こる現象	耐力壁の強度の低下
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第56号等

管理項目	5. 地盤の防蟻処理					
<p>a. べた基礎又はコンクリート b. 防蟻に有効な土壌処理</p>  <p>図 布基礎と鉄筋で一体となって基礎の内周部の地盤上に一様に打設されたコンクリート</p> <p>出典：「木造住宅のための住宅性能表示制度マニュアル」 監修：建設省住宅局住宅生産課 発行：(財)日本住宅・木材技術センター</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気 環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他()					
必要性	建物の耐久性を高める処理。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他()					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	床下の蟻害					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書等					

管理項目	6 . 基礎高さ
------	----------

標準配筋図

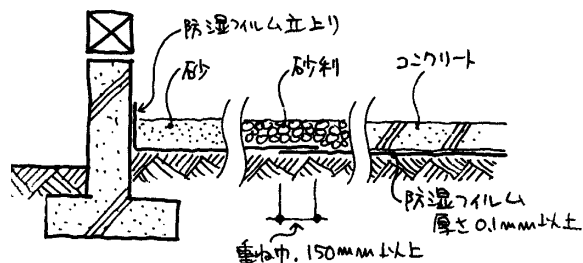
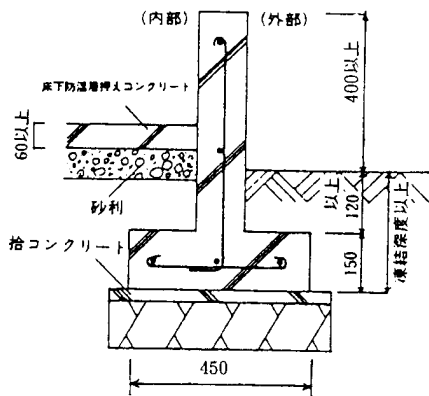


出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
 監修：住宅金融公庫
 発行：(財)住宅金融普及協会

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()
必要性	床下換気を良くし、耐久性を高める。床下点検のための通路の確保。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 () 管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補修、再施工
不適切の場合に起こる現象	耐久性の低下。床下通路が確保できない。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書等

管理項目	7. 床下換気・防湿 床下防湿の措置（防湿コンクリート又は防湿フィルムの状態）
------	---

床下防湿層押さえコンクリート



防湿フィルム

出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
 監修：住宅金融公庫
 発行：（財）住宅金融普及協会

出典：「木造住宅のための住宅性能表示制度マニュアル」
 監修：建設省住宅局住宅生産課
 発行：（財）日本住宅・木材技術センター

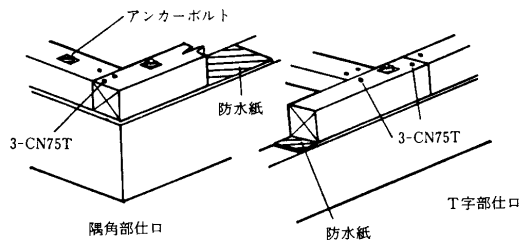
床下防湿（防湿フィルム、防湿コンクリート）施工の確認

床下換気口の位置確認

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）
必要性	床下の防湿性を高めることで、耐久性を高める。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補修、再施工
不適切の場合に起こる現象	耐久性の低下。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書等

管理項目	1. 床組 土台・大引き (位置、樹種、等級、断面寸法、接合方法、アンカーボルトの状態)
------	--

寸法型式 404 の土台の仕口及び継ぎ手の釘打ち

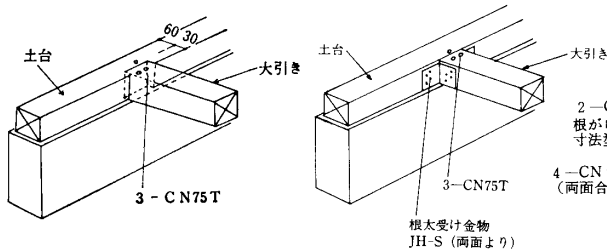


土台の位置、寸法、防水紙施工、緊結の確認
大引・束の位置、寸法、緊結の確認

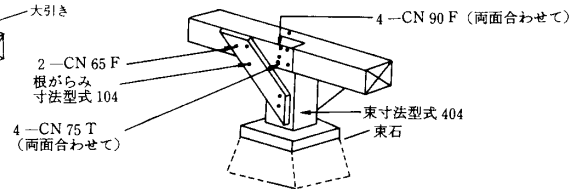
出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
監修：住宅金融公庫
発行：（財）住宅金融普及協会

土台と大引きの取合

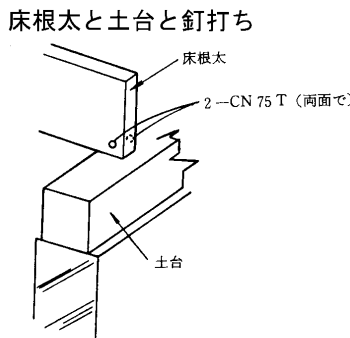
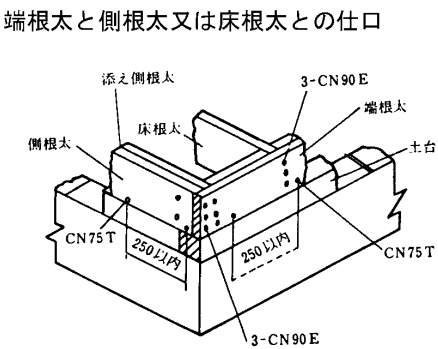
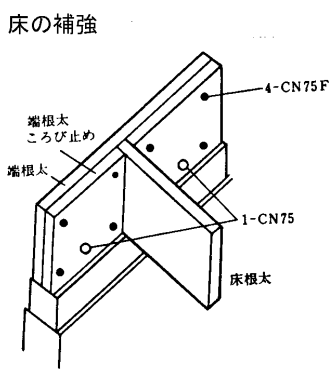
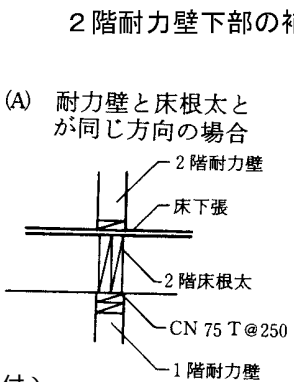
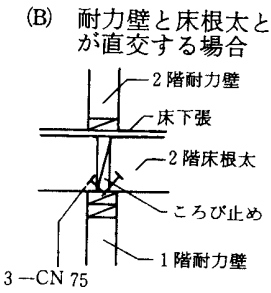
(A) 仕口を大入れとする場合 (B) 仕口を突き付けとする場合

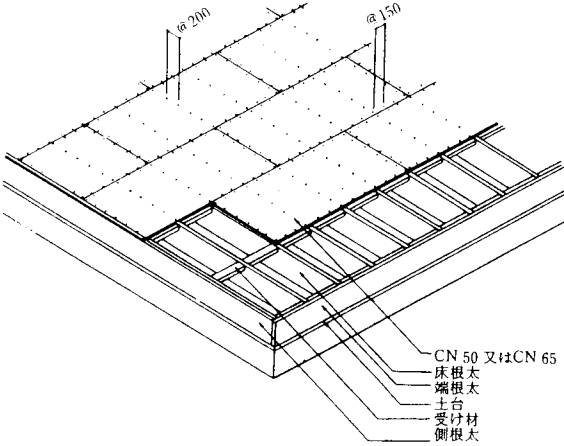


大引きの継ぎ手

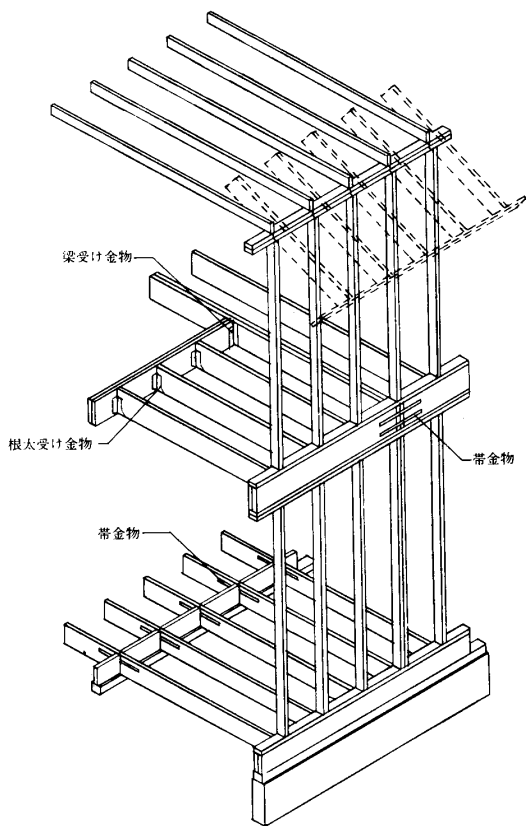


目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()
必要性	1 階床の強度を決定する。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補修、再施工
不適切の場合に起こる現象	床のたわみ、床の強度不足、外壁の亀裂等
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等

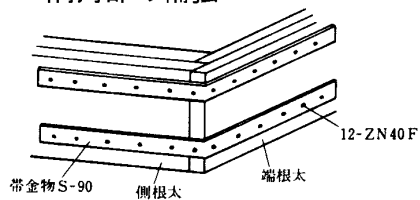
管理項目	1. 床組 床根太 (位置、樹種、等級、間隔、断面寸法、接合方法の状態)					
 <p>床根太と土台と釘打ち</p>  <p>端根太と側根太又は床根太との仕口</p>  <p>床の補強</p>  <p>2階耐力壁下部の補強 (A) 耐力壁と床根太とが同じ方向の場合</p>  <p>(B) 耐力壁と床根太とが直交する場合</p> <p>出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」 監修：住宅金融公庫 発行：（財）住宅金融普及協会</p>	<p>床根太の位置、寸法の確認</p> <p>床梁の位置、寸法の確認</p> <p>側根太、端根太の配置、寸法の確認</p> <p>ころび止め、合板受け材の位置、寸法の確認</p>					
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()					
必要性	床の強度を確認する。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	補修、補強、再施工					
不適切の場合に起こる現象	床のたわみ、床鳴り、床の傾斜等					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

管理項目	1. 床組 床下張材（厚さ、寸法、等級、張り方、釘打ちの状態）					
<p>床下張材の張り方と釘打ち</p>  <p>出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」 監修：住宅金融公庫 発行：（財）住宅金融普及協会</p> <p>床下張り材の厚さ、品質、張り方の確認 釘の寸法・本数・間隔の確認</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	床面の強度を確保。床面の剛性を確保。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	補強、補修、再施工					
不適切の場合に起こる現象	床鳴り、床面の剛性不足。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

管理項目	1. 床組 接合金物（品質、サイズ、釘打ちの状態）
------	---------------------------



隅角部の補強



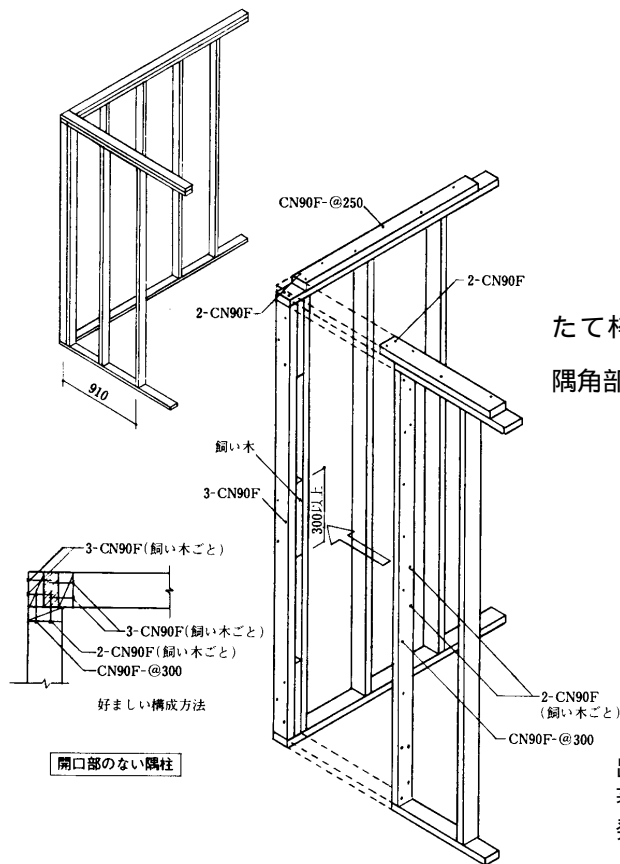
出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
 監修：住宅金融公庫
 発行：（財）住宅金融普及協会

帯金物の位置、緊結の確認
 根太受金物・梁受金物の位置、寸法の確認

出典：「枠組壁工法住宅の設計とディテール」
 著者：新井新吉
 発行：井上書院

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	建物の緊結を補強する。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	緊結強度不足により、暴風時・地震時に破損する危険がある。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

管理項目	2. 壁組 たて枠 (位置、樹種、等級間隔、断面寸法、接合方法の状態)
------	-------------------------------------



たて枠の位置、寸法の確認
隅角部、交差部たて枠の配置、寸法の確認

出典：「枠組壁工法住宅の設計とディテール」
著者：新井新吉
発行：井上書院

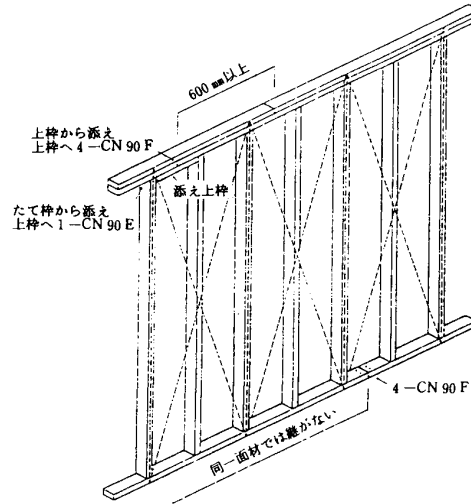
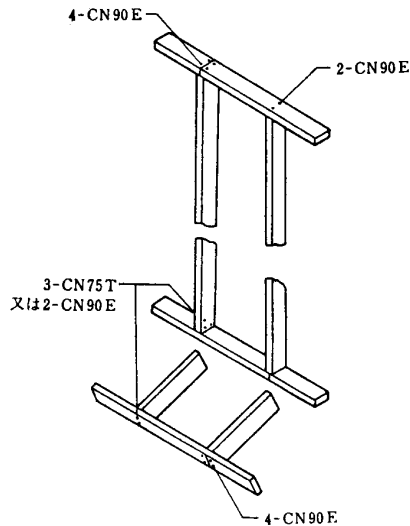
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()
必要性	建物の鉛直荷重を支える支持壁、水平力を支える耐力壁を構成する。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補強、補修、再施工
不適切の場合に起こる現象	壁のたおれ、壁面のふくらみ、壁仕上げの亀裂等
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等

管理項目	2. 壁組 上・下枠・頭つなぎ (位置、樹種、等級、間隔、断面寸法、接合方法の状態)
------	--

上枠及び下枠の継手と仕口の釘打ち

(A)図 たて枠の中央で継ぐ場合

(B)図 たて枠相互間の中間位置で継ぐ場合



上・下枠の位置、寸法の確認
 頭つなぎの継手位置、寸法の確認

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()
必要性	壁面どうしの緊結、一体化。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 () 管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補修、再施工
不適切の場合に起こる現象	壁相互に隙間。壁の倒れ。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等

管理項目	2. 壁組 まぐさ (位置、樹種、等級、断面寸法、接合方法の状態)
------	-----------------------------------

開口部まわりの釘打ち

2枚合わせのまぐさ

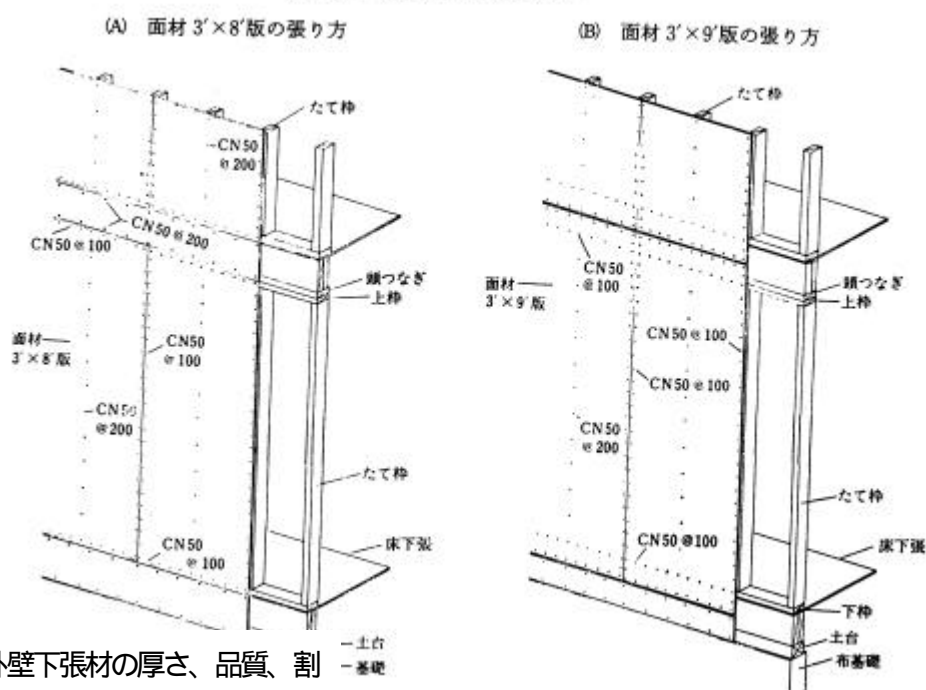
まぐさ、まぐさ受けの位置、寸法のTAC-07

出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
 監修：住宅金融公庫
 発行：(財)住宅金融普及協会

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()
必要性	開口上部の荷重を支える。耐力壁を一体化させる。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補修、再施工
不適切の場合に起こる現象	開口部のたわみ、建具の開閉不良、開口上部の壁のたわみ等
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等

管理項目	2. 壁組 壁下張材（厚さ、寸法、等級、張り方、釘打ちの状態）
------	---------------------------------

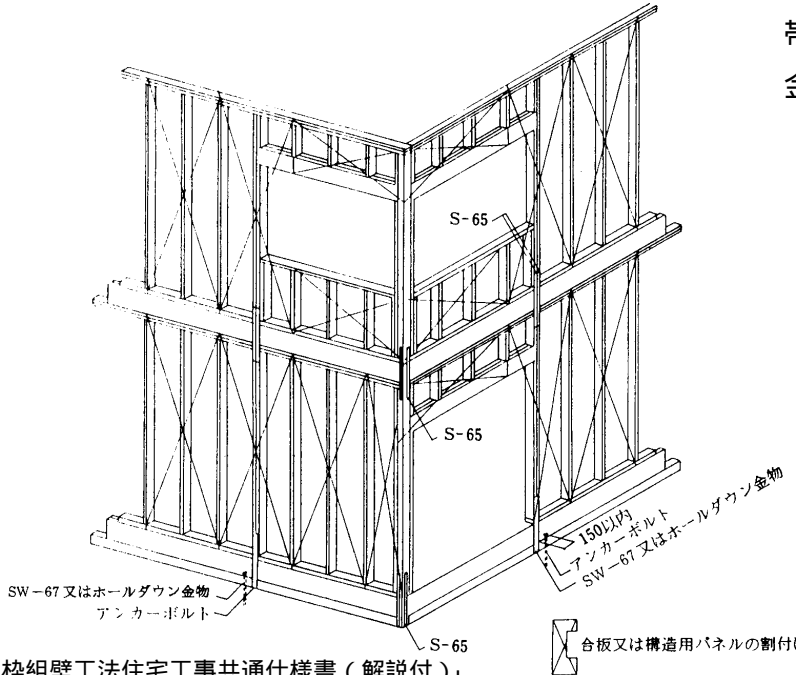
外壁下張り材の張り方



外壁下張り材の厚さ、品質、割
 付の確認
 釘の寸法、間隔、本数、位置
 の確認

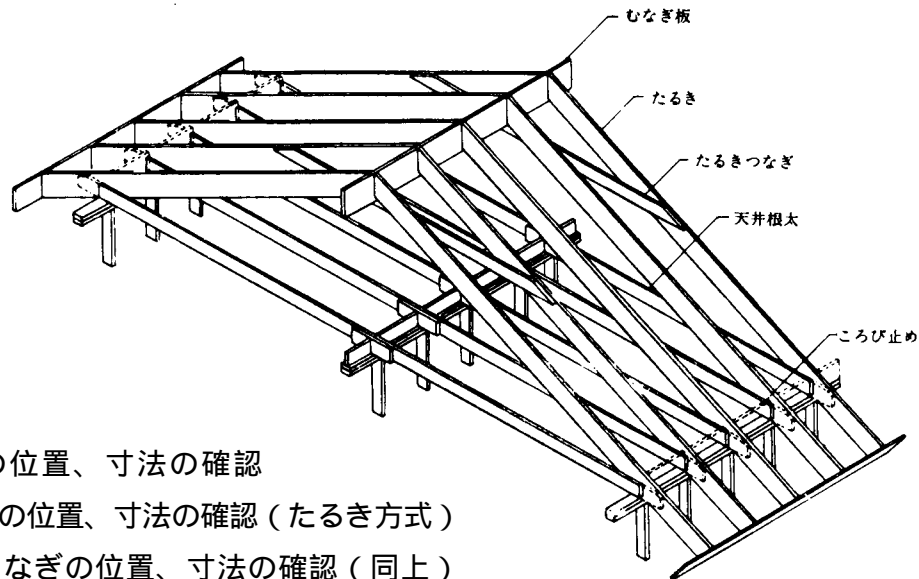
出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
 監修：住宅金融公庫
 発行：（財）住宅金融普及協会

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）
必要性	外壁の耐力壁としての強度を確保。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補強、再施工
不適切の場合に起こる現象	外壁仕上げの亀裂、外壁のたわみ等
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等

管理項目	2. 壁組 接合金物（品質、サイズ、釘打ちの状態）					
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: right;"> <p>帯金物・ホールダウン 金物の位置、寸法の確</p> </div> </div> <p>出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」 監修：住宅金融公庫 発行：（財）住宅金融普及協会</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	耐力壁の上下の緊結					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	金物取付部の外壁仕上げのふくらみ。耐力壁の耐力低下。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

管理項目	3. 小屋組 たるき (位置、樹種、等級、間隔、断面寸法、接合方法の状態)
------	---------------------------------------

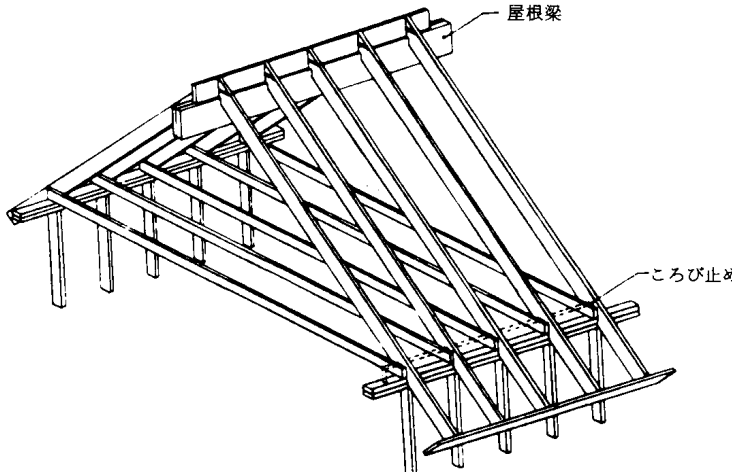
たるき方式



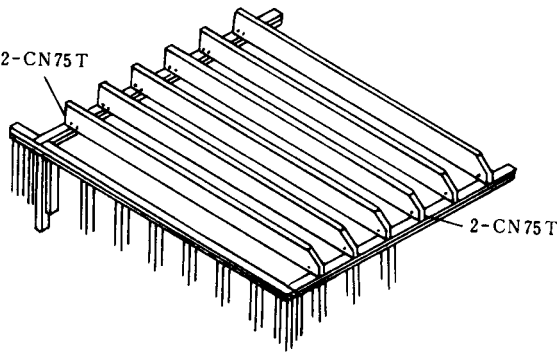
- たるきの位置、寸法の確認
- むなぎ板の位置、寸法の確認 (たるき方式)
- たるきつなぎの位置、寸法の確認 (同上)
- ころび止めの位置、寸法の確認
- 釘の寸法、位置本数の確認

出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
 監修：住宅金融公庫
 発行：(財)住宅金融普及協会

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()
必要性	屋根を支持する。屋根水平構面を構成する。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補修、補強、再施工
不適切の場合に起こる現象	屋根のたわみ、屋根材の損傷等。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等

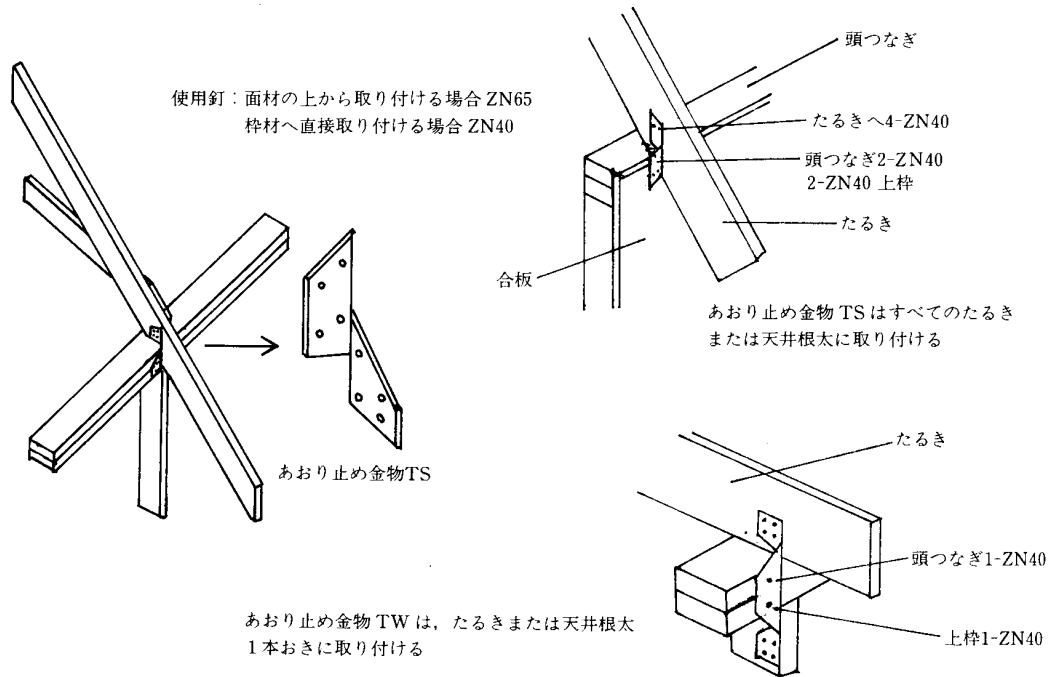
管理項目	3. 小屋組 屋根梁（位置、樹種、等級、間隔、断面、寸法、接合方法の状態）					
<p>屋根梁方式</p>  <p>屋根梁の位置、寸法の確認（屋根梁方式） 釘の寸法、位置、本数の確認</p> <p>出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」 監修：住宅金融公庫 発行：（財）住宅金融普及協会</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	屋根たるきを支持。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	補強、再施工					
不適切の場合に起こる現象	屋根のたわみ。屋根仕上げ材の損傷。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

管理項目	3. 小屋組 トラス (形状、樹種、等級、間隔、断面寸法、接合方法の状態)					
<p style="text-align: center;">トラス方式</p> <p>トラスの位置、寸法の確認 (トラス方式) ふれ止めの位置、寸法の確認 (トラス方式) 釘の寸法、位置、本数の確認</p> <p style="text-align: right;">出典: 「枠組壁工法住宅工事共通仕様書 (解説付)」 監修: 住宅金融公庫 発行: (財)住宅金融普及協会</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()					
必要性	屋根を支持。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 (トラス設計書)					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	屋根のたわみ。屋根仕上げ材の損傷。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

管理項目	3. 小屋組 天井根太 (位置、樹種、等級、間隔、断面寸法、接合方法の状態)					
<p style="text-align: center;">天井根太の頭つなぎの釘打ち</p>  <p style="text-align: right;">出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」 監修：住宅金融公庫 発行：(財)住宅金融普及協会</p> <p>天井根太の位置、寸法の確認 釘の寸法、位置、本数の確認</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()					
必要性	天井を支える。たるき屋根の場合は、屋根構成材となる。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	補強、補修、再施工。					
不適切の場合に起こる現象	天井のたわみ。					
不適切であつても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

管理項目	3. 小屋組 屋根下張材（厚さ、寸法、等級、張り方、釘打ちの状態）					
<p style="text-align: center;">屋根下張りの釘打ち</p> <p style="text-align: right;">出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」 監修：住宅金融公庫 発行：（財）住宅金融普及協会</p>						
<p>屋根下張材の位置、寸法の確認 釘の寸法、位置、本数の確認</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気 環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	屋根水平構面を構成。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の 対処	補修、再施工。					
不適切の場合に 起こる現象	屋根面のたわみ、屋根仕上げ材の損傷。					
不適切であって も良い条件	なし					
関連する基準な ど	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

管理項目 3. 小屋組 接合金物（品質、サイズ、釘打ちの状態）

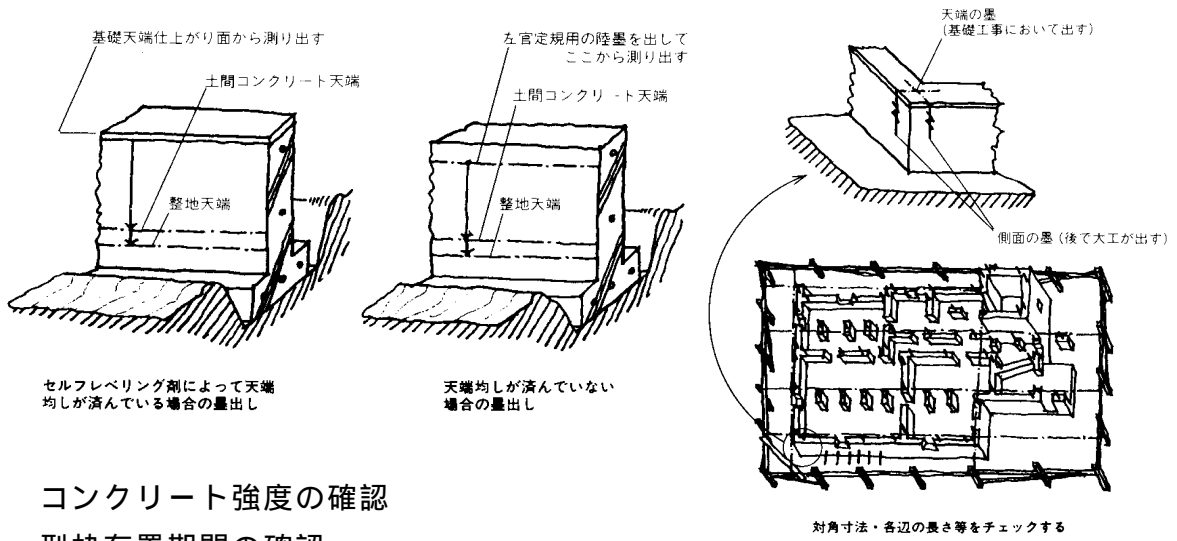


金物の位置、寸法の確認

出典：「初めて学ぶ図解ツーバイフォー工法」
 編集：桝組壁工法教材研究所
 発行：井上書院

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	屋根を壁に緊結、たるき相互の緊結等。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	暴風時に屋根の損傷					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

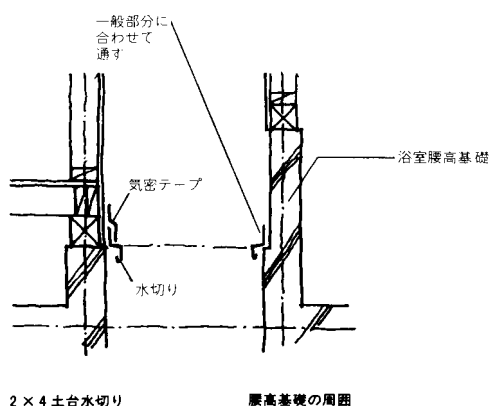
管理項目 4. 基礎コンクリート 打設・養生（打設・養生の状況、打ち上がり状態）



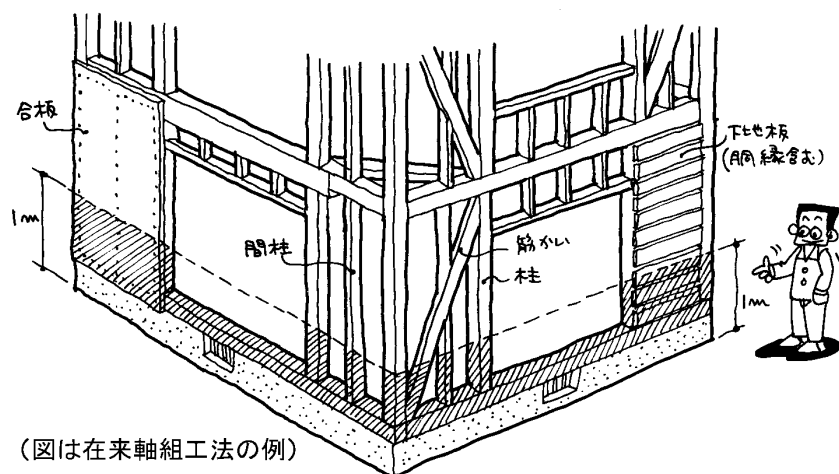
コンクリート強度の確認
 型枠存置期間の確認
 打上りの品質の確認（強度、高さ等寸法精度）
 束石、独立基礎、腰高布基礎、土間コンクリート施工の確認

出典：「木造住宅施工の実務手順図解」ページ166
 編著：(株)木下工務店技術本部
 発行者：山本泰四郎
 発行：(株)彰国社

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）
必要性	建物の強度を決める。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補修、再施工
不適切の場合に起こる現象	基礎の亀裂、割れ等
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第56号等

管理項目	5. 構造部材の防腐防蟻処理 土台					
 <p>構造材の品質、寸法の確認 土台の防水紙施工の確認</p> <p>出典：「木造住宅施工の実務手順図解チェックシート166」 編著：(株)木下工務店技術本部 発行者：山本泰四郎 発行：(株)彰国社</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()					
必要性	建物の耐久性を高める。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	土台の腐食、蟻害による耐久性の低下。					
不適切であつても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

管理項目	5. 構造部材の防腐防蟻処理 外壁枠組材及び下張材
------	---------------------------



(図は在来軸組工法の例)



図 外壁の軸組等


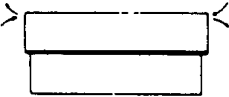
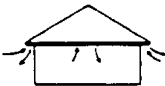
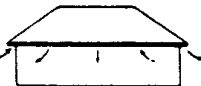
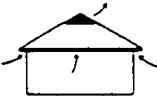
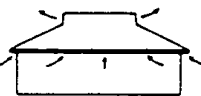

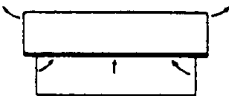
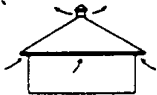

外壁部の柱、間柱、筋かい又は合板、下地材（胴縁を含む）等
 （薬剤処理を行う場合は柱・間柱の木口、ほぞまで行い、柱の室内側の見えがかりは行わない）

防腐、防蟻工事の確認

出典：「木造住宅のための住宅性能表示制度マニュアル」
 監修：建設省住宅局住宅生産課
 発行：（財）日本住宅・木材技術センター

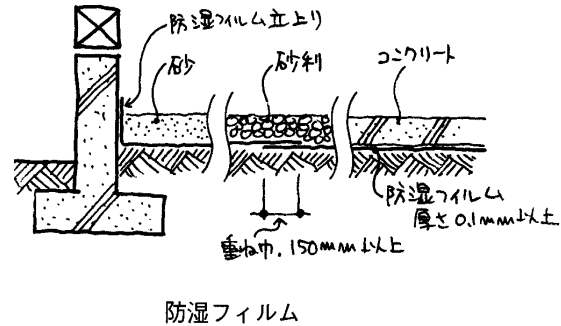
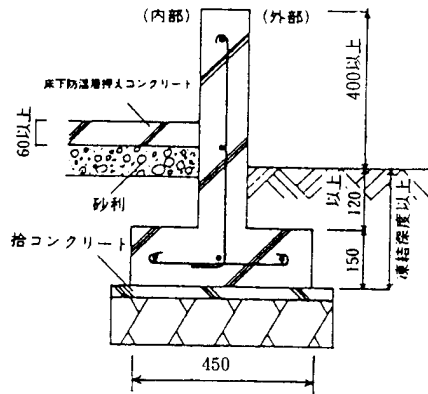
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）
必要性	耐久性を高める。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	再施工
不適切の場合に起こる現象	外壁面の腐食、蟻害による耐久性の低下。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等

管理項目	5. 構造部材の防腐防蟻処理 浴室・脱衣室の防水				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>図 布基礎の上にコンクリートブロックを積み上げて腰壁とした部分</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図 コンクリート造の腰高布基礎とした部分</p> </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">出典：「木造住宅のための住宅性能表示制度マニュアル」 監修：建設省住宅局住宅生産課 発行：(財)日本住宅・木材技術センター</p>					
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他()				
必要性	耐久性を高める。				
重要度	高 中 低				
設計に依存	あり なし				
作業者の技術依存性	あり なし				
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他()				
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他()				
精度と目的との関連性	高 中 低				
不適切の場合の対処	再施工				
不適切の場合に起こる現象	浴室、脱衣室回りの腐食、蟻害による耐久性の低下。				
不適切であつても良い条件	なし				
関連する基準など	金融公庫仕様書等				

管理項目	5. 構造部材の防腐防蟻処理 小屋裏の換気	
<p>小屋裏換気孔の取り方例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>イ、</p>   <p>1/300以上 (吸排気両用)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>軒天換気孔の確認 棟換気孔の確認</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>ロ、</p>   <p>1/250以上 (吸排気両用)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>ハ、</p>   <p>吸気孔 1/900以上 排気孔 1/900以上</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">   <p>吸気孔 1/900以上 排気孔 1/900以上</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>ニ、</p>   <p>吸気孔 1/900以上 排気筒等 1/1,600以上</p> </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」 監修：住宅金融公庫 発行：（財）住宅金融普及協会</p>		
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）	
必要性	小屋裏換気により耐久性を高める。	
重要度	高 中 低	
設計に依存	あり なし	
作業者の技術依存性	あり なし	
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）	
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）	
精度と目的との関連性	高 中 低	
不適切の場合の対処	再施工	
不適切の場合に起こる現象	小屋裏結露による腐朽により、耐久性の低下。	
不適切であっても良い条件	なし	
関連する基準など	金融公庫仕様書等	

管理項目	6. 床下換気・防湿 床下防湿の措置（防湿コンクリート又は防湿フィルムの状態）
------	---

床下防湿層押さえコンクリート

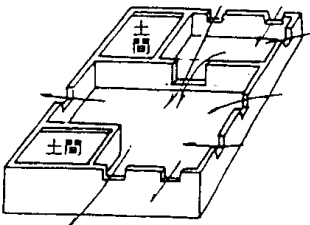
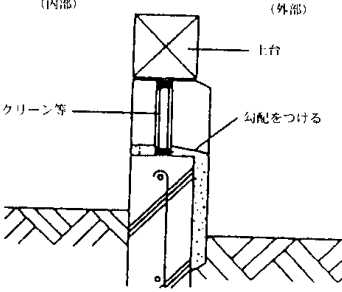


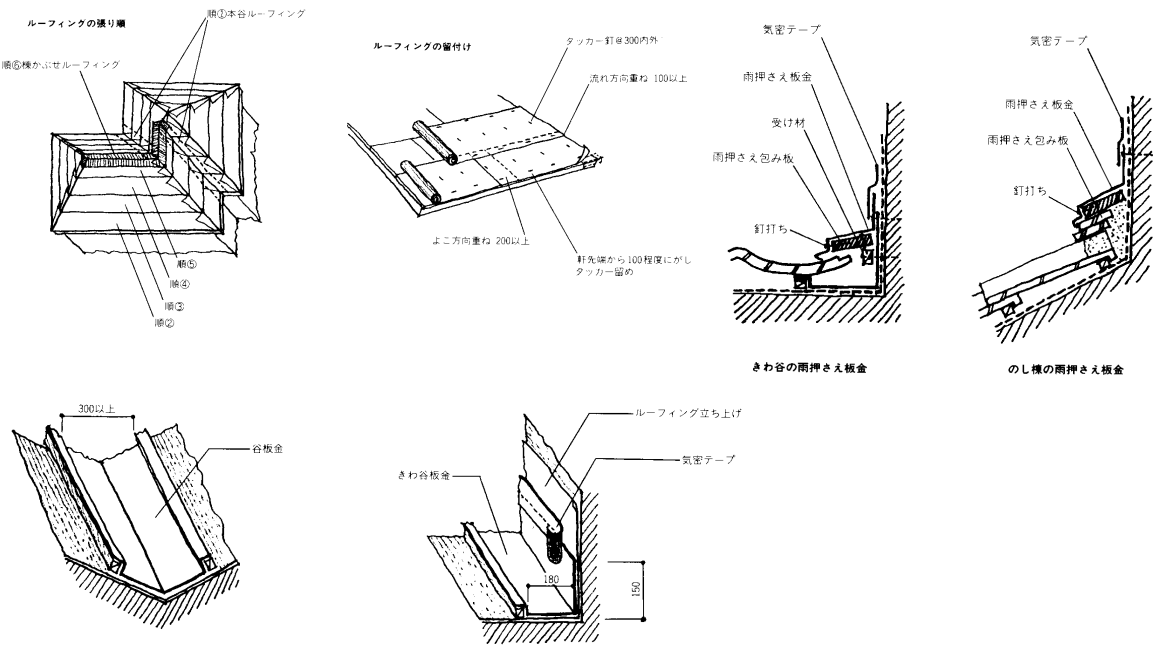
出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」
 監修：住宅金融公庫
 発行：（財）住宅金融普及協会

出典：「木造住宅のための住宅性能表示制度マニュアル」
 監修：建設省住宅局住宅生産課
 発行：（財）日本住宅・木材技術センター

床下防湿（防湿フィルム、防湿コンクリート）施工
 の確認

目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）
必要性	床下防湿をすることで、耐久性を高める。
重要度	高 中 低
設計に依存	あり なし
作業者の技術依存性	あり なし
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ） 管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）
精度と目的との関連性	高 中 低
不適切の場合の対処	補修、再施工
不適切の場合に起こる現象	床下の腐食、蟻害。
不適切であっても良い条件	なし
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第56号等

管理項目	6. 床下換気・防湿 床下換気の措置（換気口の位置と大きさ）					
<p style="text-align: center;">イ. 床下の換気計画</p>  <p style="text-align: center;">ロ. 床下換気孔断面図</p>  <p style="text-align: center;">(良い・例)</p> <p style="text-align: center;">床下換気口の位置の確認（型枠） 床下換気口の確認</p> <p style="text-align: right;">出典：「枠組壁工法住宅工事共通仕様書（解説付）」 監修：住宅金融公庫 発行：（財）住宅金融普及協会</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	床下換気により耐久性を高める。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	床の腐食、蟻害。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書、告示第 56 号等					

管理項目	7. 屋根 屋根下地（下地材料、部材の取り合い、水切金物）					
 <p>ルーフィングの張り順 ①本谷ルーフィング ② ③ ④ ⑤ ⑥棟かみセルルーフィング</p> <p>ルーフィングの留付け タッカー釘@300内外 流れ方向重ね 100以上 よこ方向重ね 200以上 軒先端から100程度にがし タッカー留め</p> <p>気密テープ 雨押さえ板金 受け材 雨押さえ包み板 釘打ち</p> <p>気密テープ 雨押さえ板金 雨押さえ包み板 釘打ち</p> <p>300以上 谷板金</p> <p>さわ谷板金 ルーフィング立ち上げ 気密テープ 180 100</p> <p>まわ谷の雨押さえ板金 のし棟の雨押さえ板金</p> <p>水谷板金取付 まま谷板金取付</p> <p>屋根下葺き材の確認 板金工事の確認 屋根防水ルーフィングの確認 防水テープの確認</p> <p>出典：「木造住宅施工の実務手順図解チェックシート166」 編著：(株)木下工務店技術本部 発行者：山本泰四郎 発行：(株)彰国社</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他（ ）					
必要性	屋根からの漏水を防ぐ。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他（ ）					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他（ ）					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	補修、再施工					
不適切の場合に起こる現象	屋根からの漏水。					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書等					

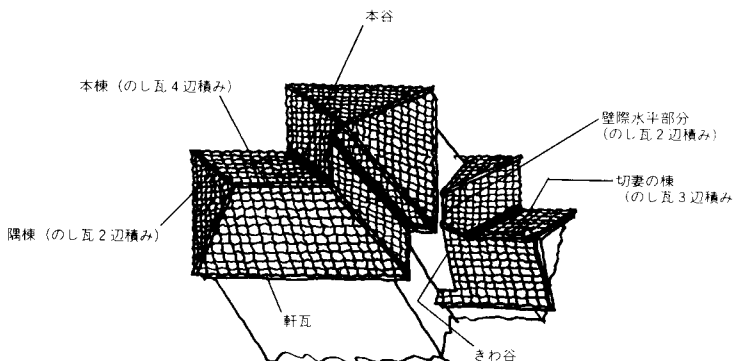
管理項目	7. 屋根 屋根葺きの状況 (屋根材料、葺き上がり状況)					
<div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: right;">出典：「木造住宅施工の実務手順図解チェックシート166」 編著：(株)木下工務店技術本部 発行者：山本泰四郎 発行：(株)彰国社</p> <p style="text-align: center;">屋根仕上材の確認</p>						
目的	構造安全性 火災時の安全 劣化の軽減 維持管理への配慮 温熱環境 空気環境 光・視環境 音環境 あと工程 その他 ()					
必要性	屋根からの漏水などを防ぐ。					
重要度	高 中 低					
設計に依存	あり なし					
作業者の技術依存性	あり なし					
管理方法	管理の時期 - 搬入時 施工時 施工後 その他 ()					
	管理方法 - 目視 寸法 写真 その他 ()					
精度と目的との関連性	高 中 低					
不適切の場合の対処	再施工					
不適切の場合に起こる現象	屋根からの漏水					
不適切であっても良い条件	なし					
関連する基準など	金融公庫仕様書等					

表 - 2.3.6 各部位の施工監理項目リストの例（軸組構工法）

事前調査1/2

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性（資格）	管理方法								管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真	その他					
敷地の建築確認										あり										住宅地図・登記簿・公図等	住宅地図・登記簿・公図と一致している	住宅地図・登記簿・公図等との照合・確認	再調査・再確認・施工への確認等指示	設
地中埋設物の確認										あり										現地の確認・敷地調査報告書・既存建物配置図等	建築に支障がない	現地確認・地縄張り等で確認	再調査・再確認のうえ掘削・伐根・移動等指示	
解体前の写真の確認																				敷地調査報告書・既存建物配置図等の添付写真・解体時の撮影写真等	現物と一致	照合・確認	再調査・所有者に確認を指示	
仮囲いの有無																				敷地調査報告書・既存建物配置図等・既存建物の写真等	現存している。第三者等の侵入防御の効果あり	現地確認・堅固等を確認	補強・追加補修・再施工の指示	
道路の近隣との高低差										あり										スケール等・敷地調査報告書・既存建物配置図等	敷地調査報告書・既存建物配置図・新築設計図書誤差±50mm	現地計測	再調査・再計測指示	設
既存樹木、庭石の扱い																				敷地調査報告書・既存建物配置図・新築建物の配置図等	建物の配置に支障がない	地縄張り等で確認	除去・移動・伐根等指示	
解体工事解体材の処理																				解体計画書・解体工事契約書・マニフェスト伝票等	処理方法・近隣対策等が基準にそっている	解体計画書・解体工事契約書・マニフェスト伝票等確認	是正・勧告・指導等指示	
既存樹木の伐採後の扱い																				樹木・庭木等	伐根等の跡が建物基礎施工等に支障ない	伐根等の跡が建物基礎施工等に支障ないことを確認	再整地・地盤補強・基礎補強・是正等指示	

事前調査2/2

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法				管理結果の評価				備考
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期	管理方法	管理物性・管理指標	目標値	合否判定	不合格の場合の処理		
高圧線、障害物の有無															敷地調査報告書・既存建物配置図等・既存建物の写真等	建築に支障がない	照合・確認・立ち会い	再調査・現地確認を指示	
工事車両の駐車の可能性															敷地調査報告書・現地案内図・交通規制図等	必要量駐車場が確保できる	現地確認	配車計画の策定・有料駐車場等確保を指示	
建物配置の確認									あり						建物配置計画図・敷地調査報告書	建物配置計画図と一致	建物配置計画図による地縄張り等により確認・斜線規制等の確認	是正・修正・移動を指示。施主の了承の取り付け	設
敷地の状況の確認									あり						敷地調査報告書・既存建物配置図等・既存建物の写真等	設計図書等と一致	照合・確認・立ち会い	再調査・現地確認を指示	設
施主への工事工程の説明									あり						敷地調査報告書・契約設計図書・工事工程表・既存建物の写真等	工事工程表の理解・了承の確約	工事工程表の理解・了承の確認	調整・行程の組み直しを指示	

遣り方検査1/3

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法								管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真	その他					
ガス工事の申請																		ガス設備図・配管図・ガス工事申請書	申請完了	ガス工事受理書の確認・申請受理の確認・工事施工日の確認	調査・再申請指示			
各種材料の発注確認																		発注書・注文書・請書・見積書	発注書・注文書・請書・見積書が一致	発注書・注文書・請書・見積書の確認	内容確認・再発注指示			
近隣へのあいさつ																		訪問先リスト・訪問日予定表	予定日程にて実施	訪問実施の確認	再調整指示			
現場表示板設置																		表示板	工程表・記載事項が完全である	現場確認・行程管理写真の確認	再確認・実施の指示			
仮設電気水道の確認																		仮設水道引き込み申請書・工事行程表等	引き込み完了	現地確認・通水テスト等の確認	再申請指示			
引込み電線等の確認									あり									仮設電気引き込み申請書・工事行程表等	引き込み完了	現地確認・通電テスト・漏電防止装置等の確認	再申請指示			
各種メーターの位置確認									あり									仮設工事図面	図面と一致	現場確認・行程管理写真の確認	再確認・変更・移動等の指示			
法規のチェック									あり									確認申請通知書・関係添付資料等	確認申請通知書・関係添付資料等と一致	確認申請通知書・関係添付資料等の確認	再調整・再確認を指示			

遣り方検査2/3

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法								備考	管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・管理指標	目標値	可否判定	不合格の場合の処理		
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真							その他
材料置場搬入路の確認																			建物配置図・仮設計画図等	必要面積の確保・車両進入が可能	現地確認	再調査・再調整・車両等の設定見直し等指示			
境界からの寸法確認																			建物配置図・公図等	建物配置図・公図等と一致	現地確認	再調査・再調整・配置見直し等指示。施主の立ち会いを要す			
工程表の確認																			工程表	工程表と一致	一致していること	再調整を指示			
各種材料の納入時期の確認																			工程表・発注書・	工程表と一致	工程表・発注書等の内容確認	再調整を指示			
各種排水勾配の確認																			設備図面・水平器・水準器等	1/100~1/150程度とし、水たまりができないこと	水平器・水準器等で確認	修正・再施工			
盛土、整地等の確認																			設計図書・ベンチマーク刻印実体物	設計図書と一致	現地確認	修正・調整・再施工			
地縄基準線の確認																			建物配置計画図・敷地調査報告書・スチールテープ	建物配置計画図との誤差±20mm・対角線誤差±20mm	建物配置計画図と照合・確認	調整・再確認・再計測・張り直し			
地耐力に対する基礎設計の確認										あり									地盤s調査報告書・柱状図等	地耐力に合った基礎形状に設計が考慮されているr	設計基準に合った設計内容確認	設計のやり直し			

遣り方検査3/3

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法							管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
近隣に対する安全対策										あり 安全管理者								外部養生ネット・仮囲い・仮設トイレ等	設置されている	現場確認	追加・是正指示		
外部設備に対する計画の確認										あり								外構計画図・外部設置機器配置図等	設置されている	現場確認	追加・是正指示		

着工検査1/3

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法							管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
屋根材、床材の発注確認																		発注書・注文書・請け書	現品と発注品の一致	発注書・注文書・請け書の種類・数量等の確認	是正・内容の再確認		
プレカット材発注確認																		発注書・注文書・請け書	現品と発注品の一致	発注書・注文書・請け書の種類・数量等の確認	是正・内容の再確認		
地業の確認(写真)									あり									基礎伏図・基礎詳細図等・カメラ	基礎伏図・基礎詳細図等に一致	スケール等で実測・写真撮影保管	是正・再施工指示	設	
BMの設定 QLの決定									あり									設計図書・BMマーク用固定物・レベル・トランシット等	設計図書と一致	設計図書との照合・確認	再確認・設定替え等・施主の立ち会い		
床下通路の確認																		基礎伏図・基礎詳細図等	基礎伏図・基礎詳細図等に一致	設計図書との照合・確認	再確認・設定替え・再施工		
図面との照合									あり									設計図書・関係詳細図等	現地施工実体と一致	設計図書・関係詳細図等と現地の確認	再施工・調整・補修等	設	
工事図面のチェック									あり									設計図書・工事施工図等	図面相互間の矛盾ない	図面相互間の矛盾ないかを確認	設計図書を修正・是正指示		
地中埋設物の処理									あり									現物の容量・重量を勘案	完全撤去・移動	現地確認	再施工等撤去・移動指示		

着工検査2/3

管理項目	管理項目の目的							重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法						管理結果の評価				備考		
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境			音環境	あと工程	管理の時期				管理方法		管理物性・管理指標	目標値		合否判定	不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法					
仮設足場の段取り																	仮設足場設置計画図・仮設計画行程表等・発注伝票等	数量・品番・納入時期等が一致	仮設足場設置計画図・仮設計画行程表等・発注伝票等の確認	仮設足場設置計画図・仮設計画行程表等・発注伝票等の是正指示		
基礎の根伐寸法確認																	設計図書・基礎伏図・基礎詳細図・管理シート・カメラ等	設計図書・基礎伏図と一致	スケール等で計測・図面と照合確認	修正・補修・追加施工指示		
フーチングの寸法の確認																	設計図書・基礎伏図・基礎詳細図・管理シート・カメラ等	設計図書・基礎伏図と一致	スケール等で計測・図面と照合確認	修正・補修・追加施工指示	設	
立上り寸法の確認																	設計図書・基礎伏図・基礎詳細図・管理シート・カメラ等	設計図書・基礎伏図と一致	スケール等で計測・図面と照合確認	修正・補修・追加施工指示	設	
打上りの品質の確認																	設計図書・基礎伏図・基礎詳細図・管理シート・カメラ等	設計図書・基礎伏図と一致	ジャンカ・打ちむらの確認	修正・補修・追加施工指示	設	
アンカーボルトの位置確認																	設計図書・基礎伏図・基礎詳細図・管理シート・カメラ等	設計図書・基礎伏図と一致	スケール等で計測・図面と照合確認	修正・補修・追加施工指示	設	
床下換気口の位置確認																	設計図書・基礎伏図・基礎詳細図・管理シート・カメラ等	設計図書・基礎伏図と一致	スケール等で計測・図面と照合確認	修正・補修・追加施工指示	設	
スリーブの寸法、位置確認																	設計図書・基礎伏図・基礎詳細図・管理シート・カメラ等	設計図書・基礎伏図と一致	スケール等で計測・図面と照合確認	修正・補修・追加施工指示		

着工検査3/3

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法								管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真	その他					
ベース筋の確認																			設計図書・基礎伏図・基礎詳細図・スケール等	設計図書・基礎伏図と一致	スケール等で計測・図面と照合確認	修正・補修・追加施工指示	設	
木材の品質の確認																			納品書・設計図書の仕様書等	寸法の厳守・著しく欠点がない	設計図書の仕様寸法をスケール等で照合確認	取り替え・補強指示	設	
金物の取付位置確認																			納品書・設計図書の仕様書・管理シート等	標準仕様書等と一致	標準仕様書・設計図書と照合・確認	取り替え・補強指示		
根伐り底の確認																			納品書・設計図書の仕様書・管理シート等	基礎詳細図等の寸法と一致	標準仕様書・基礎伏図と照合・確認	取り替え・補強指示		
割栗石の敷詰確認																			納品書・設計図書の仕様書・管理シート等	基礎詳細図等の寸法と一致	標準仕様書・基礎伏図と照合・確認	取り替え・補強指示		
立上がりコンクリートの配筋確認																			納品書・設計図書の仕様書・管理シート等	基礎詳細図等の寸法と一致	標準仕様書・基礎伏図と照合・確認	取り替え・補強指示	設	
補助筋の配筋確認																			納品書・設計図書の仕様書・管理シート等	基礎詳細図等の寸法と一致	標準仕様書・基礎伏図と照合・確認	取り替え・補強指示	設	
かぶり厚さの確認																			納品書・設計図書の仕様書・管理シート等	基礎詳細図等の寸法と一致	標準仕様書・基礎伏図と照合・確認	取り替え・補強指示	設	

上棟検査1/3

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性（資格）	管理方法							管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
サンプルによる施主要望の確認																		サンプルファイル・プレゼンボード・仕様書等	施主に確認了承の取り付け	確認書の確認・照合	再確認・再打ち合わせ指示	設	
使用材料等の色見本による色の確認																		サンプルファイル・プレゼンボード・仕様書等	施主に確認了承の取り付け	確認書の確認・照合	再確認・再打ち合わせ指示		
施工図、設備図の確認																		関係設計図書・照合・管理シート	関係設計図書間の矛盾がない	関係設計図書の照合・確認	関係設計図書の修正・追加等指示		
電気配線の確認																		関係設計図書・照合・管理シート	電気設備図と現場が一致	電気設備図の照合・確認	再確認・再施工指示	設	
木材の品質、寸法の確認																		関係設計図書・照合・管理シート	設計図・仕様書等の位置・寸法と一致	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合。確認	再確認・再施工指示	設	
土台の位置、寸法の確認																		関係設計図書・照合・管理シート	設計図・仕様書等の位置・寸法と一致	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合。確認	再確認・再施工指示	設	
火打土台の位置、寸法の確認																		関係設計図書・照合・管理シート	設計図・仕様書等の位置・寸法と一致	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合。確認	再確認・再施工指示		
柱の位置、寸法の確認																		関係設計図書・照合・管理シート	設計図・仕様書等の位置・寸法と一致	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合。確認	再確認・再施工指示	設	

上棟検査2/3

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法						管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法		管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法					
小屋梁の位置、寸法確認																		関係設計図書・納品書・照合・管理シート・スケール等	設計図・仕様書等の位置・寸法と一致	設計図・仕様書等の寸法を照合・確認	再確認・再施工指示	設
小屋束、寸法確認																		関係設計図書・納品書・照合・管理シート・スケール等	設計図・仕様書等の寸法と一致	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合。確認	再確認・再施工指示	設
棟木・母屋、寸法確認																		関係設計図書・納品書・照合・管理シート・スケール等	設計図・仕様書等の寸法と一致	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合。確認	再確認・再施工指示	設
栗木、寸法確認																		関係設計図書・納品書・照合・管理シート・スケール等	設計図・仕様書等の寸法と一致	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合。確認	再確認・再施工指示	設
火打ばり、寸法確認																		関係設計図書・納品書・照合・管理シート・スケール等	設計図・仕様書等の寸法と一致	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合。確認	再確認・再施工指示	設
野地板、寸法確認																		関係設計図書・納品書・照合・管理シート・スケール等	設計図・仕様書等の寸法と一致	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合。確認	再確認・再施工指示	設
大引き、寸法確認																		関係設計図書・納品書・照合・管理シート・スケール等	設計図・仕様書等の寸法と一致	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合。確認	再確認・再施工指示	設
床づか、寸法確認																		関係設計図書・納品書・照合・管理シート・スケール等	設計図・仕様書等の寸法と一致	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合。確認	再確認・再施工指示	設

上棟検査3/3

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法							管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
根太の位置、寸法確認																		設計図書・納品書・管理シート・スケール等	設計図・仕様書等の位置・寸法と一致	設計図・仕様書等の寸法を照合・確認	再確認・再施工指示		
2階床ばり、寸法確認																		設計図書・納品書・管理シート・スケール等	設計図・仕様書等の寸法と一致	設計図・仕様書等の寸法を照合・確認	再確認・再施工指示		
サッシの種類、寸法確認																		設計図書・納品書・管理シート・スケール等	設計図・仕様書等の種類・品質・寸法と一致	設計図・仕様書等の寸法を照合・確認	再確認・再施工指示		
木材の接手、仕口確認																		関係設計図書・納品書・照合・管理シート・スケール等	設計図・仕様書等の種類・品質・加工図と一致	設計図・仕様書等の寸法・加工図と照合・確認	再確認・再施工指示		
仕上材の種類確認																		関係設計図書・納品書・照合・管理シート・スケール等	設計図・仕様書等の種類・品質・寸法と一致	設計図・仕様書等の寸法を照合・確認	再確認・再施工指示		
建具種類の位置、寸法確認																		関係設計図書・納品書・照合・管理シート・スケール等	設計図・仕様書等の種類・品質・寸法と一致	設計図・仕様書等の寸法を照合・確認	再確認・再施工指示		

中間検査1/2

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法								管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真	その他					
各種材料の品番確認																	仕様書・カタログ・納品書・請け書・管理シート等	関係書類と品番・品質・数量等が一致	関係書類と品番・品質・数量等の照合・確認	再確認・補修・再施工指示				
養生シート・ネットの確認																	納品書・請け書・管理シート等	仮設計画図等と一致	現場確認・写真撮影等	再確認・補修・再施工指示				
柱、寸法確認																	仕様書・納品書・請け書・管理シート等	設計図・仕様書等の寸法と一致	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合・確認	再確認・再施工指示				
筋かいの寸法方向確認																	仕様書・納品書・請け書・管理シート等	設計図・仕様書等の寸法と一致	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合・確認	再確認・再施工指示				
床の補強確認																	仕様書・管理シート等	設計図・仕様書等の寸法・位置と一致	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合・確認	再確認・再施工指示				
化粧材の養生確認																	仕様書・管理シート等	現場施工実施済み	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合・確認	再確認・再施工指示				
金物の取付、締付確認																	仕様書・管理シート等	現場施工実施済み	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合・確認	再確認・再施工指示				
各種材料部材の総確認																	仕様書・管理シート等	現場施工実施済み	設計図・仕様書等の位置・寸法を照合・確認	再確認・再施工指示				

中間検査2/2

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法								管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真	その他					
上棟後の軸組の確認																			仕様書・カタログ・納品書・請け書・スケール・管理シート等	仕様書と寸法・品質・数量等が一致	仕様書と品番・寸法・数量等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
軸組部材の調整確認																			仕様書・カタログ・納品書・請け書・スケール・管理シート等	仕様書と寸法・品質・数量等が一致	仕様書と品番・寸法・数量等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		

公庫検査1/2

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法						管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法		管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法					
屋根下地材の確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
屋根仕上材の確認																		仕様書・施工指示書・管理シートカタログ・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
板金工事の確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
屋根防水ルーフィングの確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
防水テープの確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
下屋根の壁部分防水の確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
下屋入隅部の防水確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
下屋軒先板金施工の確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	

公庫検査2/2

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法						管理結果の評価			備考		
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法		管理物性・管理指標	目標値		可否判定	不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法					
軒天換気口の確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
棟換気施工の確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
工事後品質確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
柱、梁の構造物総確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
防腐、防蟻工事の確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
床下換気口の確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
外壁材の確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
金物取付確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	

防水検査1/3

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法						管理結果の評価			備考		
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法		管理物性・管理指標	目標値		可否判定	不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法					
棟包み板金の確認																	仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
出窓・霜除の板金の確認																	仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
各部捨てフェルト、防水テープの確認																	仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
縦胴縁の確認																	仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
下屋上雨押え板金の確認																	仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
軒天部の確認																	仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
オーバング部分の防水確認																	仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
入隅部分防水の確認																	仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		

防水検査2/3

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法							管理結果の評価			備考		
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値		合否判定	不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
ハット型ジョイナーの防水確認																			仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
出隅部の防水確認																			仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
板金継手部の防水確認																			仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
釘打状態の確認																			仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
下壁部分の壁あたりの確認																			仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
各部の目地幅の確認																			仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
外壁、下地の確認																			仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
開口部まわりの防水の確認																			仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	

防水検査3/3

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性（資格）	管理方法							管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
目地当りの防水確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
養生方法の確認																	仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示			
雨木通の取付確認																	仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示			
壁体内の通気層の確認																	仕様書・施工指示書・管理シート・スケール・カメラ等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示			

電気および躯体検査1/2

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法				管理結果の評価				備考			
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理		
												搬入時	施工時	施工後	その他						目視	寸法
配管スリーブの確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
コンセントの位置確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
スイッチの位置確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
下屋上胴縁の確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
軒天胴縁の確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
各部ラス工事の確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
各部の重ねの確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	
各部ステップル間隔の確認																		仕様書・施工指示書・管理シート・スケール等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示	

電気および躯体検査2/2

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法								管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真	その他					
開口部のマーキング確認																			管理シート・スケール・カメラ等	建具表の寸法等が一致	建具表の寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
養生期間の確認																			仕様書・施工指示書・管理シート等	施工指示書等の期間が一致	施工指示書等の照合・確認	期間の再確認を指示		
左官工事の確認																			仕様書・施工指示書・管理シート等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
タイル工事の確認																			仕様書・施工指示書・管理シート等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
外構工事の確認																			仕様書・施工指示書・管理シート等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
建具の金物の確認																			仕様書・施工指示書・管理シート等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
内部工事納まり確認																			仕様書・施工指示書・管理シート等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		
外壁防水防風シート工事の確認																			仕様書・施工指示書・管理シート等	仕様書と品番・品質・数量・寸法・等が一致	品番・品質・数量・寸法・等の照合・確認	再確認・補修・補強・再施工指示		

設備躯体検査1/3

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法								管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・管理指標	目標値	可否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真	その他					
造付け家具の寸法確認																			造付け家具の施工状態・管理シート	設計図書の寸法と一致	設計図書の寸法・デザイン・機能等を確認	調整・修正・再施工を指示		
枠、扉の色の確認																			枠・扉の塗装施工状態・管理シート	設計図書及びカラーサンプル等の番号と一致	設計図書及びカラーサンプル等の番号との照合・確認	調整・修正・再施工を指示		
扉の開閉の確認																			扉の施工状態・管理シート	開閉にすれ・こすれ・異音等がない	各建具の作動・開閉状態の繰り返し検査	調整・修正・補修・再施工を指示		
タイルの色、材質の確認																			タイル工事施工状態・管理シート	サンプル・カタログ・仕様書等と一致	サンプル・カタログ・仕様書等と照合・確認	調整・修正・補修・再施工を指示		
造付け家具の品質確認																			造付け家具の取り付け状態・管理シート	サンプル・カタログ・仕様書等と一致	サンプル・カタログ・仕様書等と照合・確認	調整・修正・補修・再施工を指示		
枠付き建具の確認																			枠付き建具載の施工状態・管理シート	開閉にすれ・こすれ・異音等がない	何回かの開閉・移動により確認・テスト	調整・修正・補修・再施工を指示		
和室造作の確認																			和室造作施工状態・管理シート	設計図書・仕様書と照合。隙間・汚れ等がない	設計図書・仕様書と一致。隙間・汚れ等の確認	調整・修正・補修・再施工を指示		
敷居、敷寄せの確認																			敷居・敷寄せの施工状態・管理シート	設計図書・仕様書と照合。隙間・汚れ等がない	設計図書・仕様書と一致。隙間・汚れ等の確認	調整・修正・補修・再施工を指示		

設備躯体検査2/3

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法								管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真	その他					
鴨居むくりの確認																		鴨居の施工状態・管理シート	建具がスムーズに開閉すること。むくり寸法は1.8mにつき6mm程度	建具の開閉確認 水系等にてむくり寸法を確認	補正・修正・再施工を指示			
建具内法の確認																	内法材の施工状態・管理シート	建て付け・開閉がスムーズであること及び対角寸法が誤差2mm以内	メジャー等で寸法確認	補正・修正・再施工を指示				
前框、中鴨居取合の確認																	前框・中鴨居の施工状態・管理シート	堅固に隙間なく取り付けられている	目視にて確認	補正・修正・再施工を指示				
長押、廻り縁の確認																	長押・廻り縁の施工状態・管理シート	堅固に隙間なく取り付けられている。キズ・色ムラ等がない	目視にて確認	補正・修正・再施工を指示				
窓枠、扉枠見付の確認																	窓枠・扉枠見付の施工状態・管理シート	堅固に隙間なく取り付けられている。キズ・色ムラ等がない	目視にて確認	補正・修正・再施工を指示				
排水、給水栓の確認																	排水・給水栓の施工状態・管理シート	脱着・ウォーターハンマー・水漏れ等がないこと・位置・数量が設計図書と一致	目視・水圧検査にて確認	調整・補修・再施工を指示				
水道メーターの確認																	水道メーターの施工状態・管理シート	公認検定品・数量積算が検定誤差以内	水道局の検定品検査	調整・再施工を指示				
給水、排水の漏水の確認									あり								排水・給水栓の施工状態・管理シート	水道局の加圧検査基準値以内	水道局の加圧検査	取り替え再施工を指示				

設備躯体検査3/3

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法								管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真	その他					
内装仕上りの確認																			外壁工事の施工状態・管理シート	設計図書と一致	設計図書と照合・確認	補修・再施工の指示		
外壁仕上りの確認																			外壁工事の施工状態・管理シート	設計図書と一致していること	設計図書と照合・確認	補修・再施工の指示		

外部検査

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法							管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値	可否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
和室、洋室の天井の確認																		設計図書・施工状態・和室・洋室の天井材質・施工状態・管理シート	設計図書と一致	設計図書と照合・確認	補修・再施工の指示		
金物、ボルト再締付けの確認																		金物・ボルトの締め付け状態・管理シート	要求基準値のトルク・締め付け及び数量・位置が設計図書一致	設計図書と照合・確認及びトルク検査	トルク・締め付け等の再施工・追加施工の指示		
左官工事仕上りの確認																		左官工事の施工状態・管理シート	設計図書と一致	設計図書と照合・確認	補修・再施工の指示		
左官工事仕上りの確認																		タイル工事の施工状態・管理シート	設計図書と一致	設計図書と照合・確認	補修・再施工の指示		
塗装仕上りの確認																							
取付金物の確認																							
仮設撤去の確認																							

木工事終了検査

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性（資格）	管理方法				管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他					
工事図面との照合										あり						工事施工図・関係設計図書等	工事施工図・関係設計図書等相互間に矛盾なし	関係設計図書と現場施工状態の照合・確認	修正・改善を指示	設
浄化槽、受水槽の確認										あり						浄化槽、受水槽等と設備図面	現場と一致	設備設計図書と現場施工状態の照合・確認	修正・改善を指示	
建具、網戸シャッターの建付けの確認																各建具・網戸・シャッターの作動・開閉状態	各建具・網戸・シャッターの作動・開閉状態が正常	各網戸・シャッター建具の作動・開閉状態の繰り返し検査	点検・調査・調整・修理・交換の指示	
各機器の操作確認										あり						各機器の作動・点火・点灯状態等	各機器の作動・点火・点灯が完全	各機器の作動・点火・点灯の繰り返し検査	点検・調査・調整・修理・交換の指示	
外構工事の確認																外構施工図・関係設計図書	現場と一致	関係設計図書と現場施工状態の照合・確認	修正・改善を指示	
完成検査の確認										あり						覚書等・契約書・完成検査日の設定	完成検査日の決定	完成検査日の決定・確認	再調整・確認のうえ再決定を指示	
工事変更の確認																追加変更工事契約書（見積書・行程書等）	追加変更工事契約書（見積書・行程書等）と現場の施工が一致	追加変更工事契約書（見積書・行程書等）と現場の照合・確認	再調査・確認のうえ補修・再施工の指示	

竣工検査

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性（資格）	管理方法								管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真	その他					
引渡日の確認																	請負契約書・覚書等	引き渡し日の決定	引き渡し日の決定・確認	再調整・確認のうえ再決定を指示				
現場清掃の確認																	現場清掃の状態	清掃・かたづけの完全励行	現場清掃等の確認	現場清掃等のやり直し等の指示				

1ヶ月検査

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法							管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
各機器操作状況確認										あり								各機器の作動状態・点火状態・点灯状態	各機器の作動状態・点火状態・点灯状態が完全	各機器の作動・点火・点灯状態等繰り返し検査	点検・調査・調整・修理・交換等指示		
建具の建付の確認																	各建具の作動・開閉状態	各建具の作動・開閉状態が正常	各建具の作動・開閉状態の繰り返し検査	点検・調査・調整・修理・交換等指示			

表 - 2.3.7 各部位の施工監理項目リストの例（枠組壁工法）

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法								管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真	その他					
着工準備	敷地の境界、寸法確認																		敷地測量図、登記簿、公図、既存建物敷地図等	設計図書と既存図書との誤差 ±50mm以内	現地測量	再測量指示	設	
	道路、近隣敷地との高低差の確認																		敷地測量図、既存建物敷地図等	設計図書と既存図書との誤差 ±50mm以内	現地測量	再測量指示	設	
	敷地の現況の確認																		現場調査報告書、既存建物敷地配置図、既存建物の写真等	設計図書と一致	図面の照合、現場確認	再調査、現場再確認指示	設	
	高圧線、障害物の有無																		現場調査報告書、既存建物敷地配置図、既存建物の写真等	建築計画に支障が無い	図面の照合、現場確認	再調査、現場再確認指示		
	設備(電気・水道・ガス)に対する引き込み位置の確認																		現場調査報告書の給水、排水、ガス、電気の引き込み口	設計図書と一致	図面の照合、現場確認	再調査、現場再確認指示	設	
	法規のチェック																		確認申請通知書、現場調査報告書等	現場調査報告書、確認申請通知書等と設計図書が一致	設計図書と確認申請書等の確認	再設計、再確認指示	設	
	解体物の確認(写真)																		現場調査報告書、既存建物敷地配置図、既存建物の写真等	現状と一致	現状と一致	再調査、現場再確認指示		
	解体工事解体材の処理																		解体計画書、解体工事契約書、マニフェスト伝票等	処理方法、近隣対策等が基準に沿っている	解体計画書、解体工事契約書、マニフェスト伝票等確認	是正、勧告、指導等指示		

管理項目	管理項目の目的							重要性	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法							管理結果の評価				備考			
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境			音環境	あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値		合否判定	不合格の場合の処理	
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真						その他
着工準備	資材搬入車両進入の可否、経路の確認																現場調査報告書、現地案内図、交通規制図等	必要車両の進入が可能	現地確認	再調査、現場再確認、車両の大きさの変更指示				
	工事車両の駐車方法と資材置き場の位置の検討																現地案内図、敷地配置図、駐車場・駐車スペース等	必要車両の進入、駐車スペース、資材置き場の確保が可能	現地確認	工事車両計画変更、有料駐車場の確保指示				
	建物配置の確認																現場調査報告書、敷地配置図等	敷地配置図と一致、法規の基準内	敷地配置図で地縄を張り確認し法規の基準内	変更・修正・移動を指示 現設計を変更する場合には、施工主の了解必要	設			
	仮設トイレ、仮設電気、仮設水道の位置確認																仮設計画書等	仮設計画書で、位置を確認。	現地確認	再計画指示				
	地中埋設物の確認																現場調査報告書、既存建物敷地配置図等	建築計画に支障が無い	図面の照合、現場確認	再調査、現場再確認、必要があれば掘削・移動・除去指示				
	地耐力の確認																地盤調査報告書、既存建物確認申請通知書等	地耐力に合った基礎、地盤改良を計画	地耐力に合った基礎、地盤改良が可能	再計画を指示	設			
	既存樹木、庭石の扱い																現場調査報告書、既存建物敷地配置図、新築建物敷地配置図等	建築計画に支障が無い	図面の照合、現場確認	現場再確認、必要があれば掘削・移動・除去指示				
	既存樹木の伐採後の扱い																樹木の養生、保管、伐採後地盤の状況	基礎施工に支障が無い	現場確認	地盤整備、地盤改良、基礎補強指示				

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法						管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法		管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法					
着工準備	ガス工事の申請																	なし	なし			
	仮設電気水道の確認															仮設電気・水道引き込み申請書等	引き込み完了	現場確認、通電・通水テストの確認	再申請、再工事指示			
	各種仮設メーターの位置確認															仮設計画書等	仮設計画書で、位置を確認。	現地確認	変更、移動等指示			
	地中埋設物の処理															地中埋設物処理指示書等	建築計画に支障が無い	図面の照合、現場確認	再調査、現場再確認、必要があれば掘削・移動・除去指示			
	仮囲いの有無															現場調査報告書、既存建物敷地配置図、既存建物の写真等	外部の侵入防御	現場確認	補強、追加施工指示			
	境界からの寸法確認															敷地配置図等	敷地配置図と一致	現場確認	変更・修正・移動を指示 現設計を変更する場合には、施主の了解必要		設	
	各種排水勾配の確認															公庫仕様書 設備図面	径75未満は1/50、径75以上は1/100を標準	現場確認	補修、再施工		設	
	盛土、整地等の確認															敷地配置図、ベンチマーク確認	敷地配置図と一致	現場確認	修正・調整を指示 現設計を変更する場合には、施主の了解必要			

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法						管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法		管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法					
着工準備	工程表の確認																工事工程表 工事契約書	竣工時期が契約書と一致	一致	工事工程表の再作成を指示		
	施主への工事工程の説明																工事工程表 工事契約書	工事工程の施主の了解	工事工程の施主の了解・確認	再説明・工程表の再作成		
	各種材料の発注確認																資材発注書、請書、資材仕様書、工事契約書	契約書記載の仕様書と発注書・請書の内容の一致	契約書記載の仕様書と発注書・請書の内容の一致確認	内容確認、再発注指示		
	各種材料の納入時期の確認																工事工程表 資材発注書・請書	工事工程表に一致した納入日	納入日が工事工程表に一致	再調整、納期再確認の指示		
	仮設足場の段取り																仮設足場設置計画書、工事工程表、発注書・請書	設計との一致、工事工程表に一致した納入日	仮設足場設置計画書、工事工程表、発注書・請書の確認	再調整、納期再確認の指示		
	工事図面のチェック																設計図書、標準詳細図、仕様書、公庫仕様書、性能表示基準解説書等	各設計図面に誤りが無い、設計図面相互の不一致が無い	各図面の照合	再設計、設計図書修正の指示	設	
	地耐力に対する基礎設計の確認																公庫仕様書、告示56号、性能表示基準解説書、基礎リスト、地盤調査報告書、基礎伏図	地耐力に合った基礎設計がなされている	法規の基準内 構造設計基準内	再設計の指示	設	
	床下通路の確認																基礎伏図、基礎詳細図、矩計図等	床下すべてに入りが点検に入れる通路が確保されている	基礎伏図、基礎詳細図で平面計画の確認。矩計図で高さの確認。	再設計の指示	設	

管理項目	管理項目の目的							重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法							管理結果の評価				備考		
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境			音環境	あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・ 管理指標	目標値		合否判定	不合格の場合の 処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
着工準備	近隣に対する 安全対策									あり (安全管理者)								外部養生ネット、仮囲い等	必要な場所に、 必要なものが設置されている	現場確認	追加・修正の指示		
	近隣へのあいさつ																訪問先リスト 訪問スケジュール表	訪問先全ての方 の工事に対する 理解、 スケジュール通 りに実施	訪問実施の確認	再訪問・再説明 の指示			
	現場表示板設置																表示板	表示板が表示さ れている。記載 事項がきちんと 記載されている	現場確認	表示板設置支 持、記載事項の 修正指示			

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法							管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・ 管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の 処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
基礎工事	BM (ベンチマーク)、基準線の設定 GL (地盤面) の決定									あり (建築士)									敷地配置図、BM用固定物、地盤面の設定用図書	図面との一致	図面との照合・確認 法規の基準内	変更・修正を指示。現設計を変更する場合には、施主の了解必要	設
	地縄の図面との照合									あり (建築士)									敷地配置図、地盤面の設定用図書	敷地配置図との誤差辺長 ± 10mm、対角長 ± 20mm	図面との照合・確認 誤差の範囲内	地縄再施工、再確認、再計測を指示	設
	水盛遣方墨出しと図面との照合									あり (建築士)									敷地配置図、地盤面の設定用図書	敷地配置図との誤差辺長 ± 10mm、対角長 ± 20mm	図面との照合・確認 誤差の範囲内	水盛遣方再施工、再確認、再計測を指示	設
	根伐寸法確認																		基礎伏図、基礎断面詳細図等	幅：ベース厚 + 100mm以上 深さ：割栗厚の1/2程度の位置	現場で図面と確認	補修、再施工の指示	設
	根伐り底の確認																		根切り底の状態を確認	床付けが荒れていない	現場確認	補修、再施工の指示	
	地業の確認 (写真)									あり (建築士)									公庫仕様書、基礎伏図、基礎断面詳細図等	公庫仕様書、基礎断面詳細図と一致	写真で図面と確認	補修、再施工の指示	設
	地業の確認									あり (建築士)									公庫仕様書、基礎伏図、基礎断面詳細図等	公庫仕様書、基礎断面詳細図と一致	現場で図面と確認、材料の確認、突き固め状況確認	補修、再施工の指示	設
	フーチングの寸法の確認									あり (建築士)									公庫仕様書、基礎伏図、基礎断面詳細図等	公庫仕様書、基礎断面詳細図と一致	現場で図面と確認	補修、再施工の指示	設

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法				管理結果の評価				備考			
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理物性・ 管理指標	目標値	可否判定		不合格の場合の 処理		
												搬入時	施工時	施工後	その他						目視	寸法
基礎工事	ベース筋の確認									あり (建築士)								基礎伏図、断面 詳細図、配筋 図、公庫仕様書 等	基礎伏図、詳細 図と一致	基礎伏図通り	補強、再施工の 指示	設
	基礎立上りの配筋確認									あり (建築士)								基礎伏図、断面 詳細図、配筋 図、公庫仕様書 等	基礎伏図、詳細 図と一致	基礎伏図通り	補強、再施工の 指示	設
	基礎配筋の確認(写真)									あり (建築士)								基礎伏図、断面 詳細図、配筋 図、公庫仕様書 等	基礎伏図、詳細 図と一致	基礎伏図通り	補強、再施工の 指示	設
	立上り寸法の確認									あり (建築士)								基礎伏図、断面 詳細図、配筋 図、公庫仕様書 等	基礎伏図、詳細 図と一致	基礎伏図通り	補強、再施工の 指示	設
	床下換気口の位置確認(鉄筋カット)																	基礎伏図、断面 詳細図、配筋 図、公庫仕様書 等	基礎伏図、詳細 図と一致	基礎伏図通り	補強、再施工の 指示	設
	スリーブの寸法 位置確認																	基礎伏図等	基礎伏図と一致	基礎伏図通り	補強、再施工の 指示	設
	補強筋の配筋確認(スリーブ換気口回り)									あり (建築士)								配筋図、公庫仕 様書等	鉄筋補強図と一 致	鉄筋補強図通り	補強、再施工の 指示	設
	かぶり厚さの確認									あり (建築士)								JASS 5	基準のかぶり厚 さが確保されて いる	かぶり厚さの確 認	補強、再施工の 指示	

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法						管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法		管理物性・ 管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の 処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法					
基礎工事	型枠組み位置の確認																基礎伏図、断面詳細図等	基礎伏図、詳細図と一致	基礎伏図通り	補強、再施工の指示	設	
	床下換気口の位置確認(型枠)																基礎伏図、断面詳細図等	基礎伏図、詳細図と一致	基礎伏図通り	補強、再施工の指示	設	
	アンカーボルトの品質、取付位置、埋込、高さ等の確認																公庫仕様書、告示56号、基礎伏図、断面詳細図等	基礎伏図、詳細図と一致	基礎伏図通り	補強、再施工の指示	設	
	コンクリート強度の確認																公庫仕様書設計仕様書ミルシートJIS基準	設計強度以上	強度試験	再施工の指示	設	
	型枠存置期間の確認																建築基準法施工令	気温により定められた存置期間	現場確認	補強、再施工の指示		
	打上りの品質の確認(強度、高さ等寸法精度)																基礎伏図、断面詳細図、公庫仕様書等	基礎伏図との誤差辺長±10mm、対角長±20mm、高さ-0~+20m	図面との照合・確認、誤差の範囲内、ジャンカ・打ちむらの確認	補強、再施工の指示	設	
	床下防湿(防湿フィルム、防湿コンクリート)施工の確認																基礎伏図、断面詳細図、公庫仕様書等	隙間無く施工	施工状況確認	補強、再施工の指示	設	
	束石、独立基礎、腰高布基礎、土間コンクリート施工の確認																基礎伏図、断面詳細図、公庫仕様書等	基礎伏図と一致	図面との照合・確認	補強、再施工の指示	設	

管理項目	管理項目の目的							重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法						管理結果の評価				備考		
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境			音環境	あと工程	管理の時期				管理方法		管理物性・ 管理指標	目標値		可否判定	不合格の場合の 処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法					
構造体工事着工前準備	サンプルによる施主要望の確認																サンプル帳、仕上げ表、仕様書等	施主の了解	施主との確認書	再打ち合わせ、再確認を指示等		
	使用材料等の色見本による色の確認																サンプル帳、仕上げ表、仕様書等	施主の了解	施主との確認書	再打ち合わせ、再確認を指示等		
	施工図、設備図の確認																公庫仕様書、設計図書、設備設計図、仕様書等	関係設計図書相互に矛盾がない	関係設計図書の照合確認	再設計、設計の修正	設	
電気配線の確認																公庫仕様書、設計図書、設備設計図、仕様書等	関係設計図書相互に矛盾がない	関係設計図書の照合確認	再設計、設計の修正	設		
構造材の品質、寸法の確認																公庫仕様書告示第56号、設計図書、仕様書、JAS等	設計図書、仕様書の寸法形式、樹種、等級、長さ通りの構造材	設計図書、仕様書の寸法形式、樹種、等級、長さの確認	構造材再手配	設		

管理項目		管理項目の目的							重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法				管理結果の評価				備考				
		構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境			音環境	あと工程	管理の時期				管理物性・ 管理指標	目標値		合否判定	不合格の場合の 処理		
													搬入時	施工時	施工後	その他						目視	寸法
床	土台の位置、寸法、防水紙施工、緊結の確認									あり (桝組建築技能士)									基礎伏図、土台伏図、公庫仕様書等	基礎伏図、土台伏図と一致	図面との照合・確認	補修、再施工の指示	設
	大引・束の位置、寸法、緊結の確認									あり (桝組建築技能士)									基礎伏図、土台伏図、公庫仕様書等	基礎伏図、土台伏図と一致	図面との照合・確認	補修、再施工の指示	設
	床根太の位置、寸法の確認									あり (桝組建築技能士)									床伏図、公庫仕様書等	床伏図と一致	図面との照合・確認	補修、再施工の指示	設
	床梁の位置、寸法の確認									あり (桝組建築技能士)									床伏図、公庫仕様書等	床伏図と一致	図面との照合・確認	補修、再施工の指示	設
	側根太、端根太の配置、寸法の確認									あり (桝組建築技能士)									床伏図、公庫仕様書等	床伏図と一致	図面との照合・確認	補修、再施工の指示	設
	ころび止め、合板受材の位置、寸法の確認									あり (桝組建築技能士)									床伏図、公庫仕様書等	床伏図と一致	図面との照合・確認	補修、再施工の指示	設
	添え木、帯金物の位置、緊結の確認									あり (桝組建築技能士)									床伏図、公庫仕様書等	床伏図と一致	図面との照合・確認	補修、再施工の指示	設
	床下張り材の厚さ、品質、張り方の確認									あり (桝組建築技能士)									床伏図、公庫仕様書等	床伏図と一致	図面との照合・確認	補修、再施工の指示	設

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法						管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法		管理物性・ 管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の 処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法					
床	根太受金物・ 梁受金物の位置、 寸法の確認									あり (枠組建築技 能士)								床伏図、公庫仕 様書等	床伏図と一致	図面との照合・ 確認	補修、再施工の 指示	設
	釘の寸法 本数 間 隔の確認									あり (枠組建築技 能士)								床伏図、公庫仕 様書等	床伏図、公庫仕 様書と一致	図面、仕様書と の照合・確認	補修、再施工の 指示	設
壁	耐力壁、支持壁の 配置の確認									あり (枠組建築技 能士)								耐力壁計算書、 公庫仕様書等	耐力壁計算書と 一致 耐力壁量が充足 している	図面、仕様書と の照合・確認	補修、再施工の 指示	設
	たて枠の位置、 寸法の確認									あり (枠組建築技 能士)								枠組平面図、枠 組姿図、公庫仕 様書等	枠組平面図、枠 組姿図と一致	図面、仕様書と の照合・確認	補修、再施工の 指示	設
	隅角部、交差部たて 枠の配置、寸法の 確認									あり (枠組建築技 能士)								枠組平面図、枠 組姿図、公庫仕 様書等	枠組平面図、枠 組姿図と一致	図面、仕様書と の照合・確認	補修、再施工の 指示	設
	上・下枠の位置、 寸法の確認									あり (枠組建築技 能士)								枠組平面図、枠 組姿図、公庫仕 様書等	枠組平面図、枠 組姿図と一致	図面、仕様書と の照合・確認	補修、再施工の 指示	設
	頭つなぎの継手位 置、寸法の確認									あり (枠組建築技 能士)								枠組平面図、枠 組姿図、公庫仕 様書等	枠組平面図、枠 組姿図と一致	図面、仕様書と の照合・確認	補修、再施工の 指示	設
	まぐさ、まぐさ受けの 位置、寸法の確認									あり (枠組建築技 能士)								枠組平面図、枠 組姿図、公庫仕 様書等	枠組平面図、枠 組姿図と一致	図面、仕様書と の照合・確認	補修、再施工の 指示	設

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法						管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法		管理物性・ 管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の 処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法					
壁	外壁下張材の厚さ、品質、割付の確認									あり (桢組建築技能士)								桢組平面図、桢組姿図、公庫仕様書等	桢組平面図、桢組姿図と一致	図面、仕様書との照合・確認	補修、再施工の指示	設
	釘の寸法、間隔、本数、位置の確認									あり (桢組建築技能士)								桢組平面図、桢組姿図、公庫仕様書等	桢組平面図、桢組姿図と一致	図面、仕様書との照合・確認	補修、再施工の指示	設
	帯金物・ホールダウン金物の位置、寸法の確認									あり (桢組建築技能士)								桢組平面図、桢組姿図、公庫仕様書等	桢組平面図、桢組姿図と一致	図面、仕様書との照合・確認	補修、再施工の指示	設
小屋	天井根太の位置、寸法の確認									あり (桢組建築技能士)								小屋伏図、天井伏図、公庫仕様書等	小屋伏平面図、天井伏図と一致	図面、仕様書との照合・確認	補修、再施工の指示	設
	たるきの位置、寸法の確認									あり (桢組建築技能士)								小屋伏図、天井伏図、公庫仕様書等	小屋伏平面図、天井伏図と一致	図面、仕様書との照合・確認	補修、再施工の指示	設
	むなぎ板の位置、寸法の確認 (たるき方式)									あり (桢組建築技能士)								小屋伏図、天井伏図、公庫仕様書等	小屋伏平面図、天井伏図と一致	図面、仕様書との照合・確認	補修、再施工の指示	設
	たるきつなぎの位置、寸法の確認 (たるき方式)									あり (桢組建築技能士)								小屋伏図、天井伏図、公庫仕様書等	小屋伏平面図、天井伏図と一致	図面、仕様書との照合・確認	補修、再施工の指示	設
	ころび止めの位置、寸法の確認									あり (桢組建築技能士)								小屋伏図、天井伏図、公庫仕様書等	小屋伏平面図、天井伏図と一致	図面、仕様書との照合・確認	補修、再施工の指示	設

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法								管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・ 管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の 処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真	その他					
小屋	屋根梁の位置、寸法の確認 (屋根梁方式)									あり (枠組建築技能士)									小屋伏図、天井伏図、公庫仕様書等	小屋伏平面図、天井伏図と一致	図面、仕様書との照合・確認	補修、再施工の指示	設	
	トラスの位置、寸法の確認 (トラス方式)									あり (枠組建築技能士)									小屋伏図、天井伏図、公庫仕様書等	小屋伏平面図、天井伏図と一致	図面、仕様書との照合・確認	補修、再施工の指示	設	
	ふれ止めの位置、寸法の確認 (トラス方式)									あり (枠組建築技能士)									小屋伏図、天井伏図、公庫仕様書等	小屋伏平面図、天井伏図と一致	図面、仕様書との照合・確認	補修、再施工の指示	設	
	屋根下張材の位置、寸法の確認									あり (枠組建築技能士)									小屋伏図、天井伏図、公庫仕様書等	小屋伏平面図、天井伏図と一致	図面、仕様書との照合・確認	補修、再施工の指示	設	
	金物の位置、寸法の確認									あり (枠組建築技能士)									小屋伏図、天井伏図、公庫仕様書等	小屋伏平面図、天井伏図と一致	図面、仕様書との照合・確認	補修、再施工の指示	設	
	釘の寸法、位置、本数の確認									あり (枠組建築技能士)									小屋伏図、天井伏図、公庫仕様書等	小屋伏平面図、天井伏図と一致	図面、仕様書との照合・確認	補修、再施工の指示	設	
																							設	
																							設	

管理項目	管理項目の目的							重要度	作業者の技術依存性（資格）	管理方法							管理結果の評価				備考		
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境			音環境	あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値		可否判定	不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
建具種類の位置、寸法確認																	設計図書、発注書、納品書等	設計図、仕様書等と一致	設計図、仕様書等と照合確認	再発注・再施工の指示			
各種材料の品番確認																	設計図書、発注書、納品書等	設計図、仕様書等と一致	設計図、仕様書等と照合確認	再発注・再施工の指示			
養生シート・ネットの確認									あり (安全管理者)								発注書、請書等	仮設計図書と一致	仮設計図書と発注書を確認	再発注・再施工の指示			
化粧材の養生確認																	仕様書等	養生施工が完了	現場確認	補修・再施工の指示			
各種材料部材の総確認																	設計図書、発注書、納品書等	設計図、仕様書等と一致	設計図、仕様書等と照合確認	再発注・再施工の指示			
電気配線の確認																	電気設備図、仕上がり表、仕様書等	電気設備図と一致した位置に配線	電気設備図、仕様書等と照合確認	補修・再施工の指示			
サッシの種類、寸法確認																	設計図書、発注書、納品書等	設計図、仕様書等と一致	設計図、仕様書等と照合確認	再発注・再施工の指示			
仕上材の種類確認																	設計図書、発注書、納品書等	設計図、仕様書等と一致	設計図、仕様書等と照合確認	再発注・再施工の指示			

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性(資格)	管理方法						管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法		管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法					
屋根下葺き材の確認																	設計図書、発注書、納品書等	設計図、仕様書等と一致	設計図、仕様書等と照合確認	再発注・再施工の指示		
屋根仕上材の確認																	設計図書、発注書、納品書等	設計図、仕様書等と一致	設計図、仕様書等と照合確認	再発注・再施工の指示		
板金工事の確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
屋根防水ルーフィングの確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
防水テープの確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
下屋の壁部分防水の確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
下屋入隅部の防水確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
屋根軒先板金施工の確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法								管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真	その他					
軒天換気口の確認																				設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示	
棟換気施工の確認																				設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示	
工事後品質確認																				設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示	
構造体総確認																				あり (建築士)	設計図書、詳細図等	構造図と一致した施工がされている。接合部、釘打ちが規定通り施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示
防腐、防蟻工事の確認																				設計図書、詳細図等	仕様書通りの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示	
床下換気口の確認																				設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示	
外壁材の確認																				設計図書、発注書、納品書等	設計図、仕様書等と一致	設計図、仕様書等と照合確認	再発注・再施工の指示	
金物取付総確認																				設計図書、詳細図等	構造図で指示した位置に所定の金物が規定通り施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示	

管理項目	管理項目の目的							重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法				管理結果の評価				備考		
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境			音環境	あと工程	管理の時期				管理物性・管理指標	目標値		合否判定	不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他					
棟包み板金の確認															設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
出窓・霜除の板金の確認															設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
各部捨てフェルト、防水テープの確認															設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
縦胴縁の確認															設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
下屋上雨押え板金の確認															設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
軒天部の確認															設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
オーバング部分の防水確認															設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
入隅部分防水の確認															設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		

管理項目	管理項目の目的							重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法							管理結果の評価				備考			
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境			音環境	あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値		合否判定	不合格の場合の処理	
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真						その他
ハット型ジョイナーの防水確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示				
出隅部の防水確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示				
板金継手部の防水確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示				
釘打状態の確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示				
下壁部分の壁あたりの確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示				
各部の目地幅の確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示				
外壁、下地の確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示				
開口部まわりの防水の確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示				

管理項目	管理項目の目的							重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法							管理結果の評価				備考		
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境			音環境	あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値		合否判定	不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
目地当りの防水確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示			
養生方法の確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示			
雨樋の取付確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示			
壁体内の通気層の確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示			

管理項目	管理項目の目的							重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法						管理結果の評価				備考		
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境			音環境	あと工程	管理の時期				管理方法		管理物性・管理指標	目標値		可否判定	不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法					
配管スリーブの確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
コンセントの位置確認																	電気設備図、仕上げ表、仕様書等	電気設備図と一致した位置に配線	電気設備図、仕様書等と照合確認	補修・再施工の指示		
スイッチの位置確認																	電気設備図、仕上げ表、仕様書等	電気設備図と一致した位置に配線	電気設備図、仕様書等と照合確認	補修・再施工の指示		
下屋上胴縁の確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
軒天胴縁の確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
各部ラス工事の確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
各部の重ねの確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
各部ステップル間隔の確認																	設計図書、詳細図等	詳細図と一致した個所に詳細図通りの施工納まりの施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法							管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
開口部のマーキング確認																		設計図書、詳細図等	建具表と一致した個所に寸法・仕様通りの建具が施工	設計図等と照合確認	補修・再施工の指示		
養生期間の確認																		設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの養生期間	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
左官工事の確認																		設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
タイル工事の確認																		設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
外構工事の確認																		設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
建具の金物の確認																		設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
内部工事納まり確認																		設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
外壁防水防風シート工事の確認																		設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法							管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値	可否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
造付け家具の寸法確認																		設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
枠、扉の色の確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示	
扉の開閉の確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示	
タイルの色、材質の確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示	
造付け家具の品質確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示	
枠付き建具の確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示	
和室造作の確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示	
敷居、敷寄せの確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示	

管理項目	管理項目の目的							重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法							管理結果の評価				備考		
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境			音環境	あと工程	管理の時期				管理方法			管理物性・管理指標	目標値		可否判定	不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真					
鴨居むくりの確認																		設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
建具内法の確認																		設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
前框、中鴨居取合の確認																		設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
長押、廻り縁の確認																		設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
窓枠、扉枠見付の確認																		設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
排水、給水栓の確認									あり									給排水設備図、仕上げ表、仕様書、施工状況等	給排水設備図と一致した位置に配管	給排水設備図、仕様書等と照合確認。水圧検査で確認。	補修・再施工の指示		
メーターの確認									あり									給排水設備図、仕上げ表、仕様書、施工状況等	水道局の検定品	水道局の検定品検査	補修・再施工の指示		
給水、排水の漏水の確認									あり									給排水設備図、仕上げ表、仕様書、施工状況等	水道局の加圧検査基準内	水道局の加圧検査	補修・再施工の指示		

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法								管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法				管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法	写真	その他					
内装寸法の確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・寸法	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
外壁仕上りの確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
和室、洋室の天井の確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
金物、ボルト再締め付けの確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	金物の緩みが無いこと	現場で確認	再施工の指示		
左官工事仕上りの確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
タイル工事仕上りの確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
塗装仕上りの確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		
取付金物の確認																			設計図書、詳細図、仕様書等	仕様書通りの仕様・品質	仕様書と確認	補修・再施工の指示		

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法						管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理方法		管理物性・管理指標	目標値	合否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他	目視	寸法					
仮設撤去の確認																	工程表、現場進捗表等	外構工事までに撤去完了	現場確認	工事督促を指示		
工事図面との照合											あり						施工図、設計図書、仕様書等	設計図書との相違が無い	設計図書と現場との照合	補修、再施工を指示	設	
浄化槽、受水槽の確認											あり						給排水設備図、浄化槽、受水槽仕様書等	仕様書と一致	給排水設備図、仕様書等と照合確認。検査で確認。	補修・再施工の指示		
建具、網戸シャッターの建付けの確認																	建具、網戸、シャッターの動作状況の確認	動作に支障が無い	現場確認	補修、再施工を指示		
各機器の操作確認											あり						機器の動作を確認	動作に支障が無い	現場確認	補修、再施工を指示		
外構工事の確認																	外構施工図、仕様書等	設計図書との相違が無い	設計図書と現場との照合	補修、再施工を指示		
完成検査の確認											あり						工事仕様書、設計図書、契約書等	設計図書との相違が無い	施主と立会いでの現場確認	補修、再施工を指示		
工事変更の確認																	変更工事契約書、変更工事指示書等	変更工事が指示通り施工	変更工事部分を契約書通りか確認	補修、再施工を指示		

管理項目	管理項目の目的								重要度	作業者の技術依存性 (資格)	管理方法				管理結果の評価				備考	
	構造の安全	火災時の安全	劣化の軽減	維持管理への配慮	温熱環境	空気環境	光・視環境	音環境			あと工程	管理の時期				管理物性・管理指標	目標値	可否判定		不合格の場合の処理
												搬入時	施工時	施工後	その他					
引渡日の確認															工程表、契約書等	引渡し日の決定	引渡し日の確認・了解	再調整を指示		
現場清掃の確認															現場清掃の状態	清掃の完了	清掃状況の確認	再清掃を指示		
各機器操作状況確認									あり						機器の動作を確認	動作に支障が無い	現場確認	補修、再施工を指示		
建具の建付の確認															建具、網戸、シャッターの動作状況の確認	動作に支障が無い	現場確認	補修、再施工を指示		

2.4 性能と管理のための知識データベースの作成

2.4.1 木造軸組構法耐力壁の加工精度と変形挙動の相関性検証実験

2.4.1.1 目的

木造軸組構法住宅の品質管理体系を構築していく上で、その品質の基本である筋かい耐力壁の水平せん断力抵抗性能に及ぼす施工精度の影響評価を行うために試験を実施した。

本実験では、筋かい耐力壁において、故意に筋かいの端部に隙間を設け、また、筋かい端部のボルト接合部に予め「あそび」を設け、これを水平せん断載荷試験に供することで、端部の加工精度が水平せん断耐力、変形挙動に及ぼす影響を評価し、筋かい端部の加工精度と変形挙動の相関性を評価する上での技術的基礎資料を得ることを目的とした。

2.4.1.2 試験体の概要

柱に105×105 mmのスギ正角、土台、桁に105×105 mmのベイツガ正角、筋かいに45×105 mmのペイマツ製材、間柱に30×105 mmのスギ製材を用いて図 - 2.4.1 に示すような1Pの筋かい耐力壁を構成した。部材は何れも乾燥材を使用した。

筋かい端部は、図 - 2.4.2 に示すようにボルト併用箱型筋かい金物（住木センター認定BP同等品）を介して、皿タッピンねじ（4.5×40 mm×各5本）を用いて横架材、柱に緊結した。なお、金物 - 筋かいの接合はM12ボルトの他に皿タッピンねじ（4.5×40 mm×各3本）を併用した。

柱脚柱頭の接合は、機械プレカットによる短ほぞ加工（ほぞ深さ45 mm、ほぞ断面は30×90 mm）を施し、さらにV字型柱脚金物をZN65で釘着し、緊結した（図 - 2.4.2 参照）。筋かい端部の隙間は、図 - 2.4.3 のように土台との間に設けたLS、柱との間に設けたLPを供試し、隙間は2, 5, 10 mmとした。一方、ボルト径とボルト先孔径の差は、1, 2, 3 mmの場合を供試した。各仕様は2体ずつあり、列記すると表 - 2.4.1 のように整理される。

2.4.1.3 試験方法

積載荷重は200 kgf/m（182 kgf / 1P）とし、アクチュエータにて載荷試験を行った。試験体Cの2体の試験体のうち、1体については単調載荷を実施し、得られた荷重変位包絡線から枠組壁工法建築物構造計算指針（1998）に基づいて降伏変位 D_y を得、残りの試験体の載荷スケジュールを決定した。なお、載荷速度は概ね1.5 mm/sとしたが、最初の0.5 D_y までは、正確なデータを得るために0.5 mm/sとした。

2.4.1.4 結果および考察

1/120 rad.変形時の耐力から壁倍率を算出し、筋かいの精度条件と比較した。その結果を図 - 2.4.4 ~ 図 2.4.6 に示す。結果は以下のとおり要約される。

筋かいと柱の間には多少隙間があっても顕著な剛性・耐力の低下は認められない。

ボルトで筋かいを緊結する場合についてはそのボルトと先孔の径差が1mmを越える場合に剛性・耐力の低下が認められる。

筋かいと横架材の間に隙間があると、圧縮側の剛性、耐力が著しく低下し、引張側のそれより低いものとなる。

以上より、筋かいの施工精度は横架材との位置関係を精緻に管理する必要があると結論づけられる。

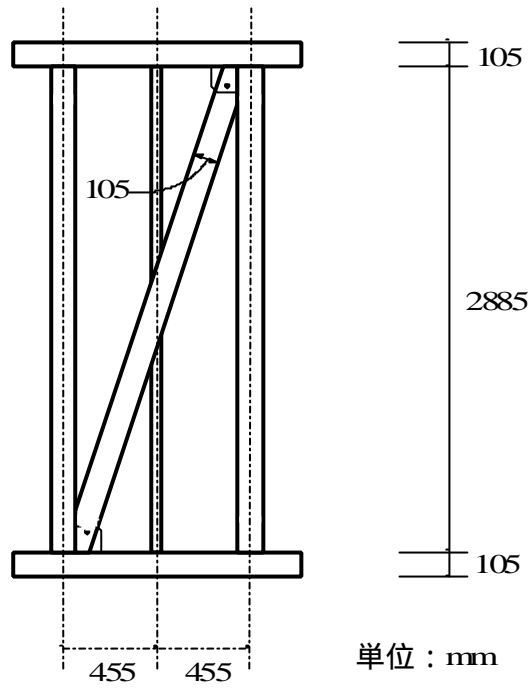


図 - 2.4.1 筋かい耐力壁の概略

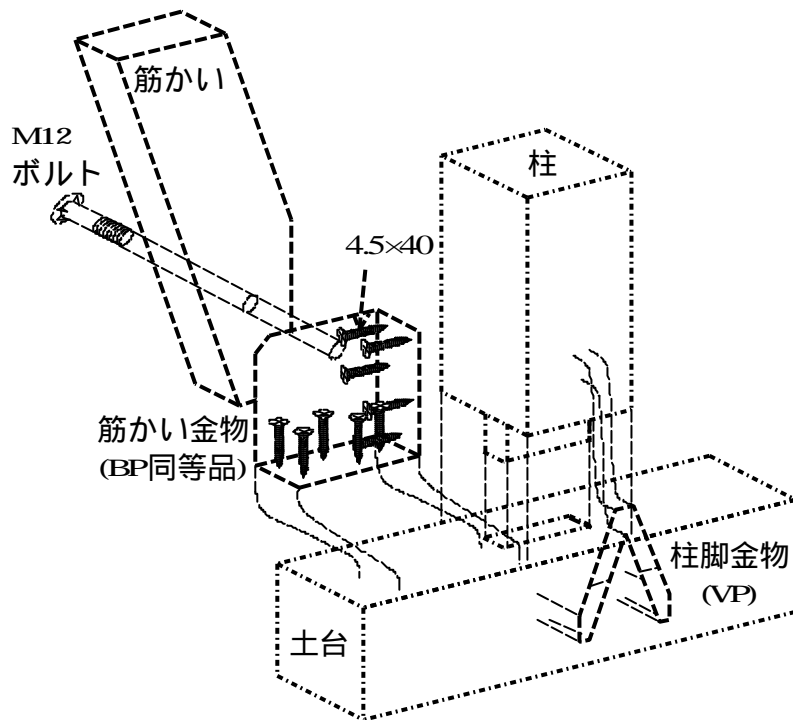


図 - 2.4.2 筋かい・柱端部の接合方法の概略

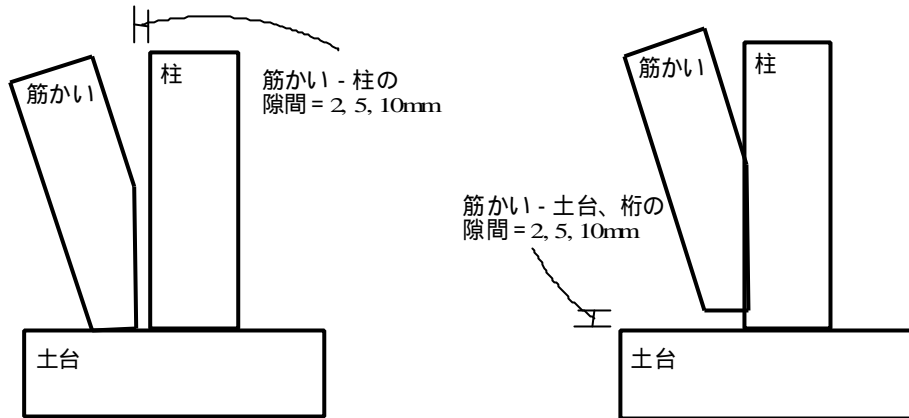


図 - 2.4.3 各部の隙間の設け方

表 - 2.4.1 各試験体の仕様

仕様 試験体	筋かい長さ		ボルト - 先孔径差 (mm)	試験体数
	筋かい - 柱 隙間 (mm)	筋かい - 土台、桁 隙間 (mm)		
C	0	0	0	2
LP2	2	0	0	2
LP5	5	0	0	2
LP10	10	0	0	2
LS2	0	2	0	2
LS5	0	5	0	2
LS10	0	10	0	2
B1	0	0	1	2
B2	0	0	2	2
B3	0	0	3	2

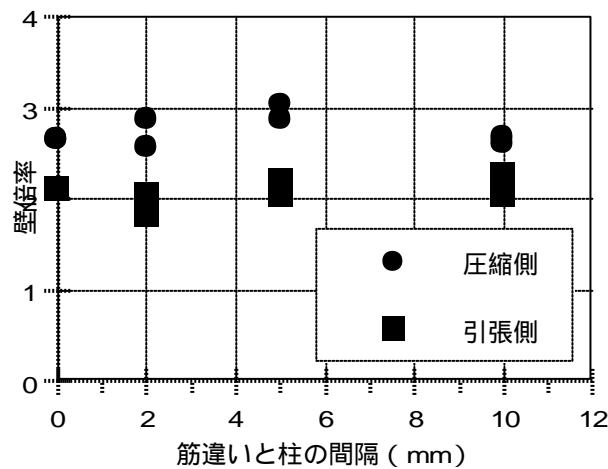


図 - 2.4.4 筋かい - 柱間隔と壁倍率の関係

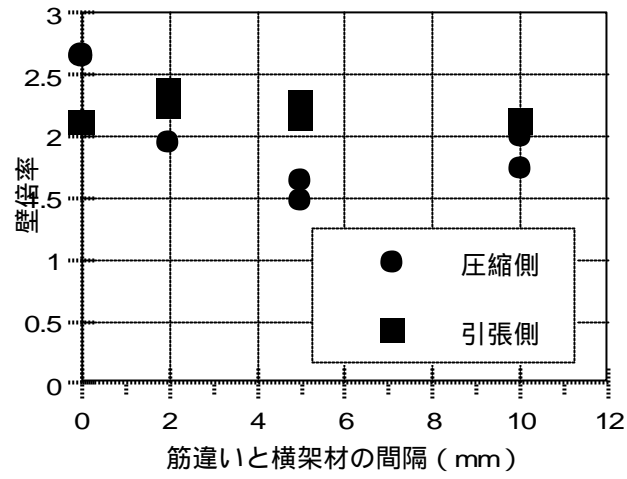


図 - 2.4.5 筋かい - 横架材間隔と壁倍率の関係

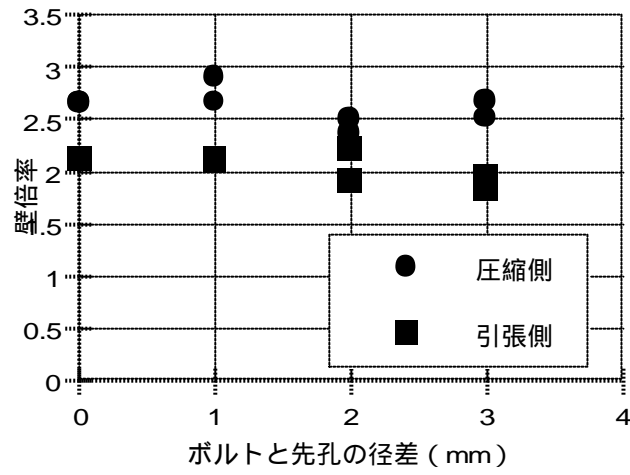


図 - 2.4.6 筋かい接合ボルトと先孔の径差と壁倍率の関係

2.4.2 集成材接合部の加工精度と変形挙動の相関性

2.4.2.1 目的と背景

集成材構造物の設計に際しては接合部の剛性を予測し、その荷重 - すべり関係を特定することが現在の最重要課題の1つである。その荷重 - すべり関係は接合具付近の木部に弾性的に応力がはたらいっている領域については、多くの研究者が様々な実験、理論解析に尽力してきた結果、現在ではかなり精度高く評価されることが可能になった。

しかし、部材に弾性応力がほとんど作用しない微小载荷時に木質接合部特有の初期「あそび」が存在するか、あるいは施工当初に存在しなくても経験負荷に応じて生じてくることが知られている。この接合部の初期「あそび」は接合部の終局耐力に対してはともかく、一次設計における初期剛性に対しては大きな影響を及ぼし、荷重 - すべり関係を把握する上で残された大きな課題の一つである。

現状では接合具と部材の先孔の寸法を等しくすることで、この初期「あそび」を無くし、或いは極力減らし、考慮に入れない設計法が一般的になっている。ところが、接合具と部材の先孔の寸法を等しくすることは、施工性と相反する関係にあることもよく知られている。このような理由から、接合部の初期「あそび」の挙動を標準化して設計に盛り込むことで、施工性との折り合いをうまく実現した接合部、もしくは接合部設計技術の開発が最終的な目標である。

本実験ではこれまでに木質接合部の初期「あそび」の挙動を実験的に明らかにすることを目的として、実大サイズのモーメント抵抗型集成材接合部試験体に対する動的、静的载荷試験、接合具単体の二面せん断試験を実施してきた。昨年度までに得られたことを個々に整理しておく。

実大モーメント抵抗型集成材接合部試験の結果からは、

- ・初期に設けた「あそび」量と初期スリップ距離は相関関係にあるが、絶対値は必ずしも一致しない
- ・「あそび」の存在は最大耐力を低下させる可能性がある
- ・「あそび」の存在は初期スリップ領域に影響するだけでなく、二次線形域剛性までも低下させる
- ・微小な動的繰返し荷重下で「あそび」の存在は振幅を増大させ、固有振動数を低下させるが、動的剛性の低下率は静的荷重下より大きい可能性がある

ことが得られている。

一方、接合具にボルトを用いた単体接合具の二面せん断試験を静的単調载荷、正負繰返し载荷として行った結果をまとめ、一昨年度までの実大モーメント抵抗型集成材接合部試験の結果などと比較すると、以下のようなことが得られている。

- ・接合具単体の二面せん断試験では初期「あそび」(接合具と先孔の径差)の増大による最大耐力の低下は極僅かで、試験体の個体差の範囲とも解釈しうる。これは実大モーメント抵抗型集成材接合部試験における傾向とは異なった。
- ・接合部の初期「あそび」による初期スリップ距離(オフセット値)は単調载荷下ではほぼ正規分布に近いバラツキを見せた。
- ・単調载荷下の初期スリップ距離(オフセット値)の各試験体間の平均値は接合具と先孔の径差との明確な相関関係は認められなかった。これに対して、正負繰返し荷重下ではオフセット値の正負荷重側の合計値が接合具と先孔の径差と近い値をとった。

- ・初期「あそび」領域を超え、荷重変位曲線の傾きが再び大きくなり接合具と木部が接触しているとみられる部分を2次線形域と名付け、この領域の荷重変位曲線の傾きを得、初期「あそび」を保持しないものについては初期の傾きと比較した。この結果、初期「あそび」の増大とともにこれは低下した。これは実大モーメント抵抗型集成材接合部試験における傾向と一致した。

ことなどである。

これらの結果をうけて、今年度は接合部の「あそび」が構造体に与える影響について知見を得ることを目的として門型フレーム模型の動的の振動実験を実施した。

また、昨年度の接合具単体の二面せん断試験で得られた初期スリップ距離（オフセット値）の分布が主材、側材厚が異なる場合の影響について知見を得ることを目的として、一昨年度の実大モーメント抵抗型接合部の仕様に従った二面せん断試験を実施した。さらに、接合具（ボルト）を締め付けるトルクの影響および載荷速度を変えて試験を実施し、これらの影響を調べた。

なお、本文中で「あそび」という語を使用するが、一般に「ガタ」ともいわれているが、それと等しいものと考えていただきたい。あえてここで「ガタ」と呼ばないのは、その言葉が否定的なニュアンスを醸しだし、「あそび」が木質接合部の欠点であるという認識の上に立っていないからである。摩擦という物理現象が未だ学術的に明らかにされていない現在、ともするとそれが衝撃荷重の吸収性能など、木質接合部の利点にといえる可能性も否定できないからである。

2.4.2.2 実験方法

ボルト径と集成材の先孔径に差がある集成材ボルト接合部を二面せん断試験に供し、その変形挙動を数値化する。概要をそれぞれ図-2.4.7に示し、それらの仕様を表-2.4.2に示した。

載荷スケジュールは、±0.5, ±1, ±1.5, ±2, ±2.5, ±3, ±4, ±6, ±8, ±12, 24 mmのストロークを1回ずつ連続して行い、破壊に至らせた(図-2.4.8参照)。なお、試験体の変位は主材と側材との相対変位を変位計で測定し、荷重の計測はアクチュエータ式ジャッキの先端に設置したロードセルにて行った。

表-2.4.2 試験条件と試験体数

初期「あそび」	荷過速度 (kine)	締め付けトルク(kgf-cm)			試験体数
		200	400	800	
0mm	2	-	-	2	2
	0.1	-	-	2	2
	0.005	-	-	2	2
1mm	2	3	2	3	8
	0.1	3	3	3	9
	0.005	3	3	2	8
2mm	2	3	2	3	8
	0.1	3	3	3	9
	0.005	3	3	2	8
計		18	16	22	56

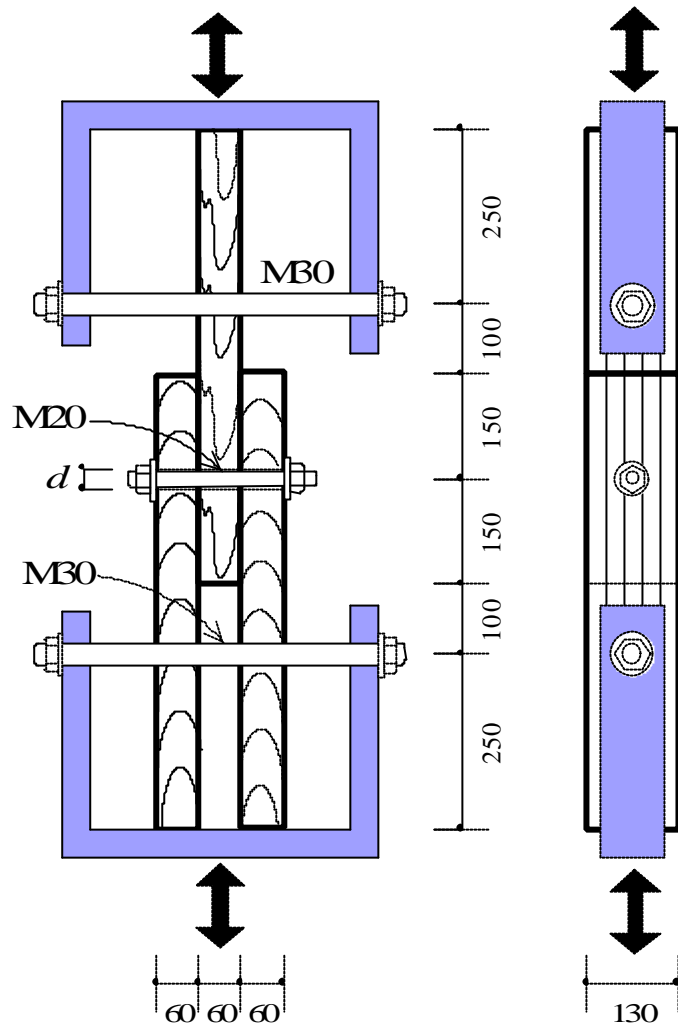


図 - 2.4.7 接合具の2面せん断試験

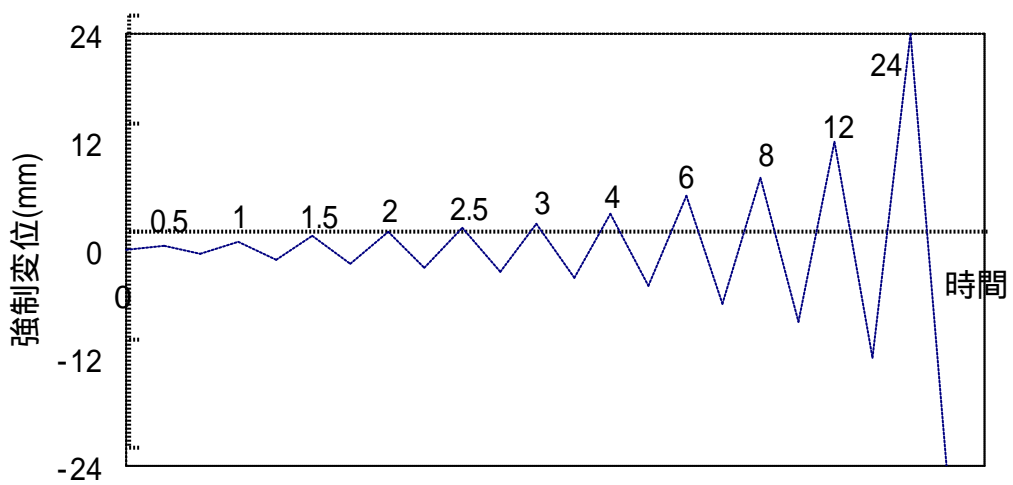


図 - 2.4.8 载荷スケジュール

2.4.2.3 結果と考察

2.4.2.3.1 オフセット値(OF)と初期「あそび」量(CL)、初期締付けトルク(TRQ)

図 - 2.4.9 に初期締付けトルクごとの OF と CL の関係を、また図 2.4.10 には初期「あそび」がある場合の TRQ と OF の関係をそれぞれ示した。これらの結果は、CL が大きくなれば接合部のスリップ変形が生じうる潜在的な範囲が広がるものの、初期締付けトルクを増加させることで初期導入軸力を増加させ、木部材面に生じる摩擦力を増加せしめ、結果としてスリップ変形を抑制可能であることが推測される。しかしながら、ボルトへの締付け軸力はワッシャーを介して材面に作用する (TRQ=800 の条件下ではややめり込みが生じている状態) ため、締付けトルクをいくらでも増加しうわけではなく、「あそび」のある場合には初期「あそび」量と同程度のスリップ変形領域が常に存在すると考えた方がよいと推測される。

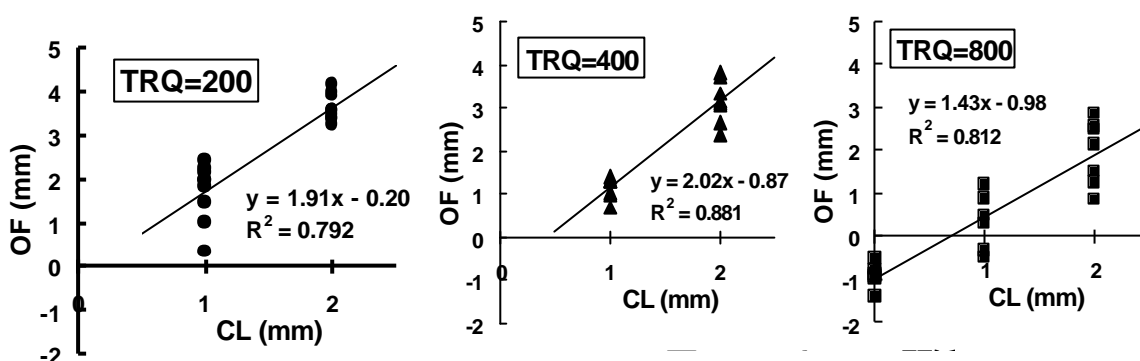


図 - 2.4.9 初期締付けトルクごとのオフセット値(OF)と初期「あそび」量(CL)の関係

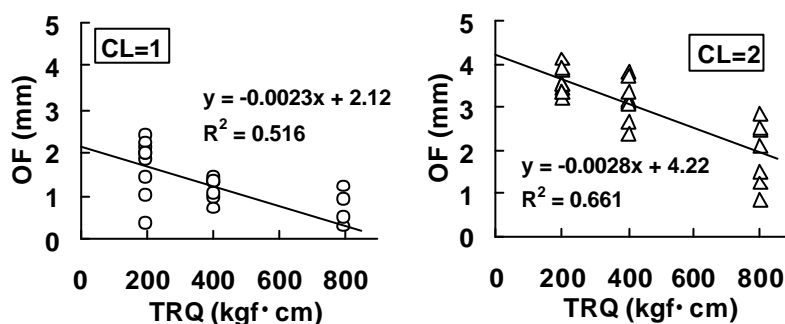


図 - 2.4.10 初期「あそび」がある場合の初期締付けトルク(TRQ)とオフセット値(OF)の関係

2.4.2.3.2 2次線形域剛性(k₂)と初期「あそび」量(CL)

図 - 2.4.11 に示したのは2次線形域剛性(k₂)と初期「あそび」量(CL)との関係である。CL が大きくなると k₂ が小さくなる傾向にある。「あそび」が存在することで、ボルトと木部の接触が一様でなくなることに理由があるのではないかと推測される。図 2.4.11 に破線で示したのは、「大断面木造建築物接合部設計マニュアル」(日本住宅・木材技術センター編)の接合部剛性計算方法に従って計算した値(カラマツの縦ヤング係数 E₀ = 90 tf / cm²とした)であるが、今回の実験で得られた k₂ の

値はこの設計値よりも2割程度小さい値となる。このことは、「あそび」を考慮に入れない場合に、接合部の剛性値を大きめに見積もってしまう可能性があることを示唆していると考えられる。

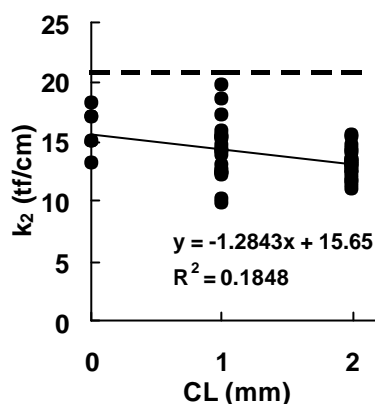


図 - 2.4.1.1 2次線形域剛性(k₂)と初期「あそび」量(CL)との関係

2.4.2.3.3 その他

今回の実験での初期パラメータのひとつである荷重速度(SP)は、OF値や、k₂値に対して有意な相関は認められなかった。また、荷重 - 変形関係の特性値のひとつである最大荷重値(Pmax)については、CL値、TRQ値及びSP値のどの初期パラメータとも有意な相関を示さなかった。Pmaxは試験体比重とも相関が低く、これを説明する要因は不明であった。

破壊形状はほとんどの場合に側材の一方または両方の割裂破壊であり、主材の割裂はほとんど見られなかった。片側の側材のみが割裂破壊した場合と、初期TRQ値の大きい場合に、ボルトが大きな曲げを受けていたケースがいくつか観察された。

2.4.2.4 集成材接合部実験のまとめ

集成材ボルト接合部の荷重 - 変形関係について二面せん断モデル実験を行い検討した。その結果、載荷初期の変形挙動に対して初期「あそび」量及び初期締め付けトルクが大きく影響すること、接合部の剛性値に対しては「あそび」量が影響を与えていることが確認された。また、ボルト接合部の剛性設計に「あそび」を定量化した要素を導入することにより、より実際に近い、安全側の設計が可能となることが示唆された。

2.5 まとめ

性能表示制度が施行され、住宅産業は現在対応に躍起であり、さまざまな技術資料が現在も作成途中である。それらは品質管理体系とも関連深いものであり、本総プロ終了後もそれらを参照しながら、管理の項目、重要度、制度について更なる発展が望まれる。